

**大淀川水系大淀川  
水環境改善緊急行動計画  
(清流ルネッサンスⅡ)  
地域協議会**

**参考資料  
モニタリング結果**

令和8年2月  
宮崎河川国道事務所

# 目 次

1. モニタリング結果	1
(1) 水質調査結果	2
(2) ハード施策結果	2 3
(3) ソフト施策結果	3 5
(4) 令和6年度フォローアップ結果報告	4 7
(5) 令和6年度フォローアップ結果総括	6 2

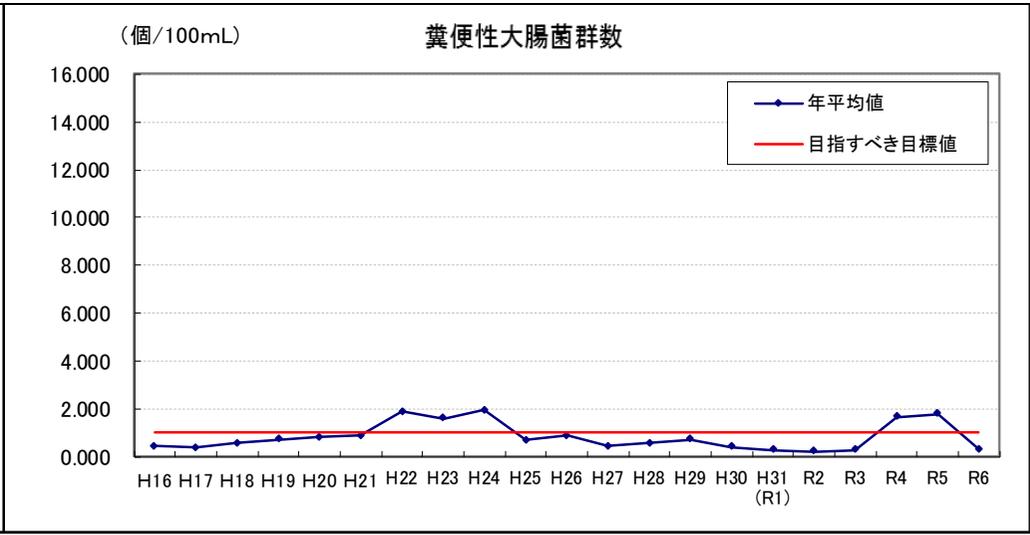
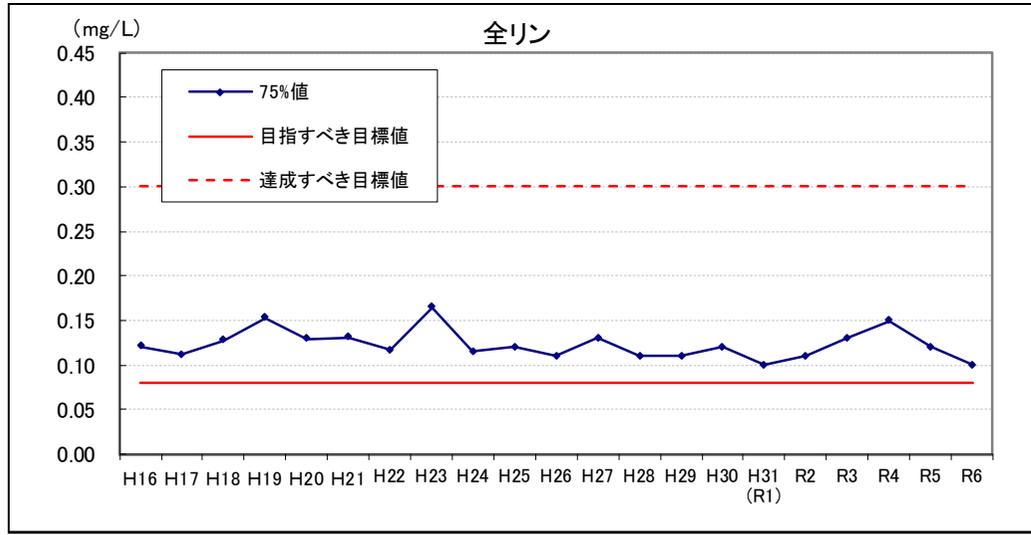
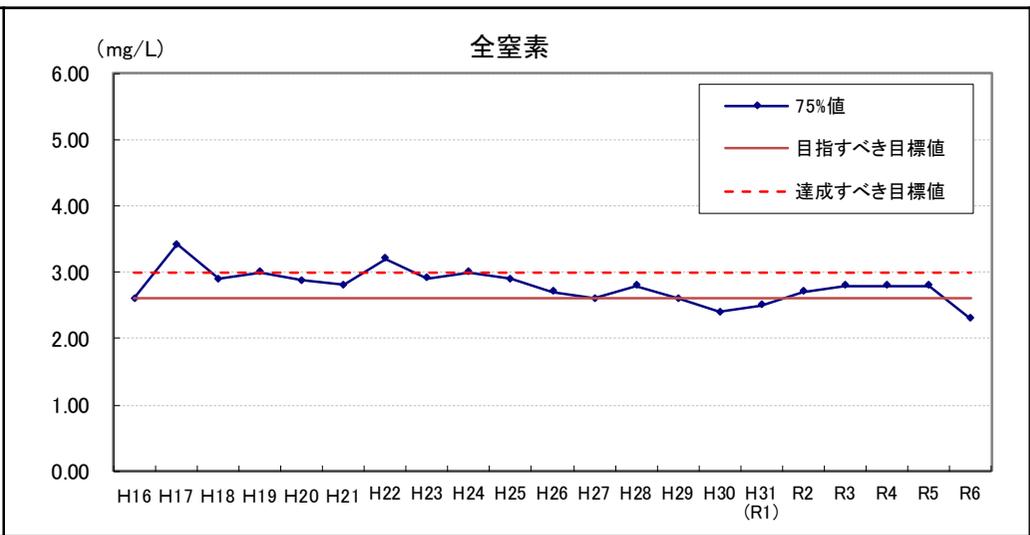
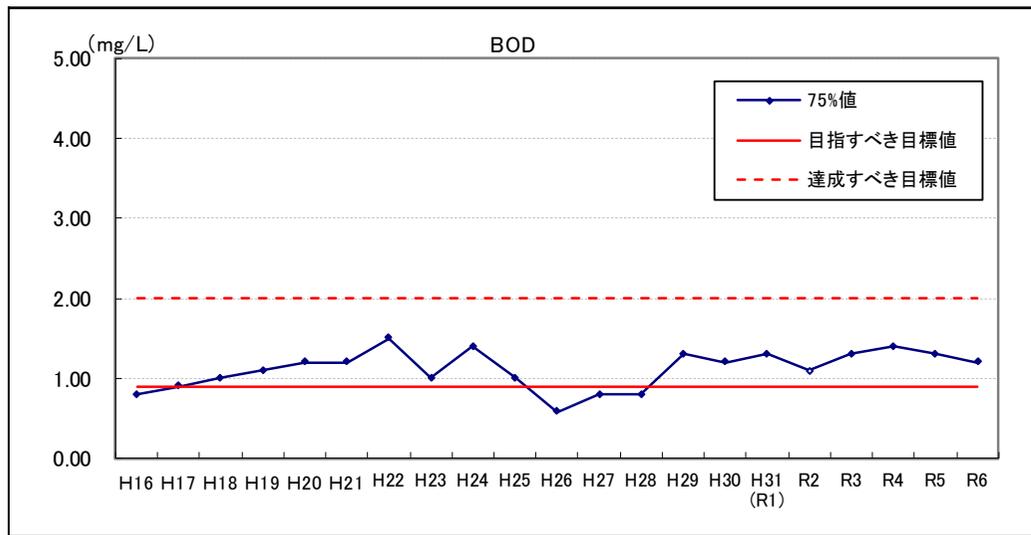
# 1. モニタリング結果

行動計画書p17, 31

## (1) 水質調査結果

### 1) 本川(評価地点 樋渡橋)

・樋渡橋では、BOD、全リンは達成すべき目標値を満足している。全窒素、糞便性大腸菌群数は、目指すべき目標値を満足している。



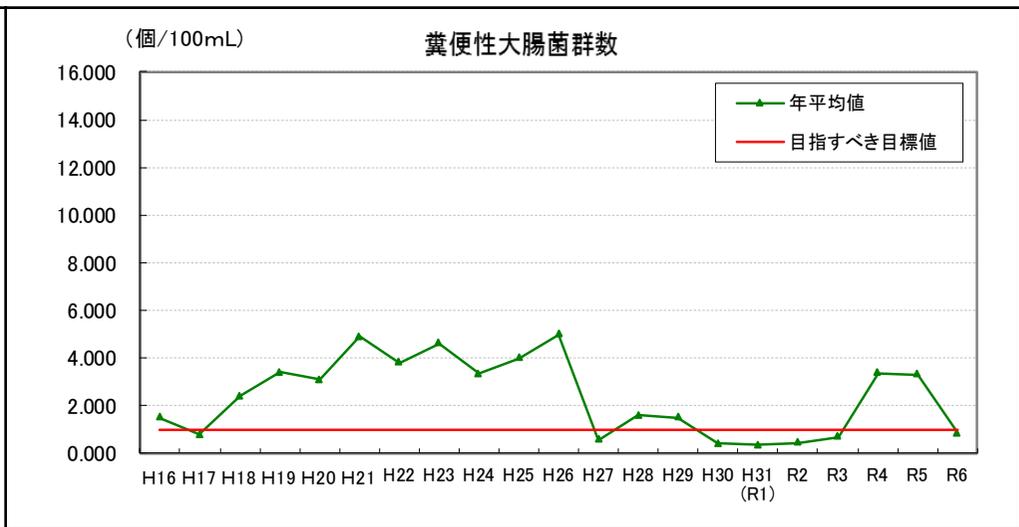
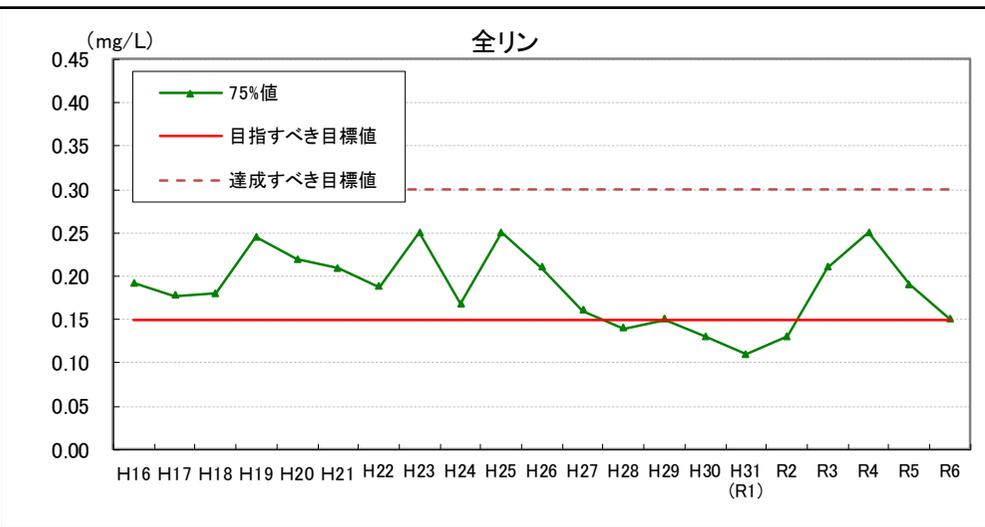
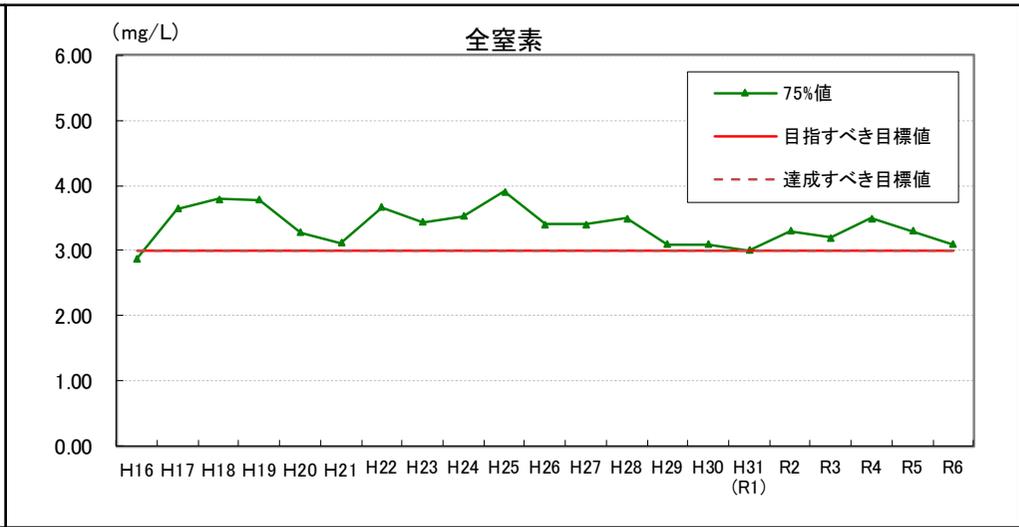
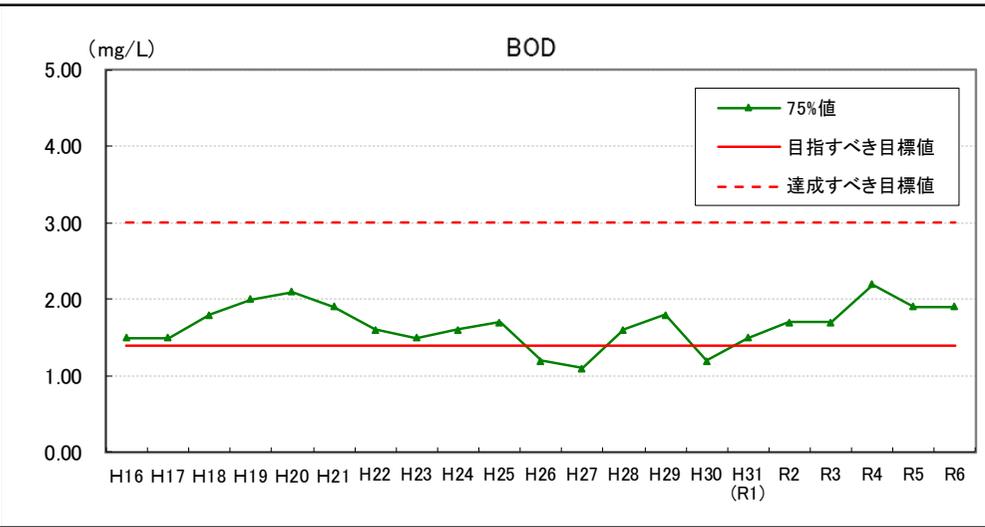
# 1. モニタリング結果

行動計画書p17, 31

## (1) 水質調査結果

### 1) 本川(評価地点 乙房橋)

・乙房橋では、BOD、全リンは達成すべき目標値を満足している。全窒素は達成すべき目標値を超過している。糞便性大腸菌群数は、目指すべき目標値を満足している。



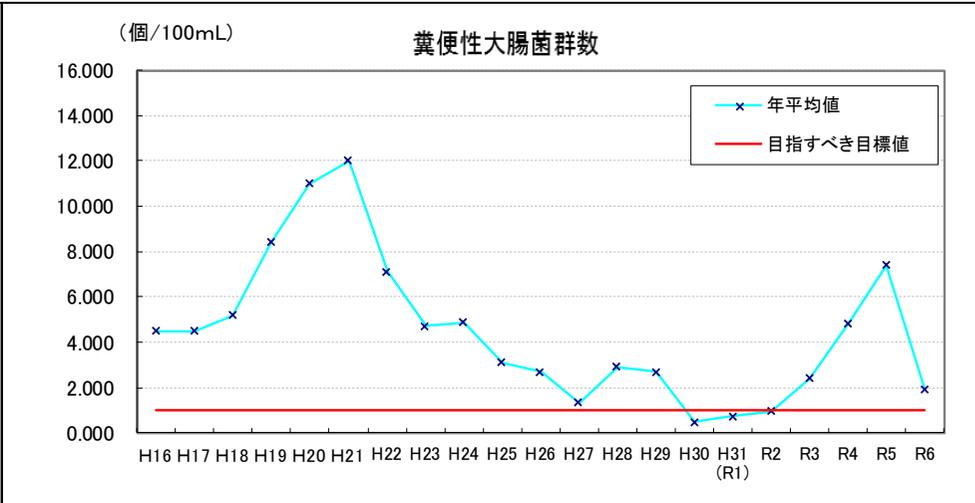
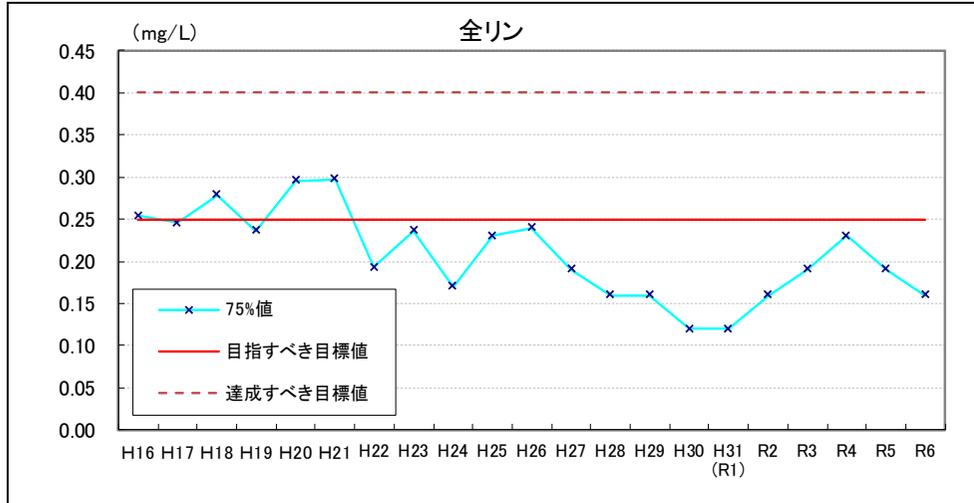
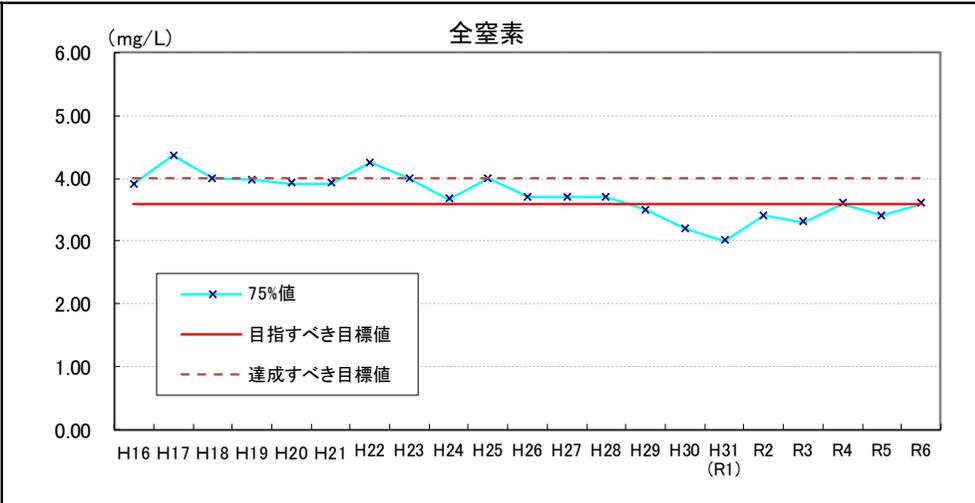
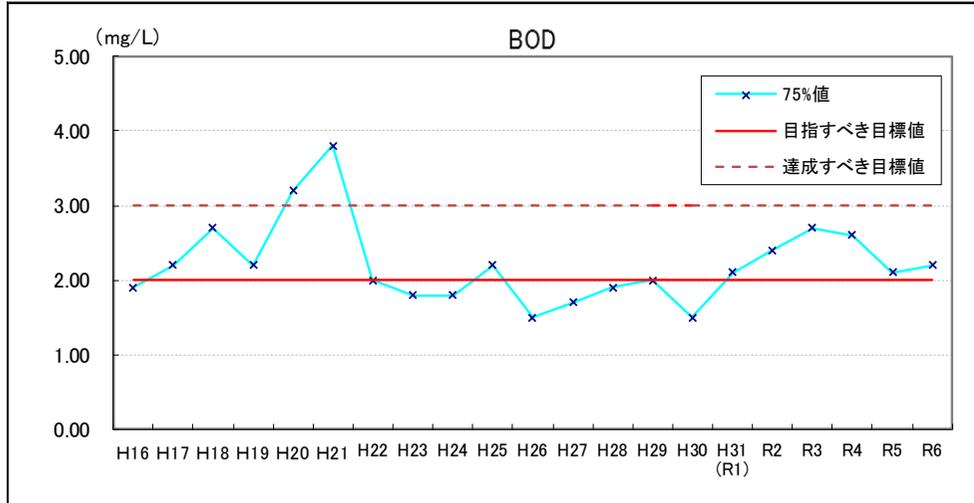
# 1. モニタリング結果

行動計画書p17, 31

## (1) 水質調査結果

### 1) 本川(評価地点 志比田橋)

・志比田橋では、BODは達成すべき目標値を満足している。全窒素、全リンは目指すべき目標値を満足している。  
糞便性大腸菌群数は、目指すべき目標値を超過している。



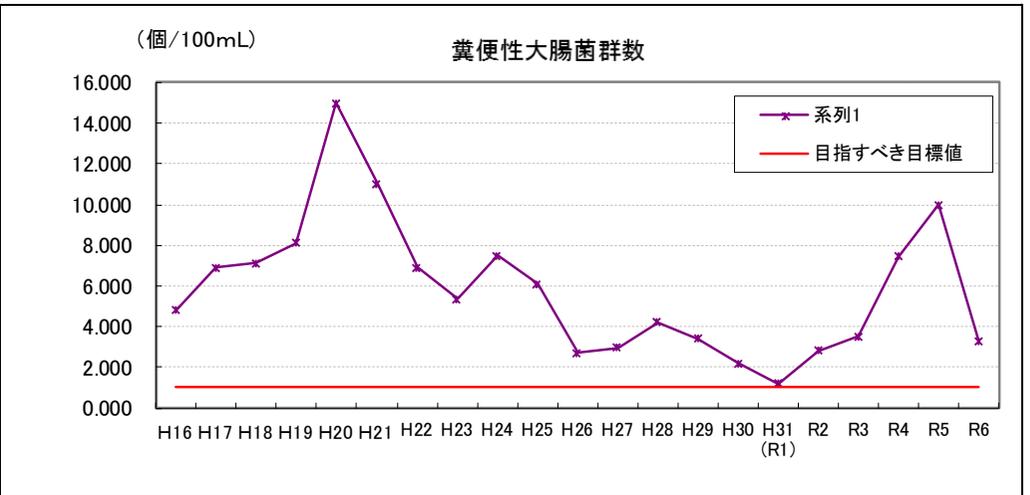
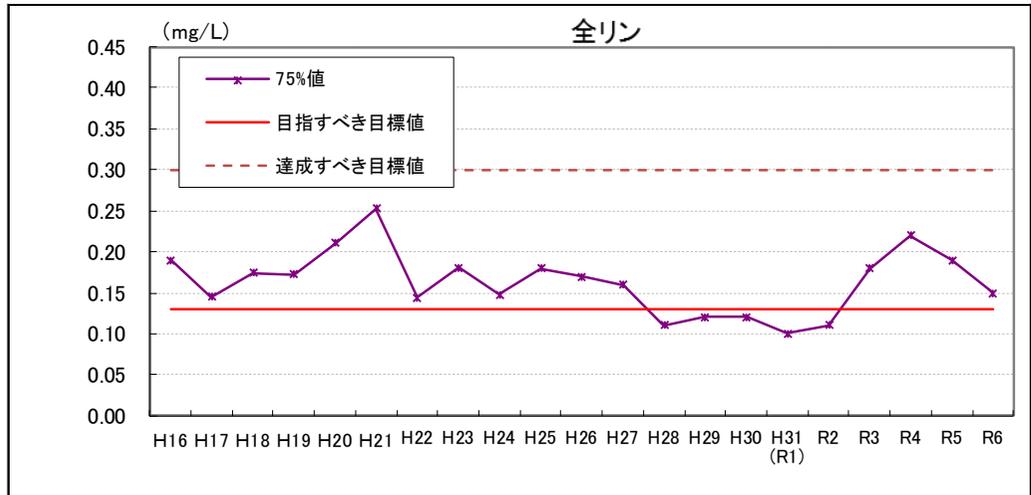
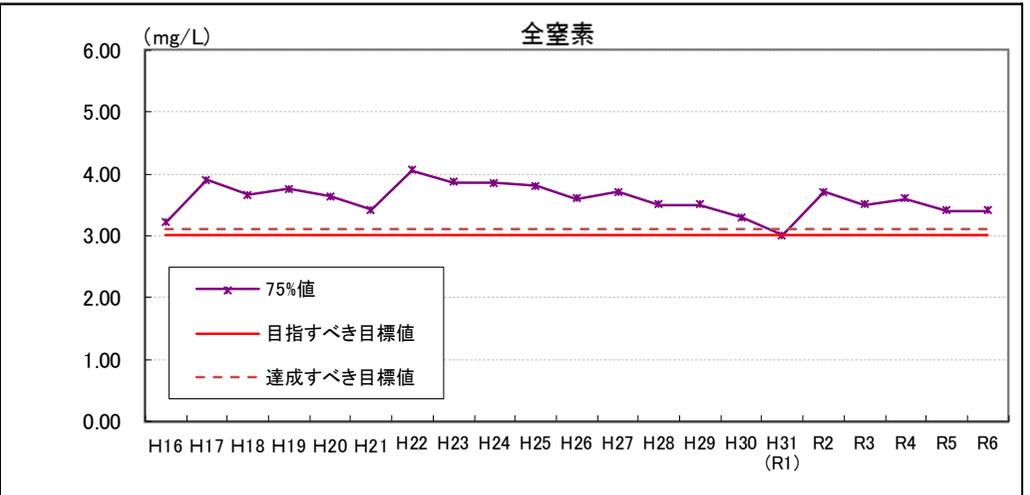
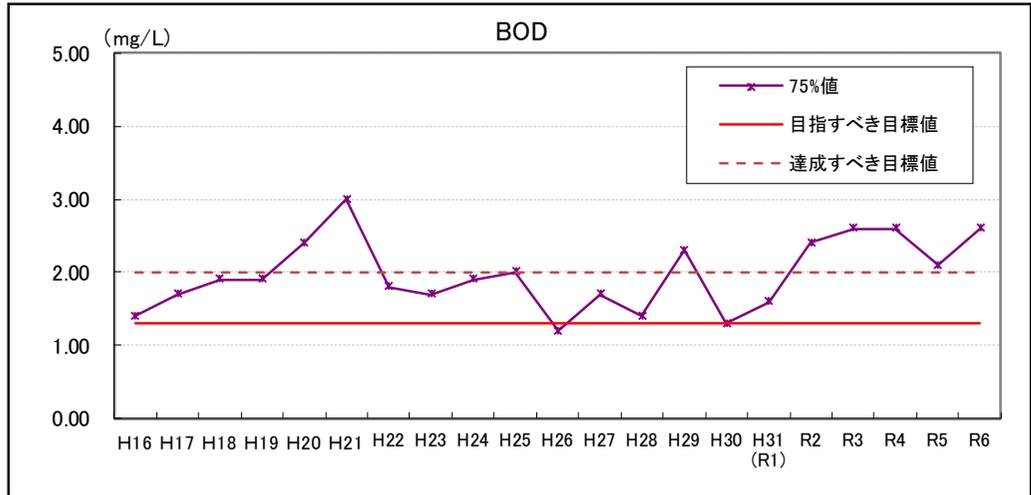
# 1. モニタリング結果

行動計画書p17, 31

## (1) 水質調査結果

### 1) 本川(評価地点 岳下橋)

・岳下橋では、全リンは目指すべき目標値を満足している。BOD、全窒素は達成すべき目標値を超過している。  
糞便性大腸菌群数は、目指すべき目標値を超過している。



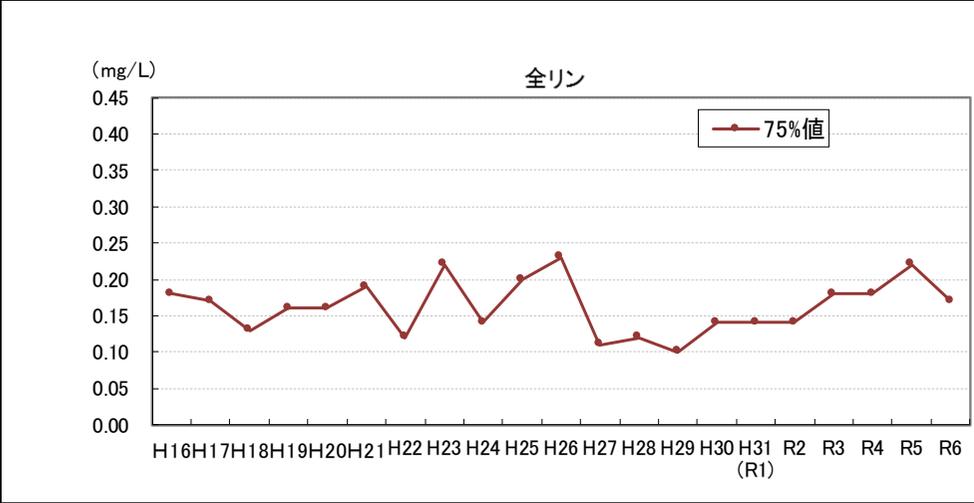
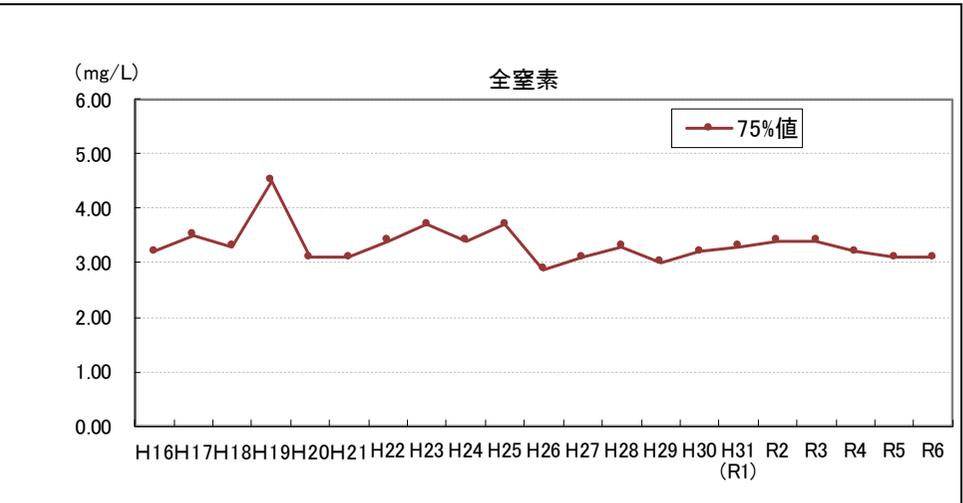
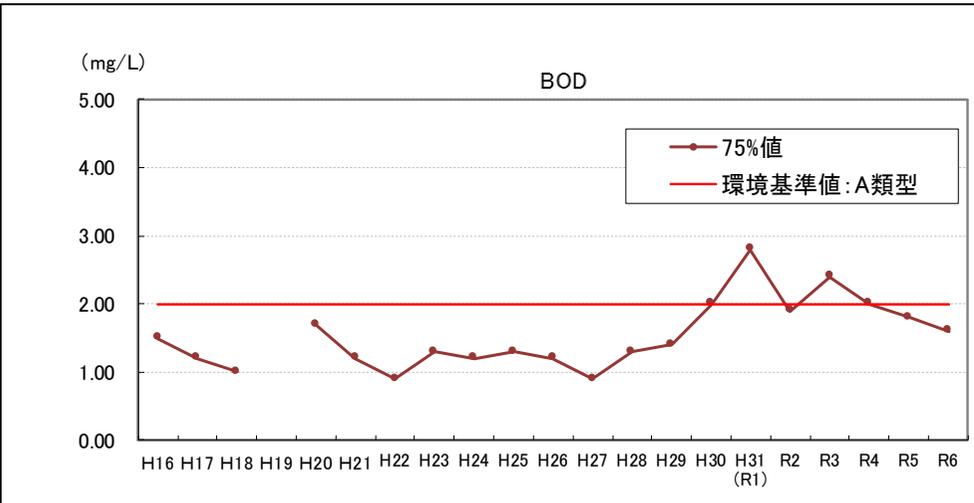
# 1. モニタリング結果

行動計画書p17,32

## (1) 水質調査結果

### 1) 本川(モニタリング地点 今迫橋)

・今迫橋では、BODは基準を満足している。全窒素は概ね横ばい傾向、全リン、糞便性大腸菌群数は減少した。



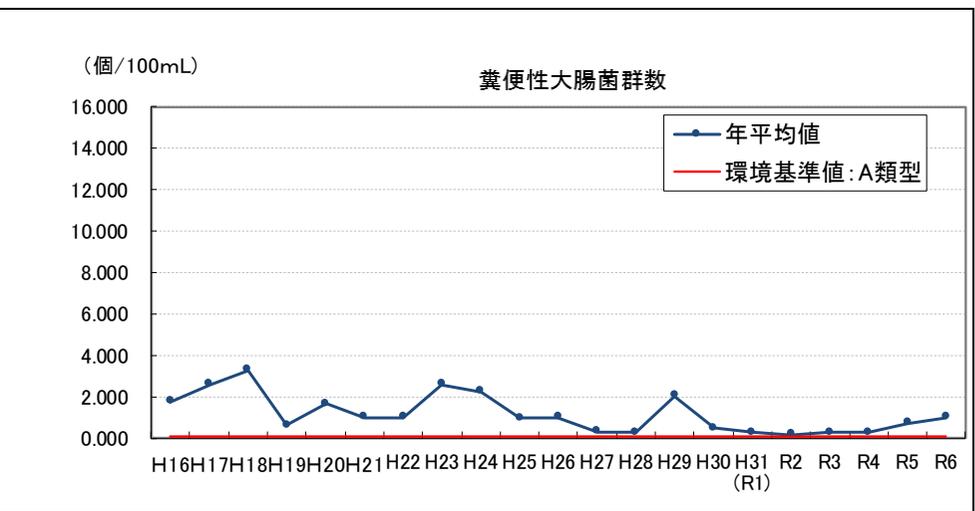
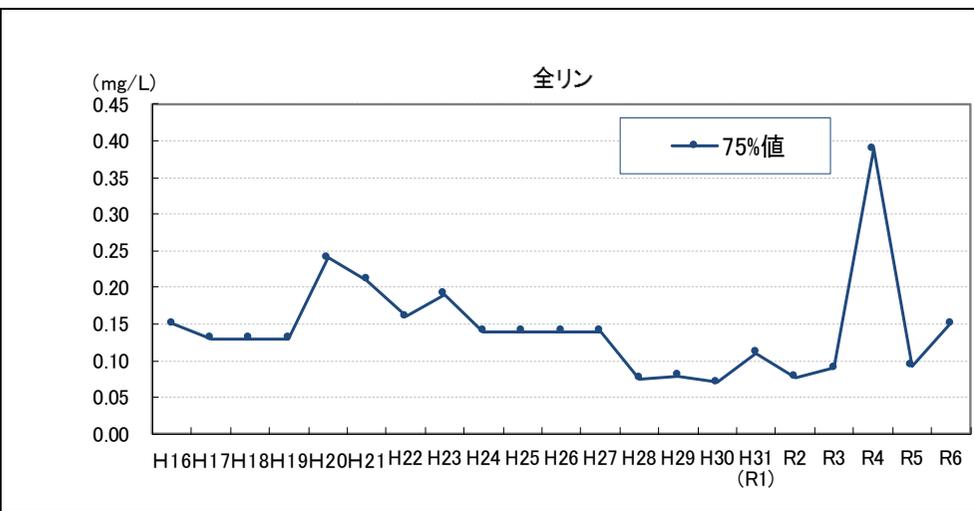
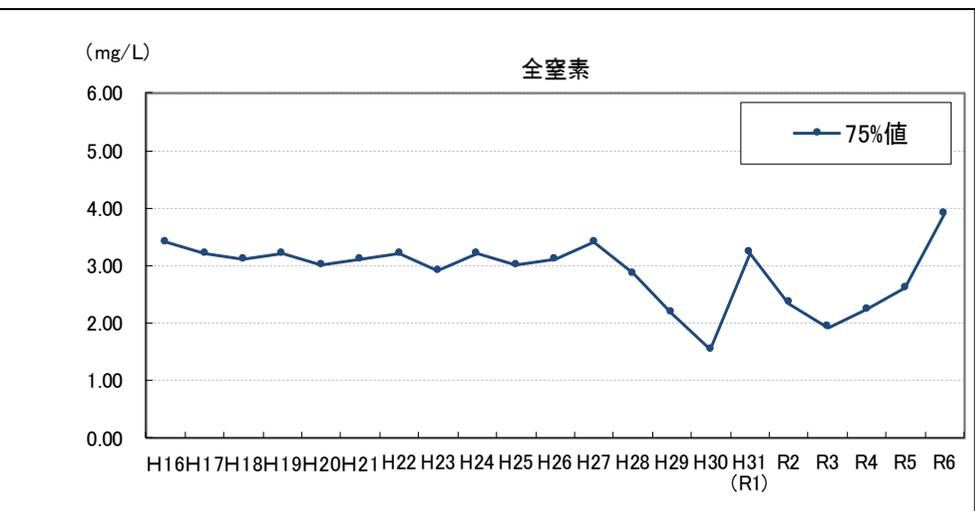
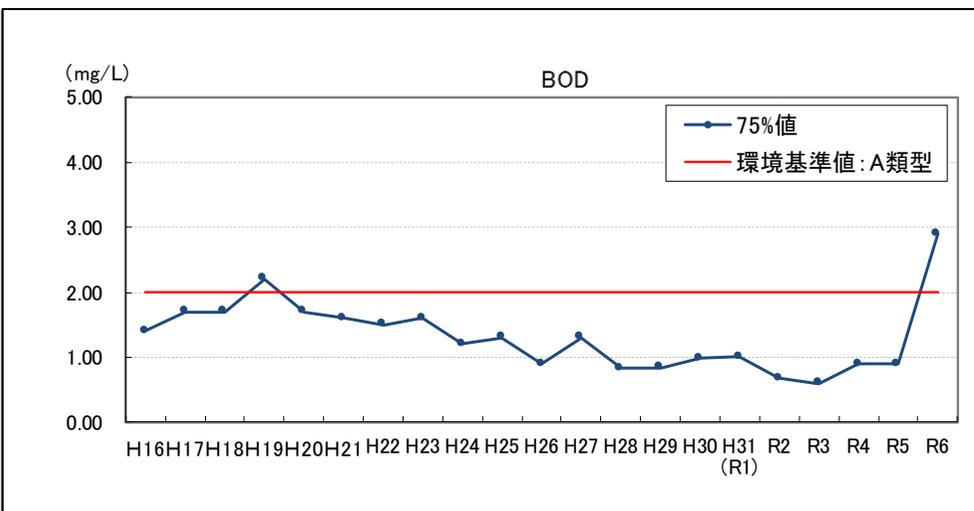
# 1. モニタリング結果

## (1) 水質調査結果

行動計画書p17,32

### 1) 本川(モニタリング地点 新割田橋)

・新割田橋では、BODは環境基準値を超過している。全窒素、全リン、糞便性大腸菌群数も増加している。



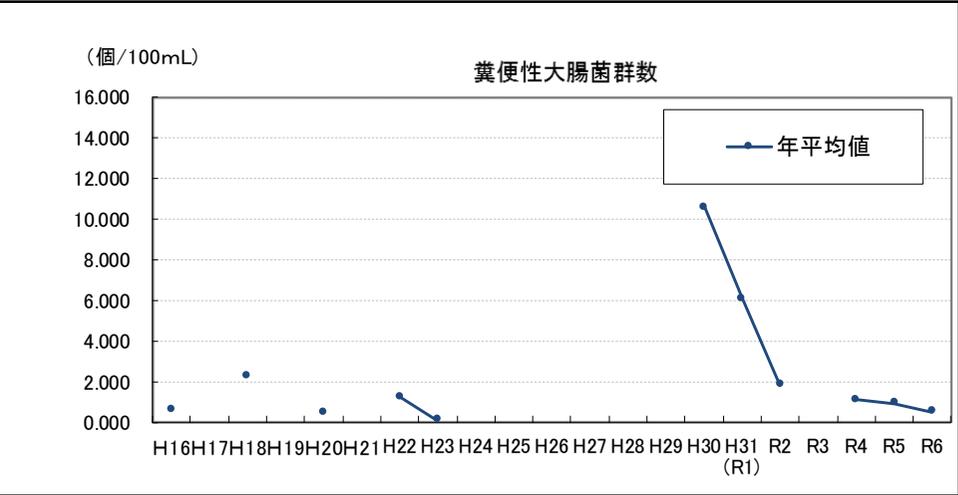
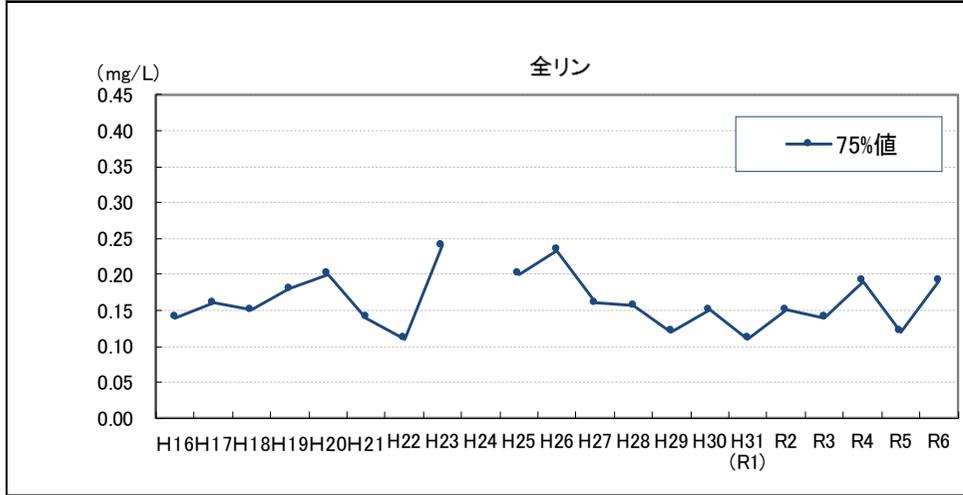
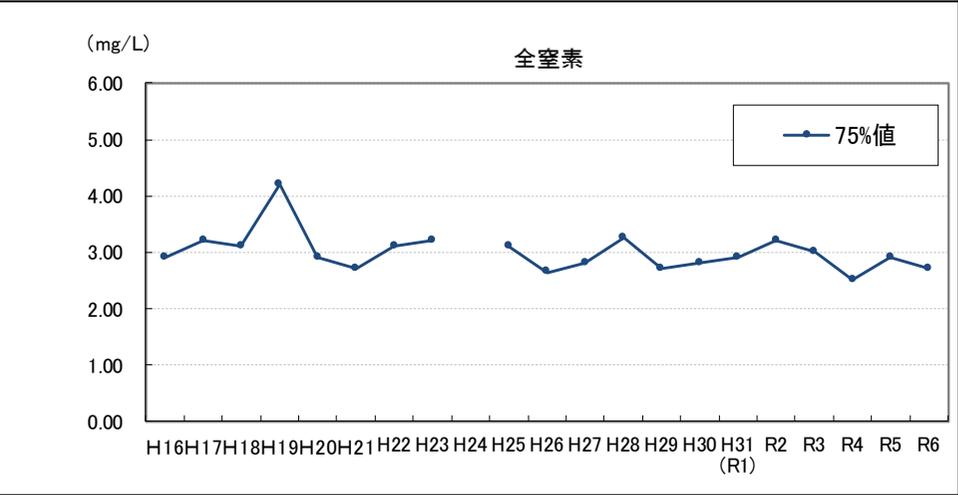
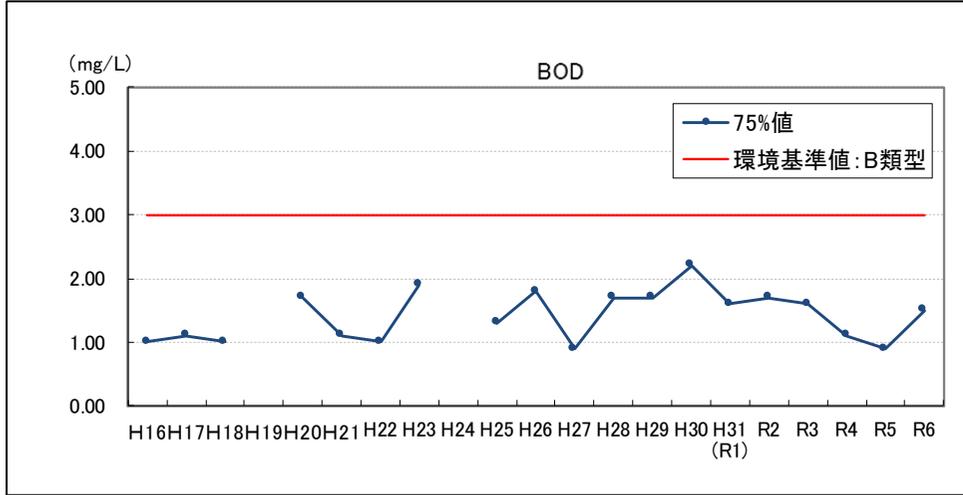
# 1. モニタリング結果

## (1) 水質調査結果

行動計画書p17,32

### 1) 本川(モニタリング地点 王子橋)

・王子橋では、BODは、環境基準値を満足している。全窒素は減少しているが全リンが増加した。糞便性大腸菌群数は減少傾向にある。



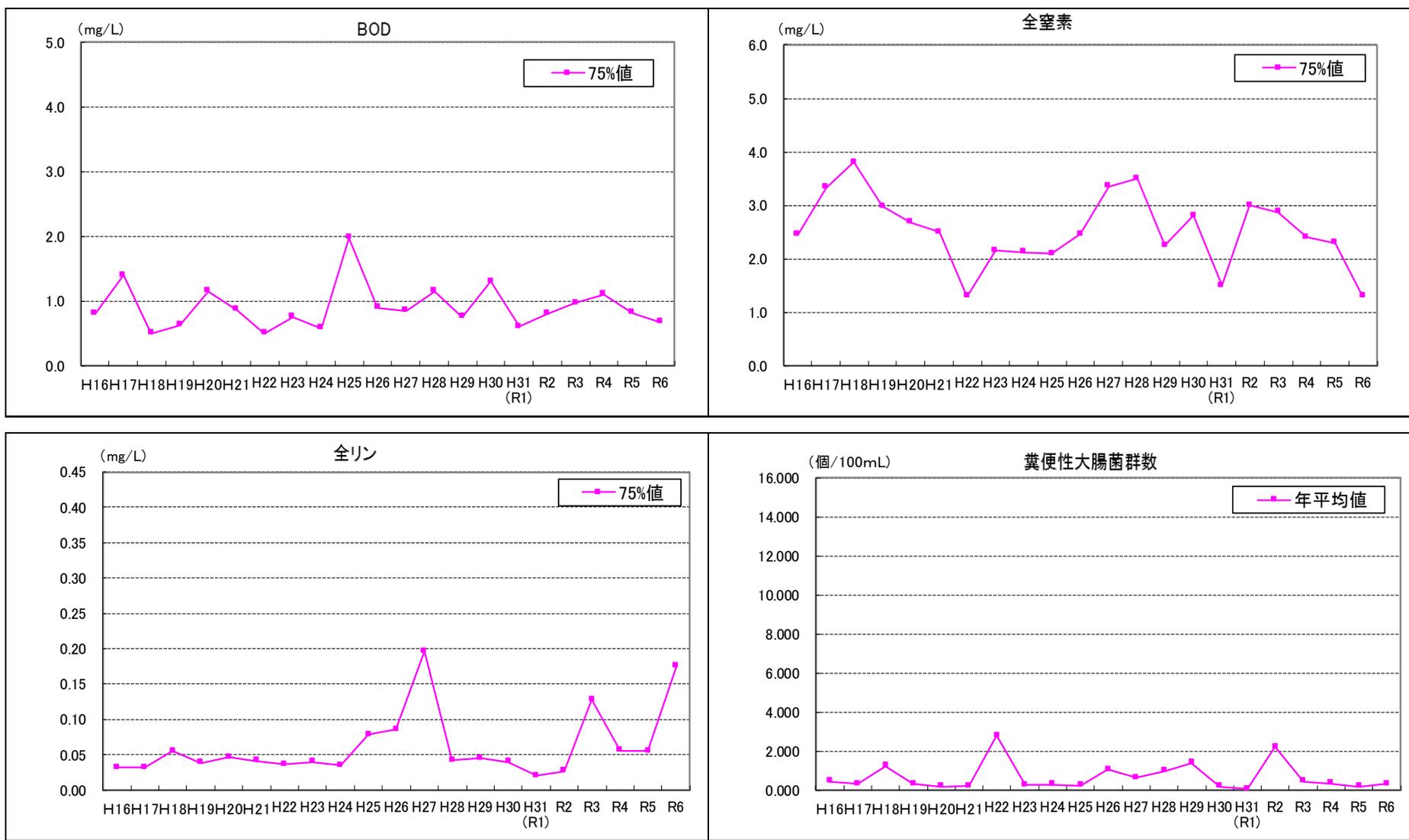
# 1. モニタリング結果

## (1) 水質調査結果

行動計画書p17, 33

### 1) 支川(モニタリング地点 有水川: 有水川下流)

・有水川下流では、BOD、全窒素は減少し、全リンは増加している。糞便性大腸菌群数は概ね横ばい傾向である。



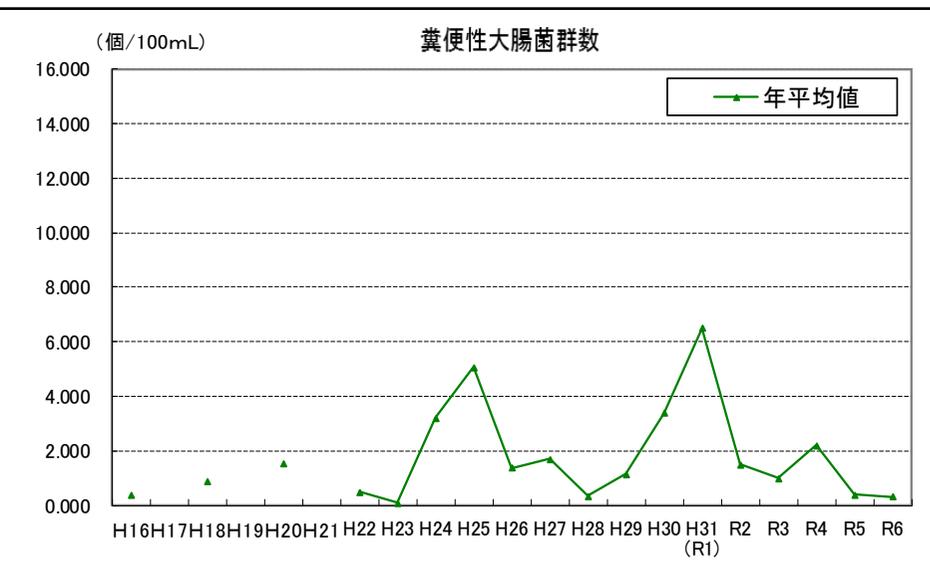
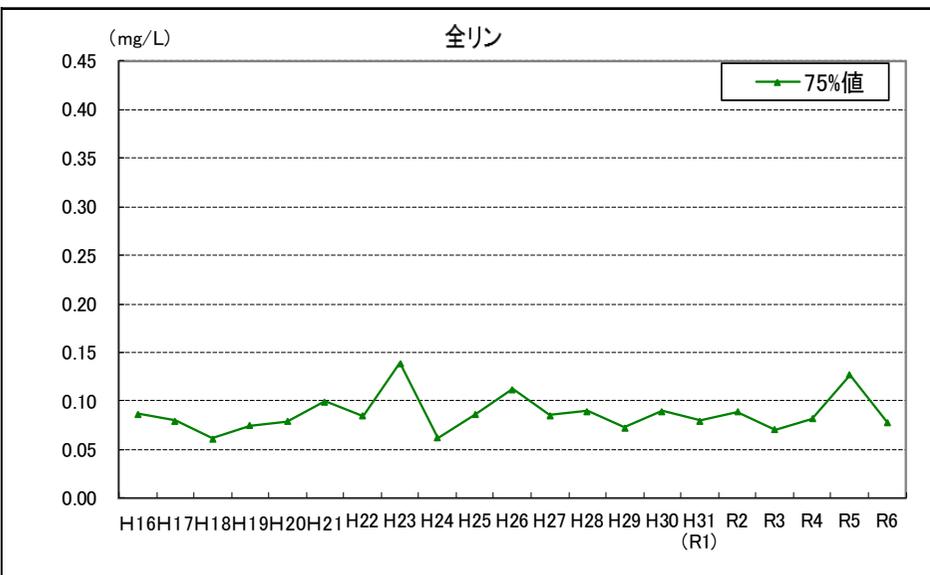
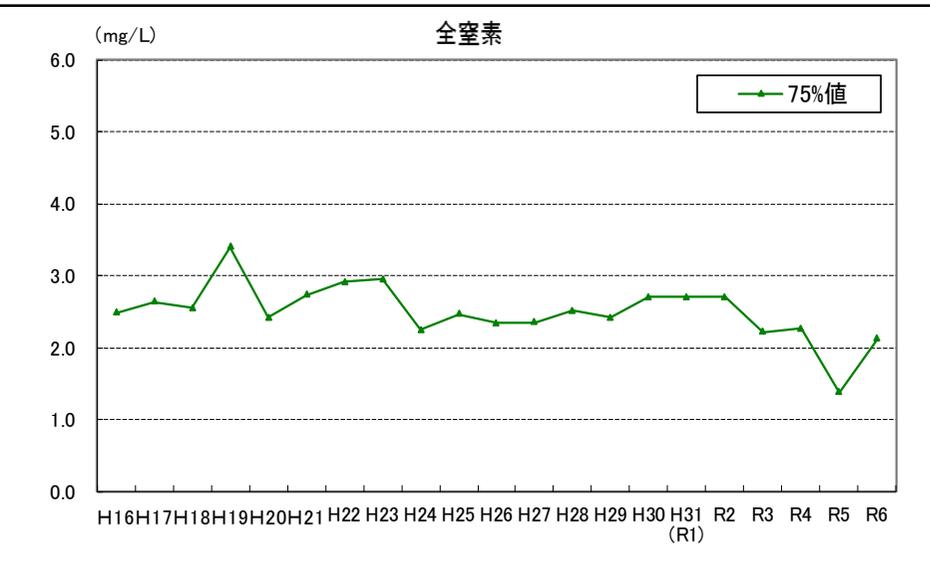
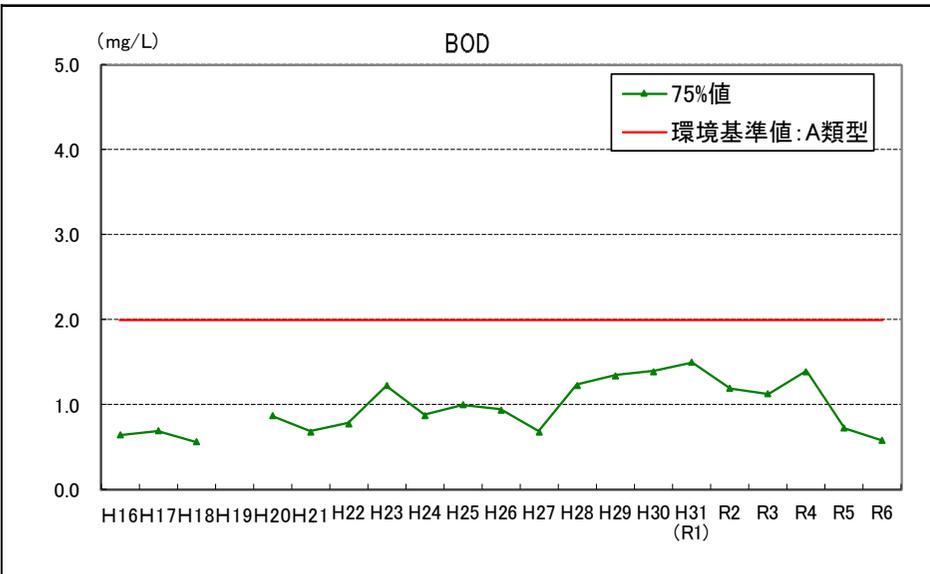
# 1. モニタリング結果

## (1) 水質調査結果

行動計画書p17, 33

### 1) 支川(モニタリング地点 高崎川:鶴崎橋)

・鶴崎橋では、BOD、全リン、糞便性大腸菌群数は減少傾向である。全窒素は、増加している。



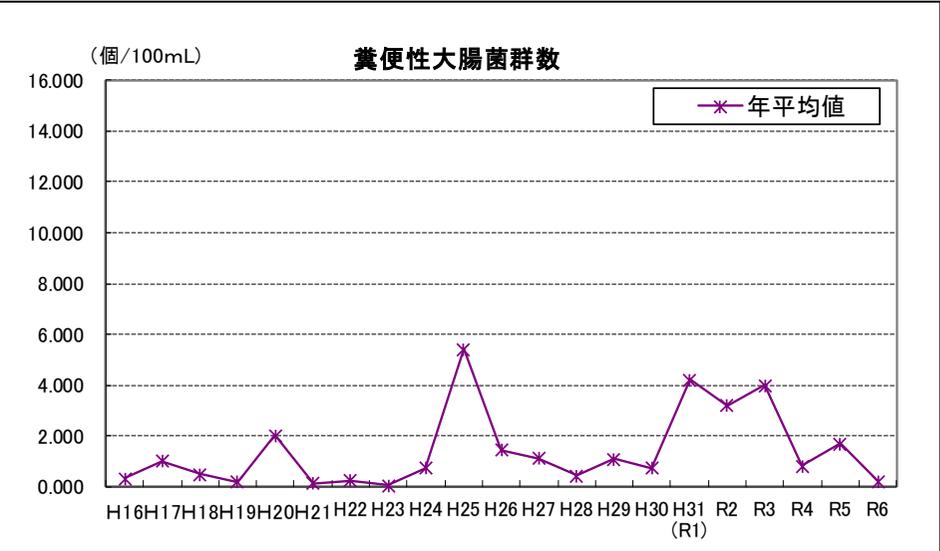
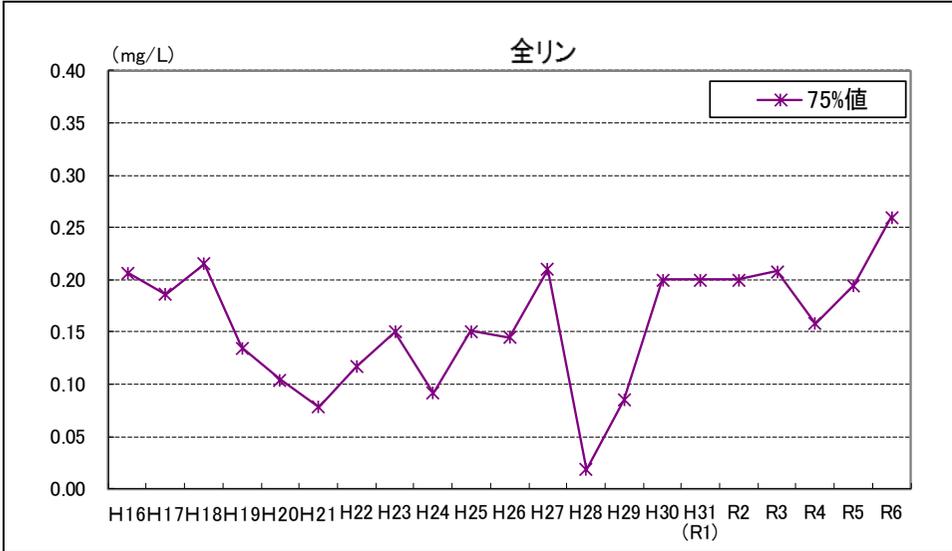
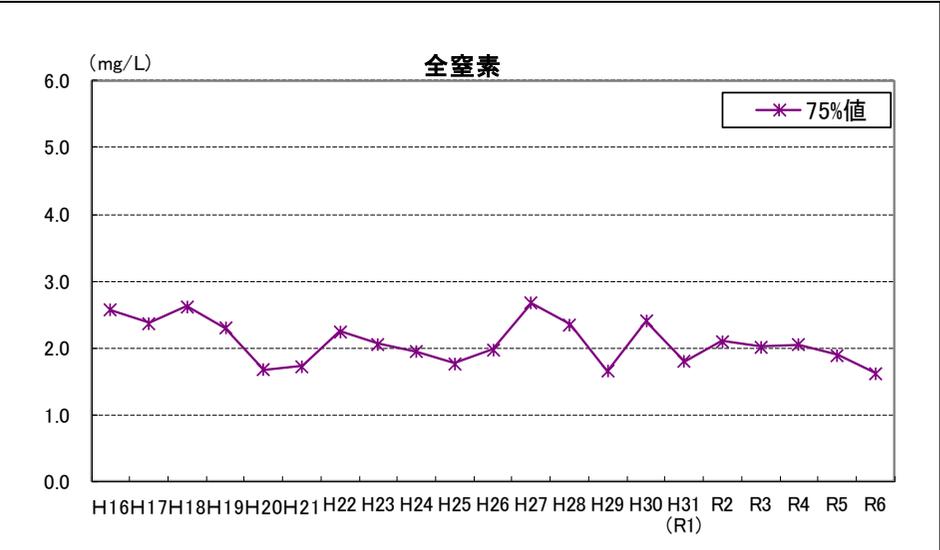
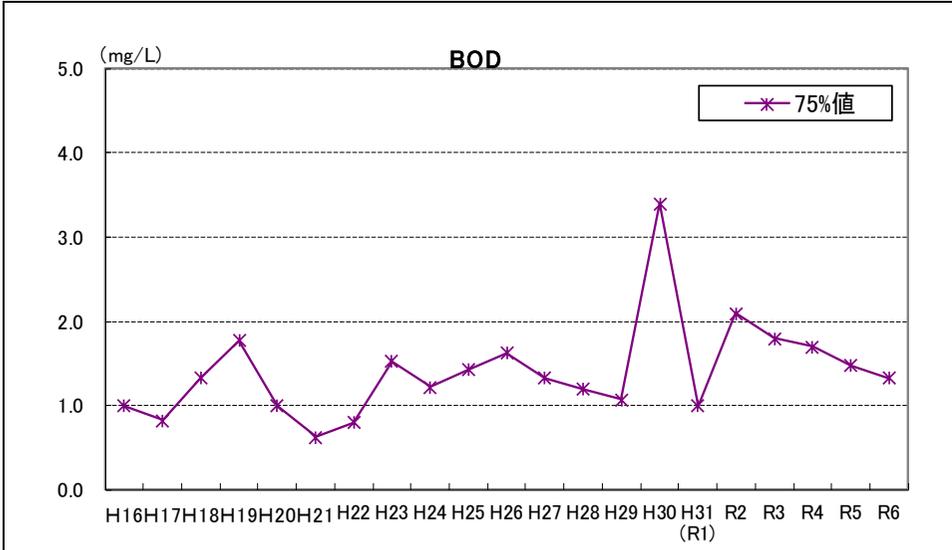
# 1. モニタリング結果

## (1) 水質調査結果

行動計画書p17, 33

### 1) 支川(モニタリング地点 東岳川:下東岳橋)

・下東岳橋では、BOD、全窒素、糞便性大腸菌群数は、減少している。全リンは増加している。



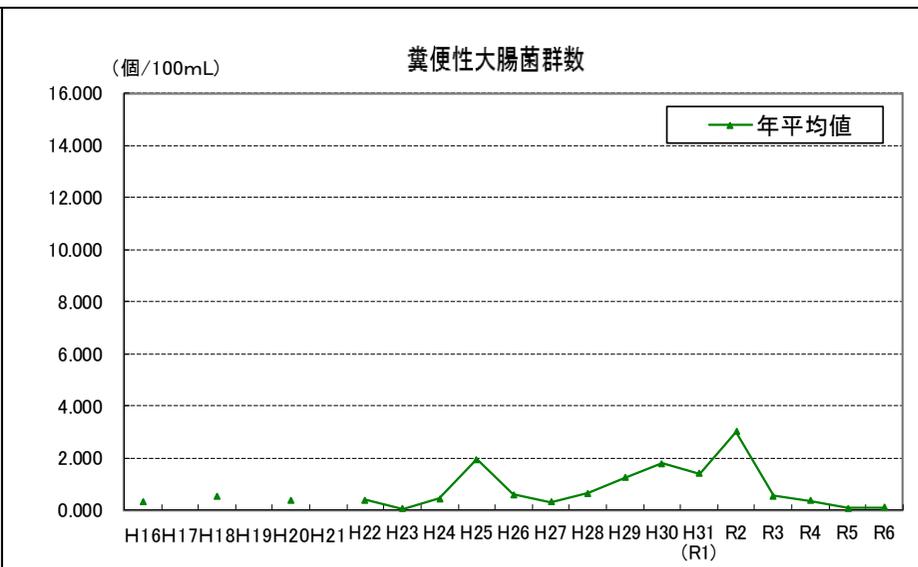
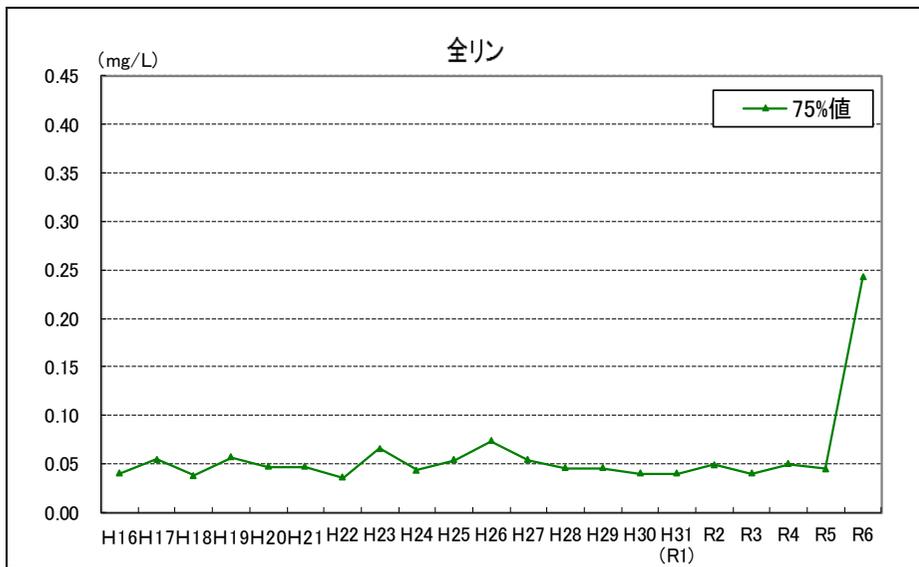
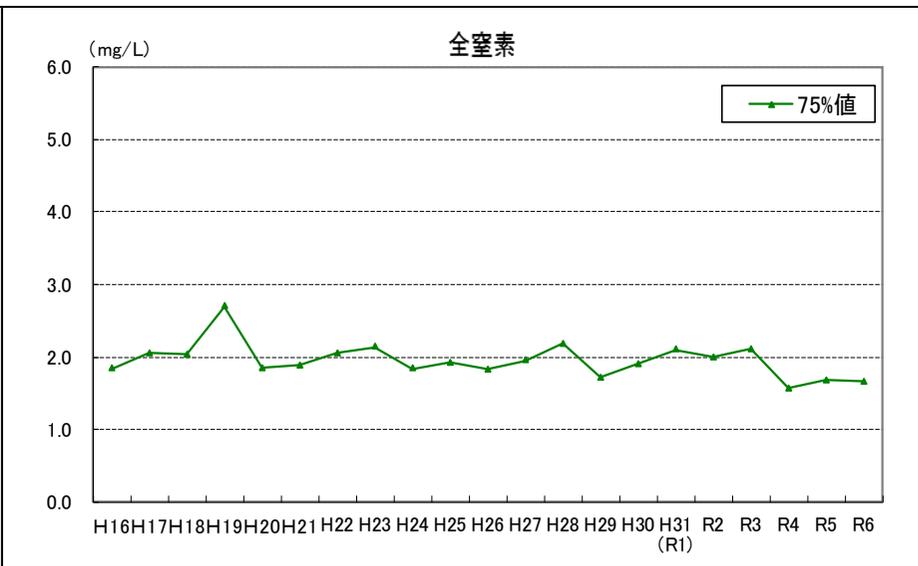
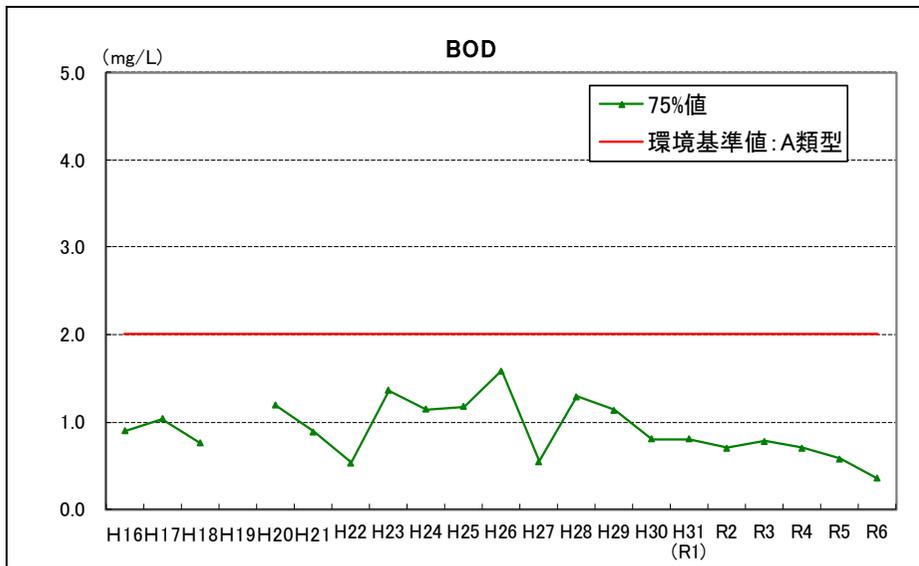
# 1. モニタリング結果

## (1) 水質調査結果

行動計画書p17, 33

### 1) 支川(モニタリング地点 庄内川: 鵜之島橋)

・鵜之島橋では、BOD、全窒素、糞便性大腸菌群数は減少している。全リンは、増加している。



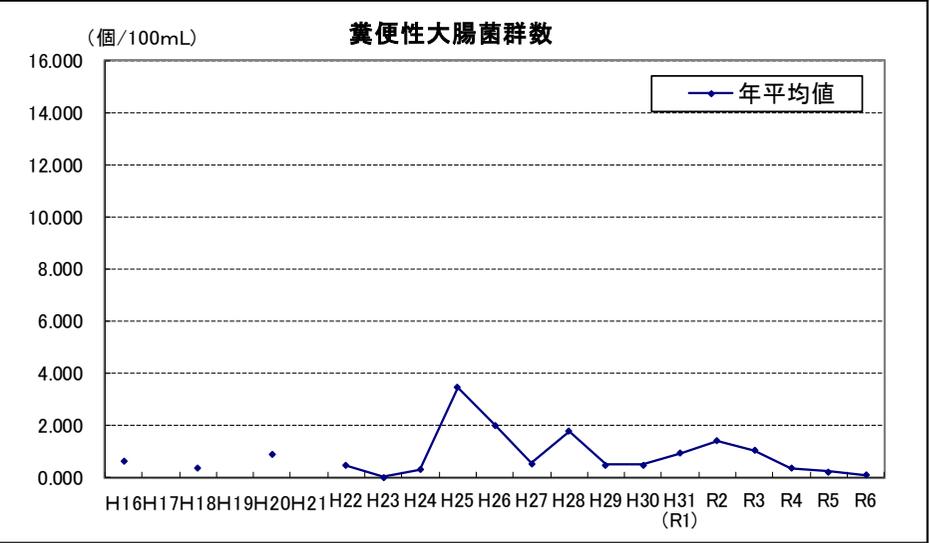
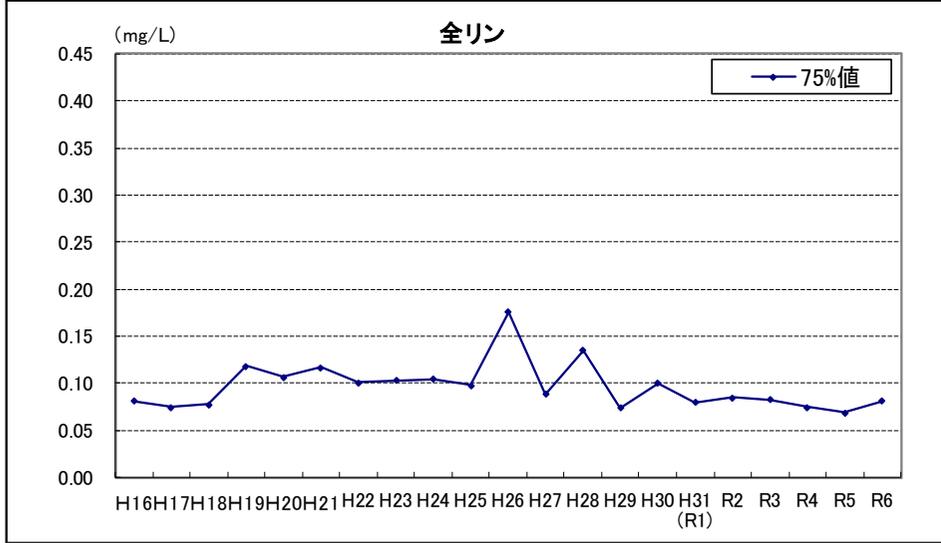
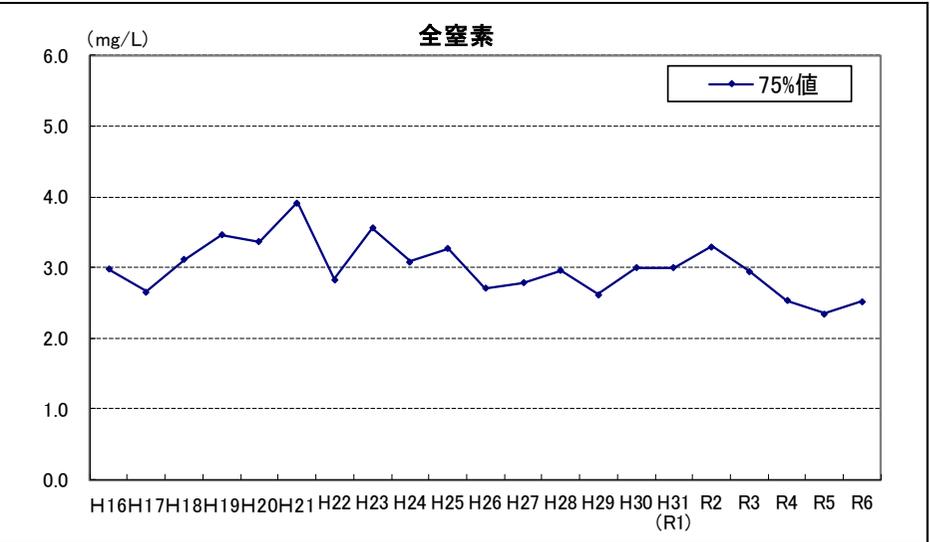
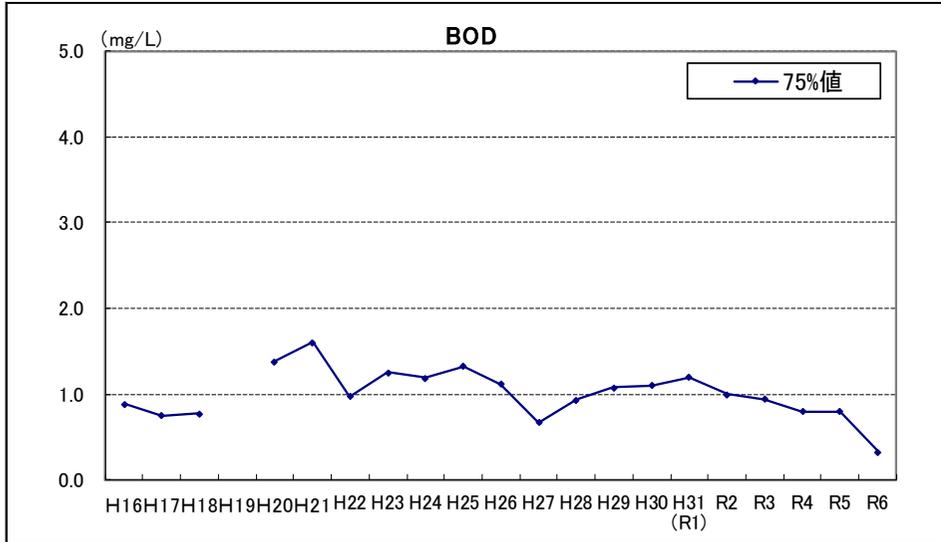
# 1. モニタリング結果

## (1) 水質調査結果

行動計画書p17, 33

### 1) 支川(モニタリング地点 横市川:源野橋)

・源野橋では、BOD、糞便性大腸菌群数は減少しているが、全窒素、全リンは増加している。



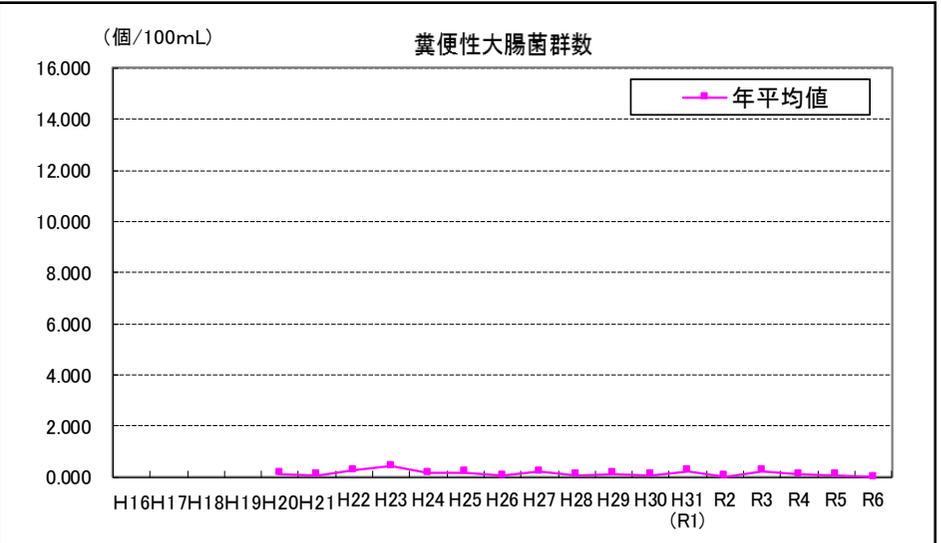
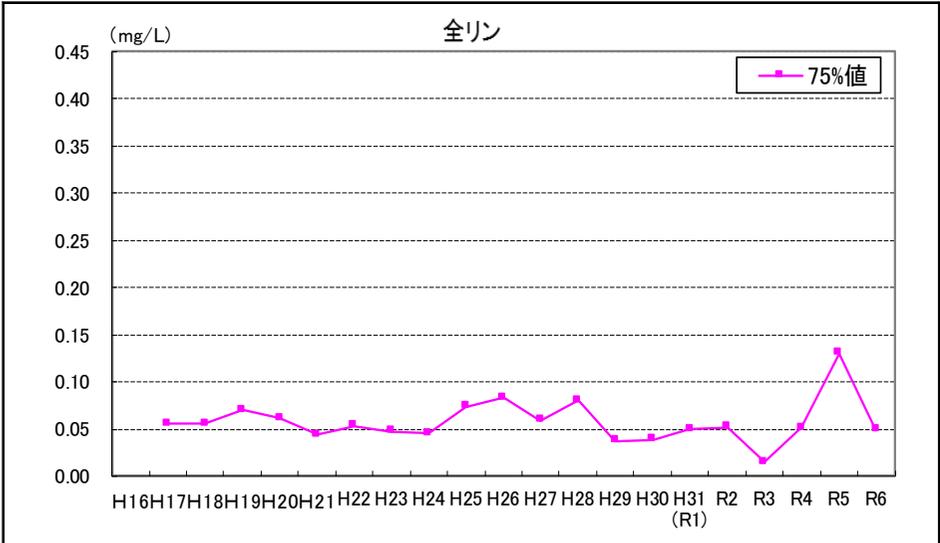
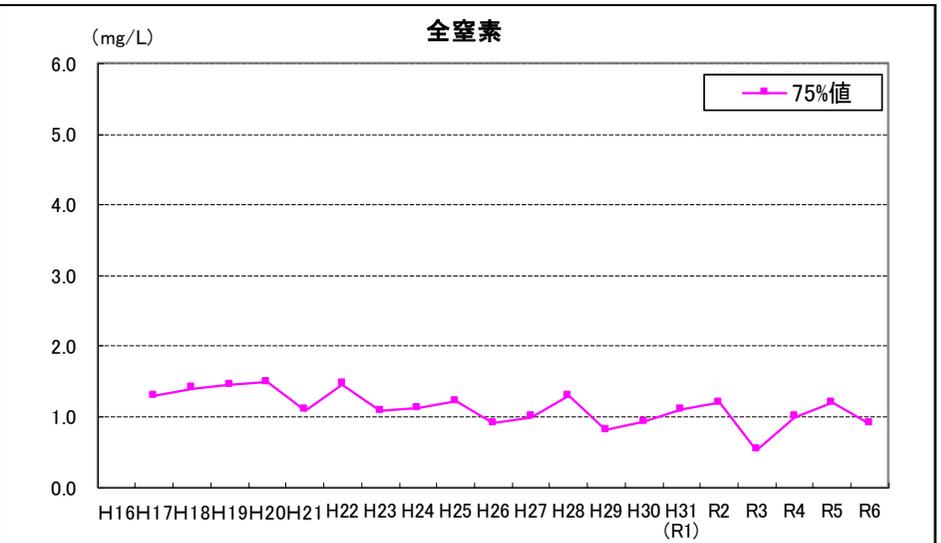
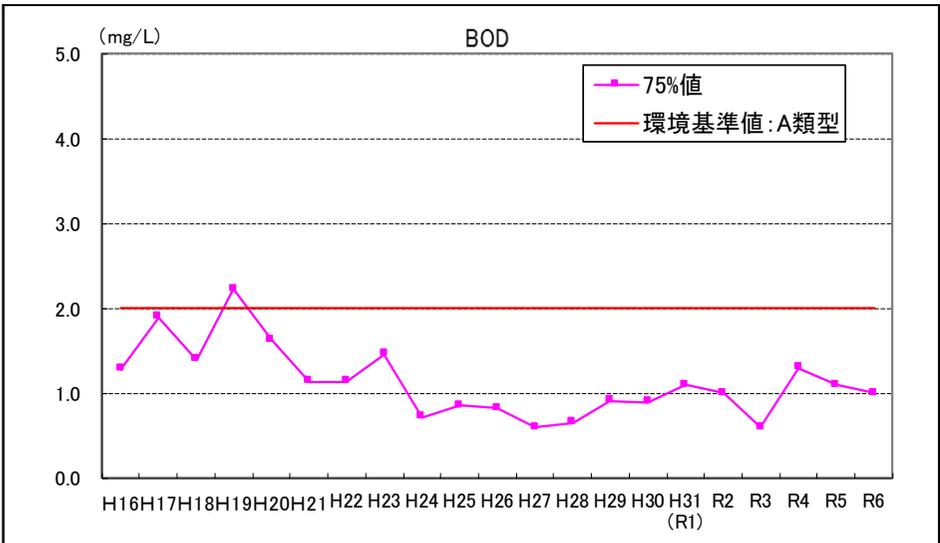
# 1. モニタリング結果

## (1) 水質調査結果

行動計画書p17,33

### 1) 支川(モニタリング地点 沖水川:下沖水橋)

・下沖水橋では、BODは環境基準値を満足している。全窒素、全リン、糞便性大腸菌群数は、減少している。



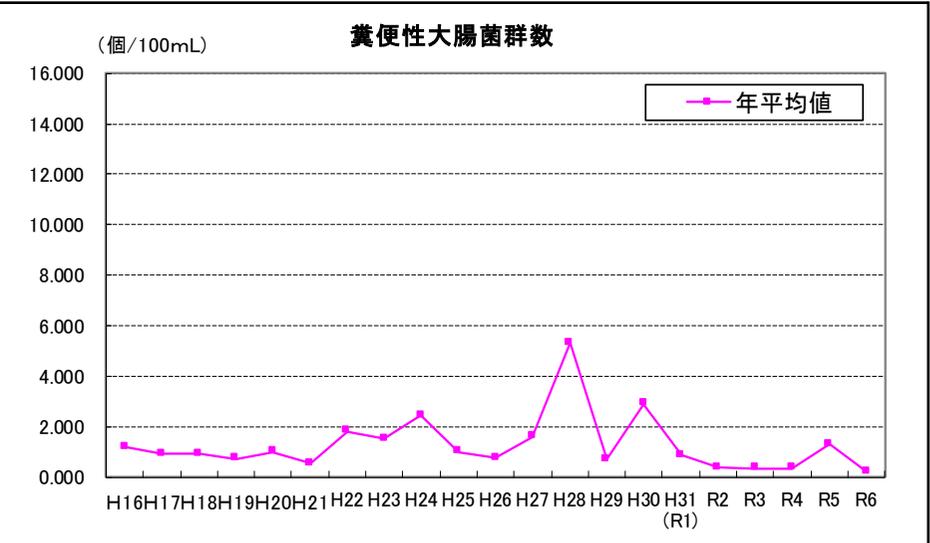
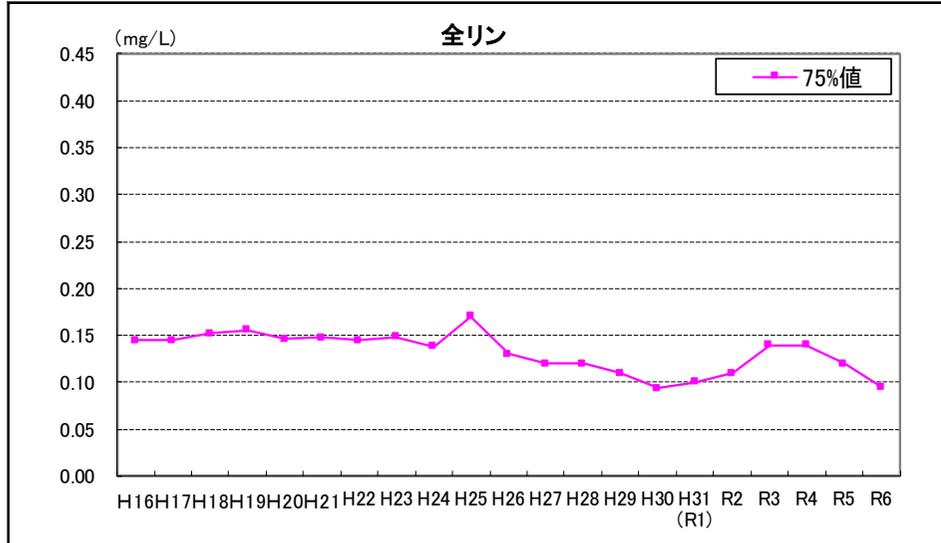
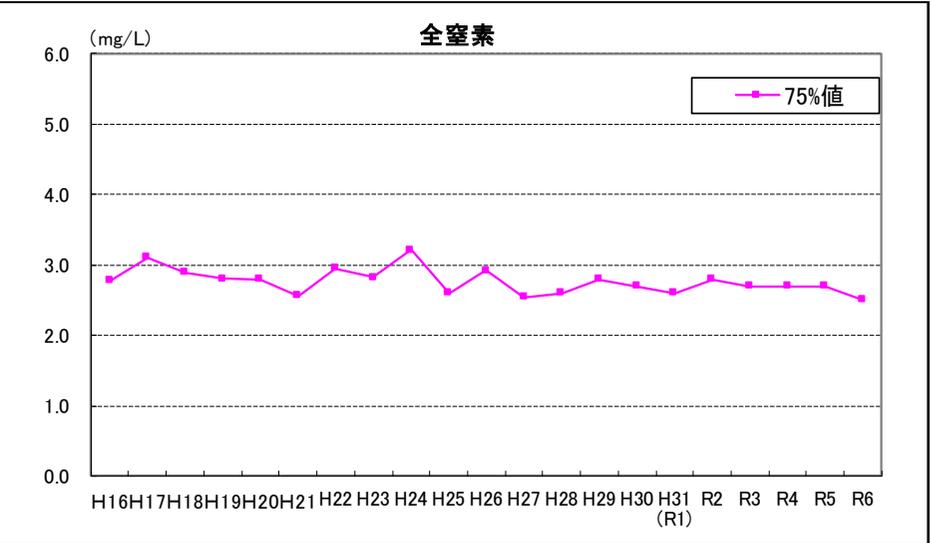
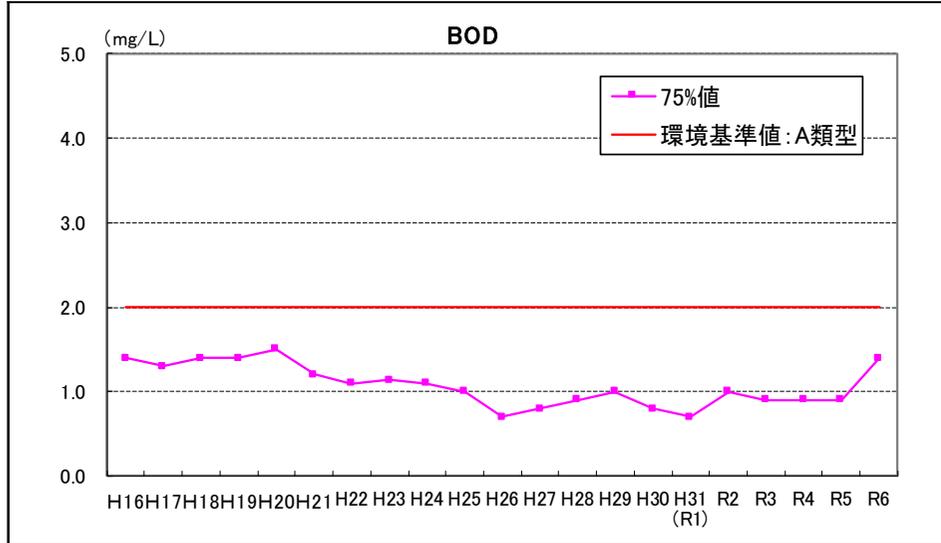
# 1. モニタリング結果

## (1) 水質調査結果

行動計画書p17,33

### 1) 支川(モニタリング地点 年見川:宮丸橋)

・宮丸橋では、BODは環境基準値を満足している。全窒素、全リン、糞便性大腸菌群数は減少している。



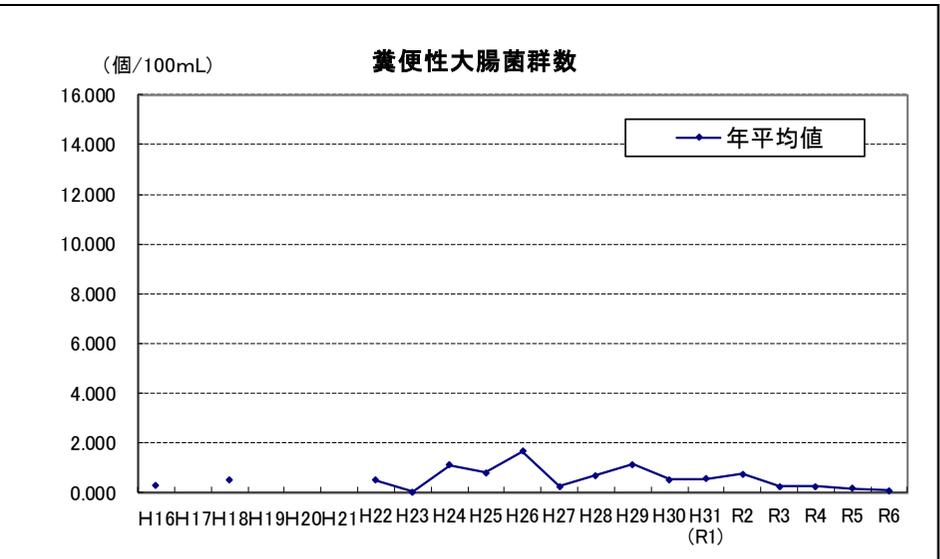
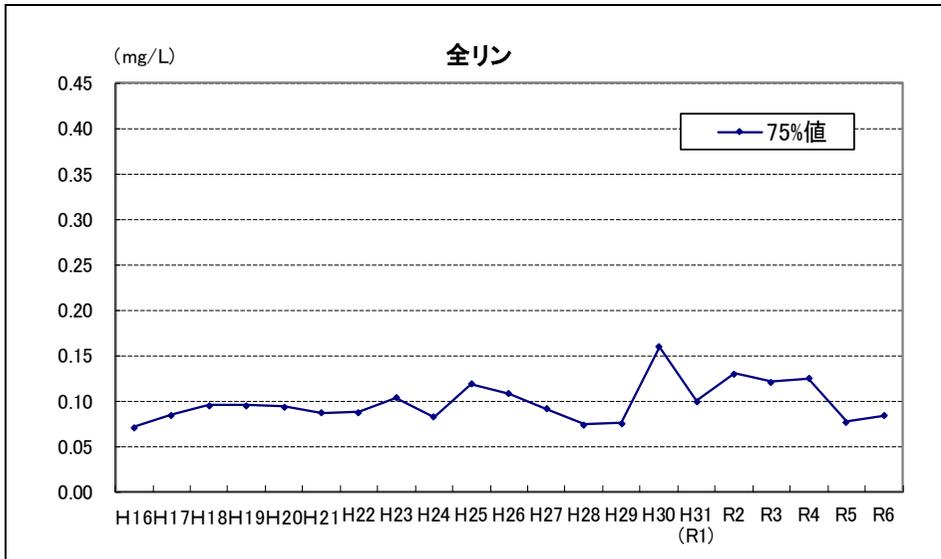
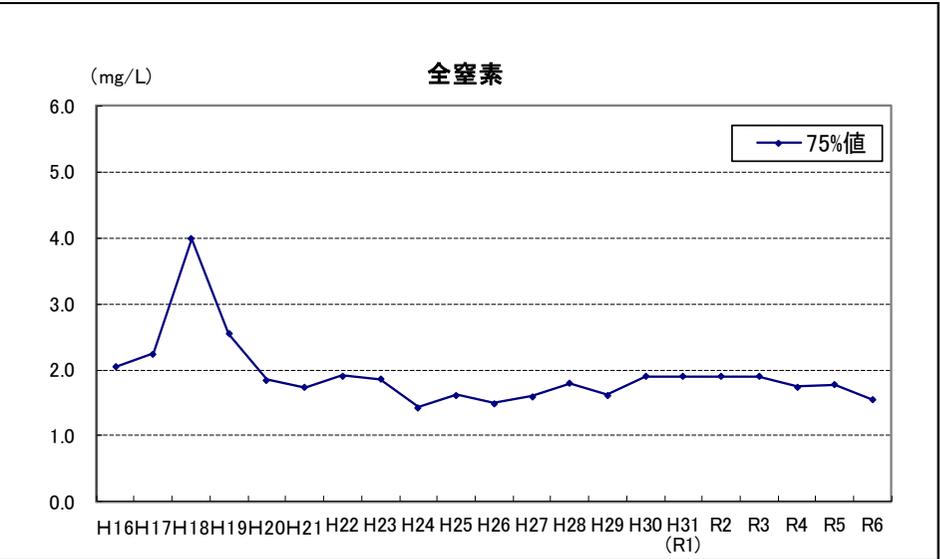
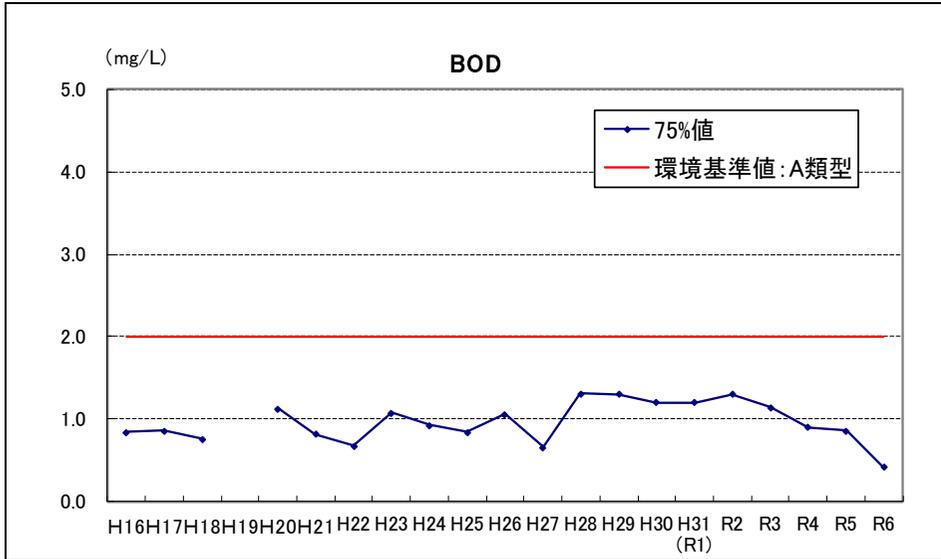
# 1. モニタリング結果

## (1) 水質調査結果

行動計画書p17, 33

### 1) 支川(モニタリング地点 萩原川:木之前橋)

・木之前橋では、BODは環境基準値を満足している。全窒素、全リン、糞便性大腸菌群数は概ね横ばい傾向である。



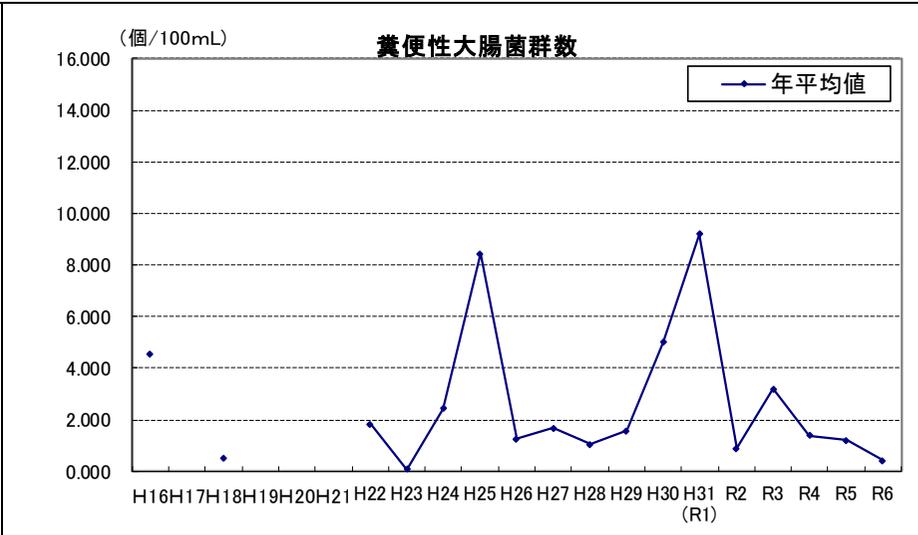
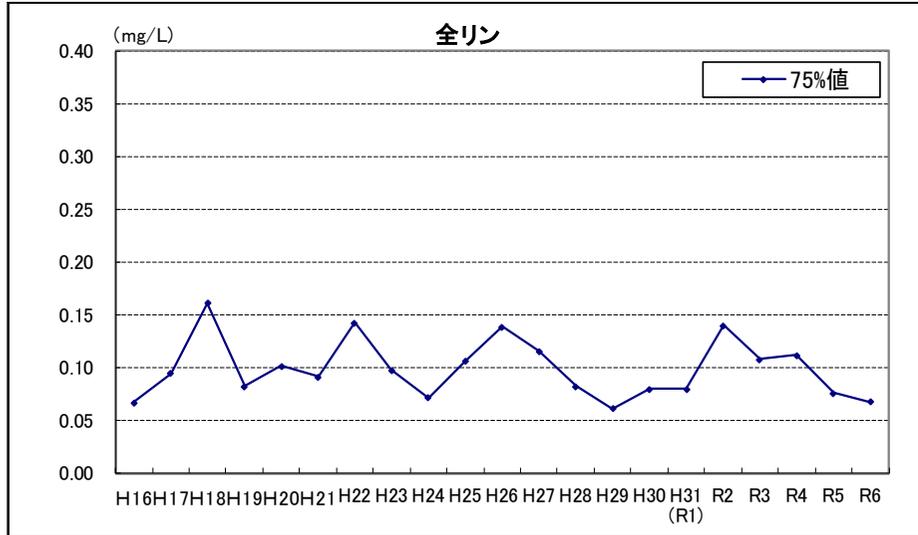
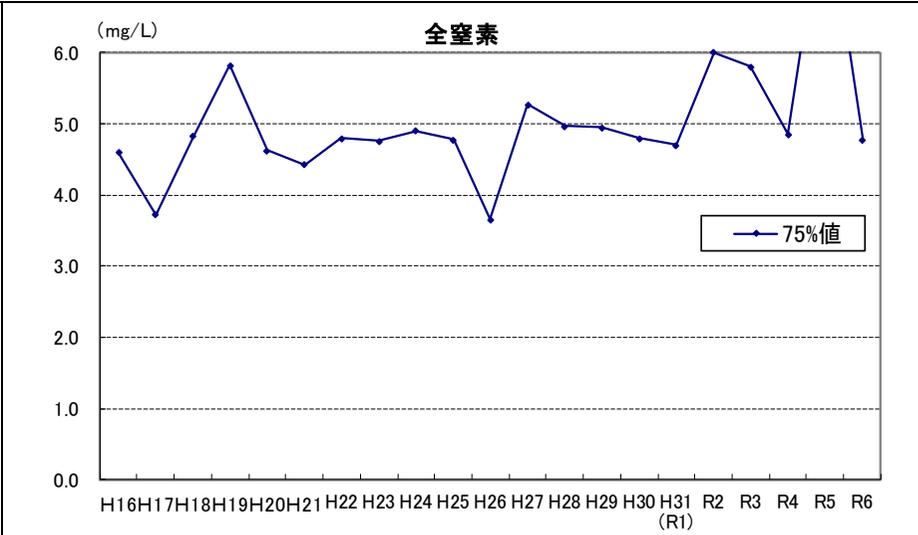
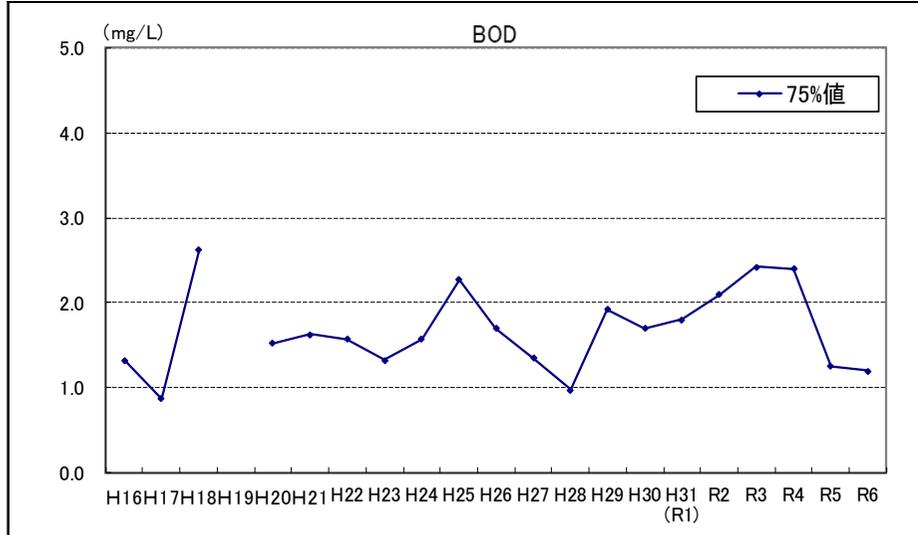
# 1. モニタリング結果

## (1) 水質調査結果

行動計画書p17, 33

### 1) 支川(モニタリング地点 梅北川:中樋通橋)

・中樋通橋では、BOD、全窒素、全リン、糞便性大腸菌群数は減少している。

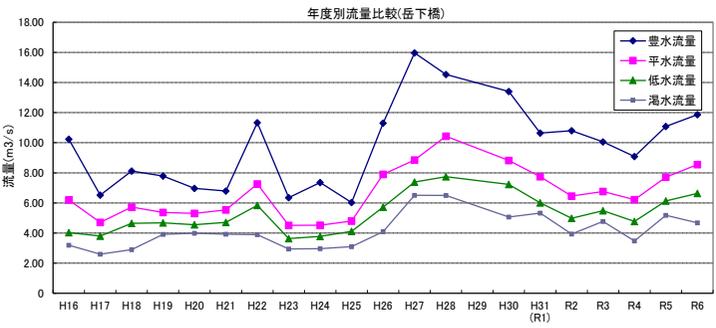
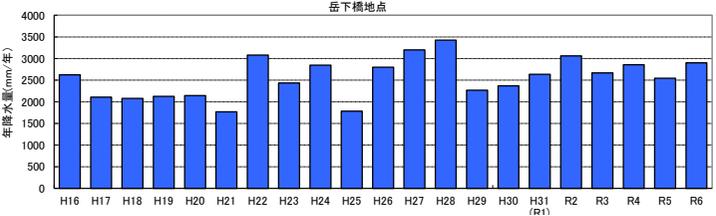
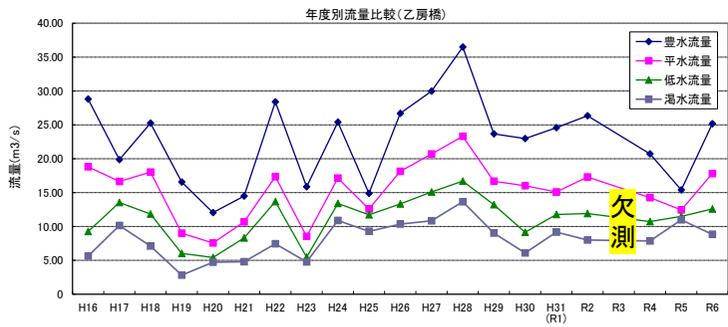
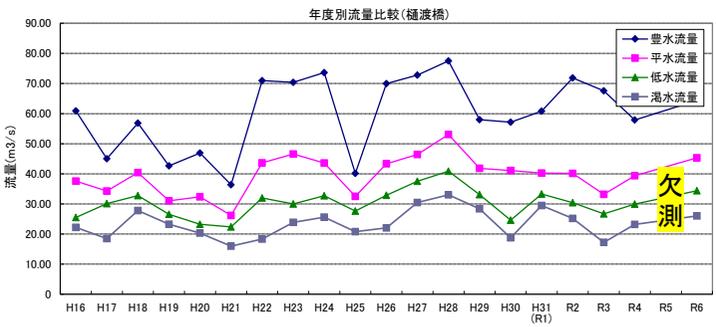
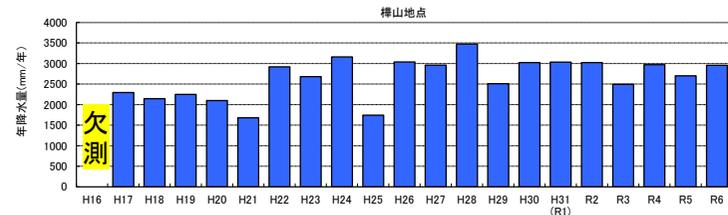
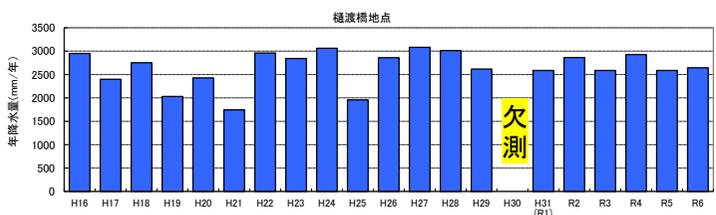


# 1. モニタリング結果

## (1) 水質調査結果

行動計画書p17, 34

## 2) 降水量と流量 ・年間降水量、流量は特に大きな変化は認められない。



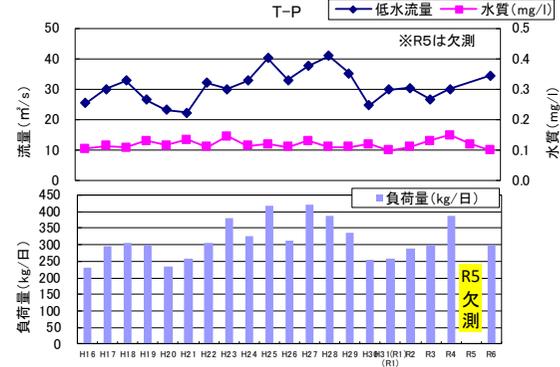
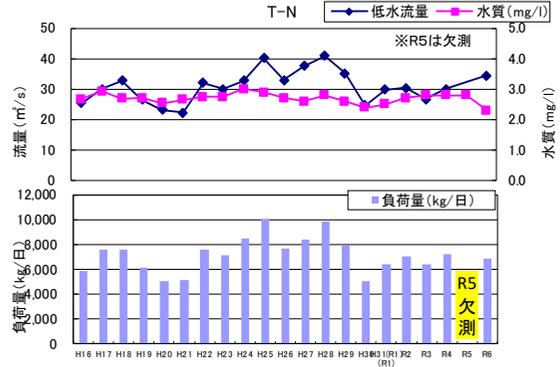
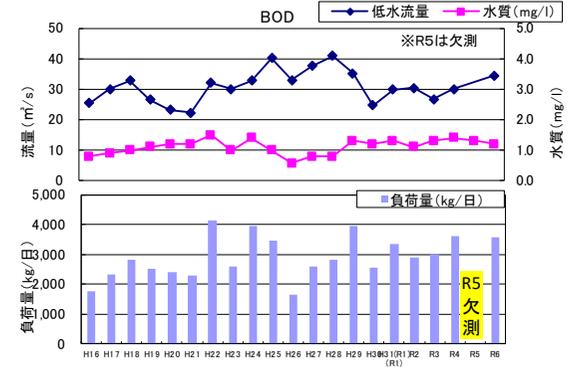
# 1. モニタリング結果

## (1) 水質調査結果

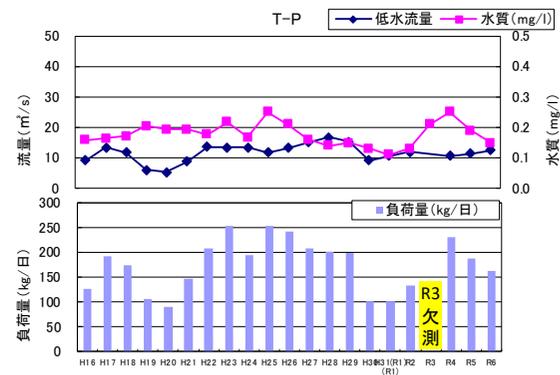
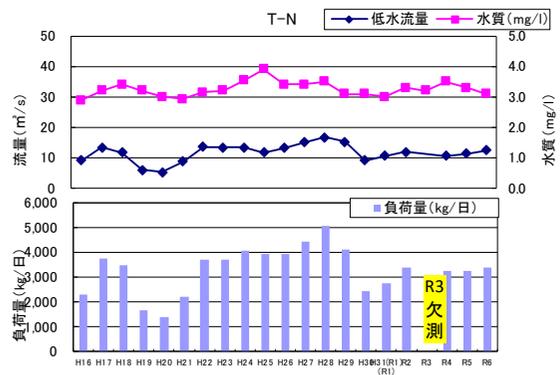
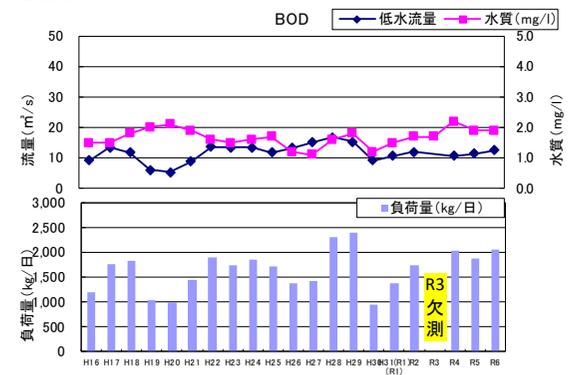
行動計画書p17, 35

### 3) 年度別負荷量 ・年度別負荷量は、岳下橋ではBODが増加した。

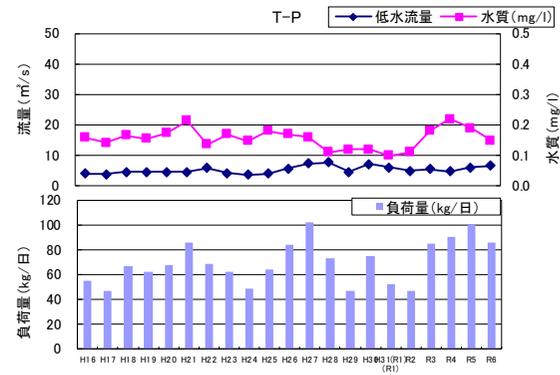
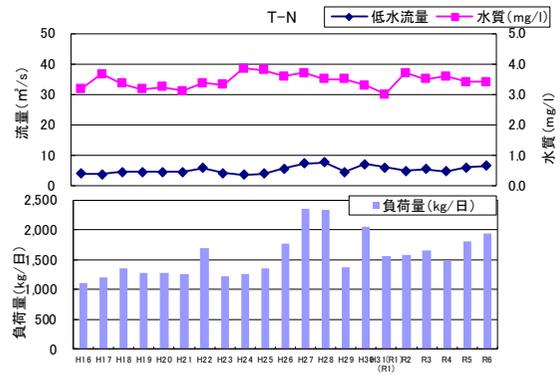
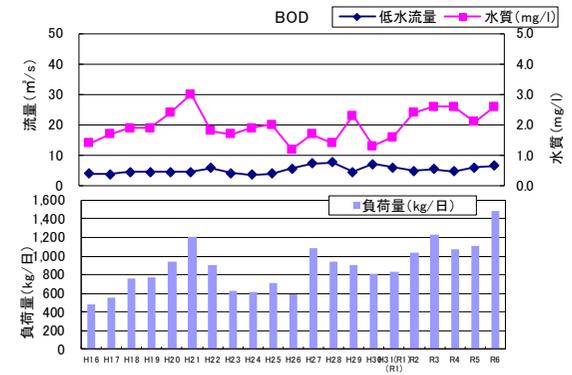
樋渡橋



乙房橋



岳下橋



# 1. モニタリング結果

## 参考：大腸菌、大腸菌群数、糞便性大腸菌群の特徴

表 5 (1) 指標細菌の特徴

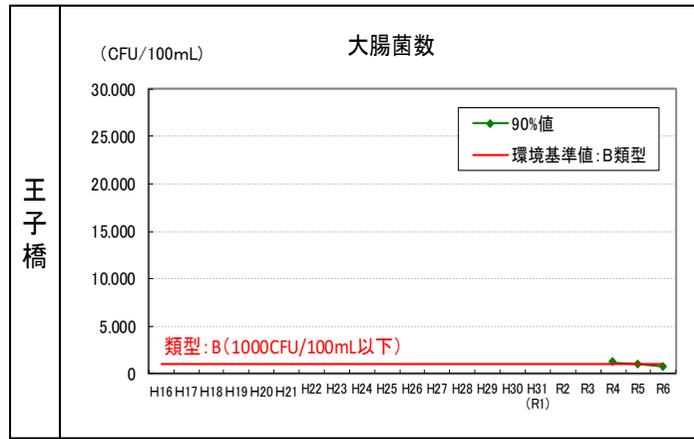
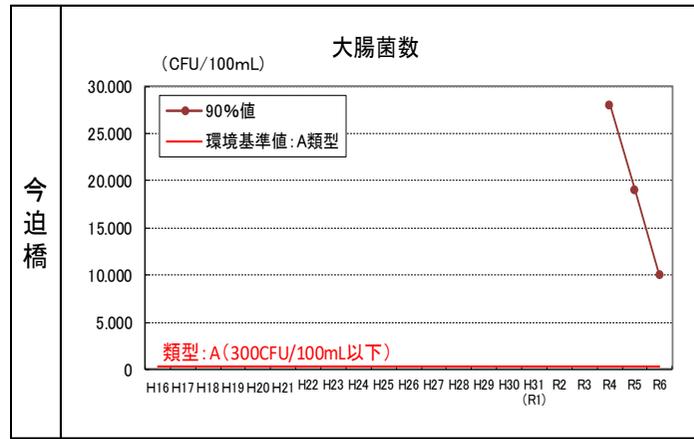
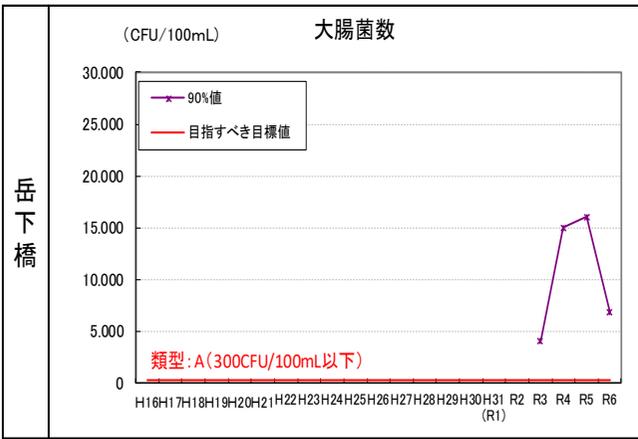
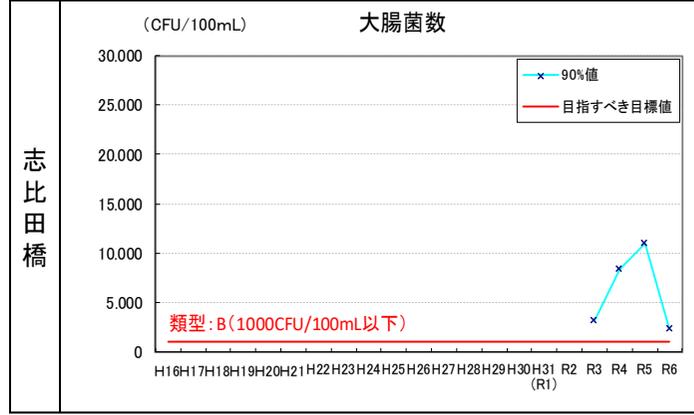
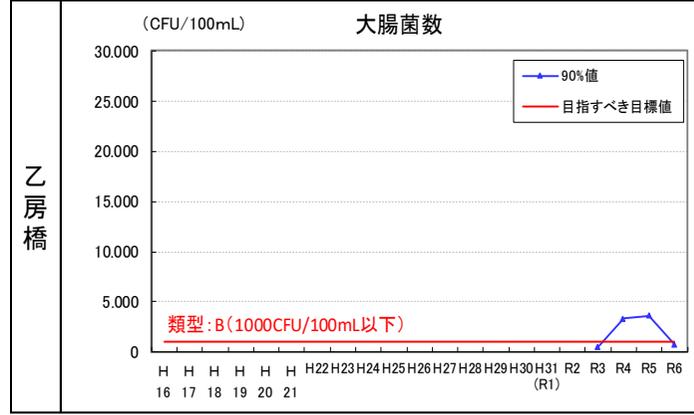
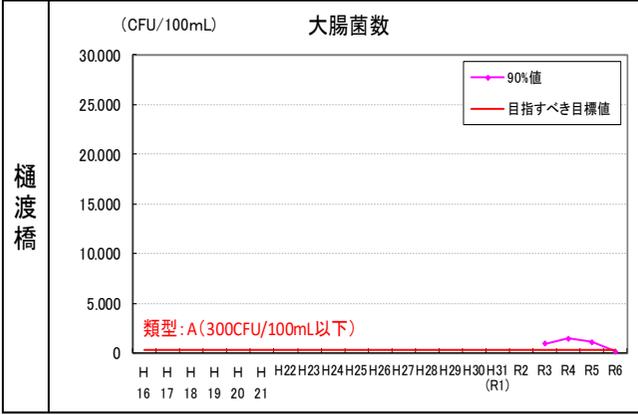
	大腸菌	大腸菌群数	糞便性大腸菌群	腸球菌
概要	<p>・大腸菌 (<i>Escherichia coli</i>) は、ヒトや温血動物の腸管内に常在し、ヒト糞便中の大腸菌群の90%以上 (約 <math>10^8 \sim 10^9</math> 個/g) を占める。<sup>6</sup></p> <p>・ヒトや温血動物の腸管内に常在し、糞便由来でない細菌も含む大腸菌群と比べて糞便汚染の指標として信頼できる。また、単独な菌種であるばかりでなく、他の糞便指標細菌と比較すると自然界では生存期間が短いため、糞便汚染指標としてより特異的である。<sup>7</sup></p>	<p>・好気性又は通性嫌気性にグラム陰性無芽胞性の桿菌で、乳糖を分解して酸とガスを生じるか、β-ガラクトシダーゼをもつ細菌群である。<sup>10</sup></p> <p>なお、環境基準で測定される大腸菌群は前者である。</p> <p>・大腸菌群は、水環境における生残性や水処理における除去性、消毒耐性等に関しても病原細菌とほぼ同じか若干強い性状が認められる等糞便汚染の指標性に優れていることが示されて、糞便汚染評価に利用されてきた。<sup>8</sup></p>	<p>・糞便性大腸菌群とは、<math>44.5 \pm 0.2^\circ\text{C}</math>、<math>24 \pm 1</math> 時間培養したときに、乳糖を発酵する細菌のことである。<sup>6</sup></p> <p>・<i>Escherichia</i> (大腸菌) 属並びに一部の <i>Klebsiella</i>、<i>Enterobacter</i>、<i>Citrobacter</i> 等の属に分類されている種から構成されている。<sup>6</sup></p>	<p>・糞便性連鎖球菌のうち、6.5%塩化ナトリウムブドウ糖ブイヨン培地に増殖するグラム陽性球菌を腸球菌といい、主として <i>Enterococcus faecalis</i>、<i>E. fecium</i> をさす。糞便汚染の指標としては、糞便性大腸菌群や糞便性連鎖球菌より信頼性が高い。<sup>7</sup></p>
指標性	<p><b>【糞便汚染との関係】</b></p> <p>・大腸菌は、ヒト、家畜、又は野生動物や鳥類によって汚染された下水、下水処理水、及び全ての自然水や土壌中に認められるが、糞便で汚染されていない水、土壌、植物などに存在することはまれである。<sup>9</sup></p> <p><b>【疫学調査】</b></p> <p>・EPAの疫学調査の事例では、1,000人当たりで胃腸疾患を36人起こす大腸菌数は126/100mLと報告している。<sup>10</sup></p>	<p><b>【糞便汚染との関係】</b></p> <p>・衛生的に糞便汚染の指標となる一群の菌の総称であるが、糞便由来以外のものも検出されるため、糞便汚染の有無を確認する指標性は低い。</p>	<p><b>【糞便汚染との関係】</b></p> <p>・糞便性大腸菌群のうち、大腸菌は特異的に温血動物の糞便中に大量に常在し、糞便汚染を受けていない水や土壌にはほとんど存在しない。</p> <p>・大腸菌以外の糞便性大腸菌群は温血動物の糞便以外にも、工場排水又は植物や土壌に由来するものもあり、糞便汚染を受けていない水中から検出した例も報告されている。<sup>6</sup></p> <p>・糞便汚染の指標として大腸菌より信頼性は薄い。<sup>6</sup></p>	<p><b>【糞便汚染との関係】</b></p> <p>・<i>Enterococcus</i> 属の種の大部分は糞便由来であり、多くの環境下でヒトの糞便汚染の特異的な指標になり得るものとみなされている。<sup>11</sup></p> <p><b>【疫学調査】</b></p> <p>・EUでは、海域での疫学調査の事例から1,000人当たりで胃腸炎疾患30人を起こす腸球菌数は100個/100mLと算出している。<sup>11</sup></p>

出典：生活環境項目環境基準における大腸菌群数について（環境省）

# 1. モニタリング結果

## 大腸菌数結果(本川)

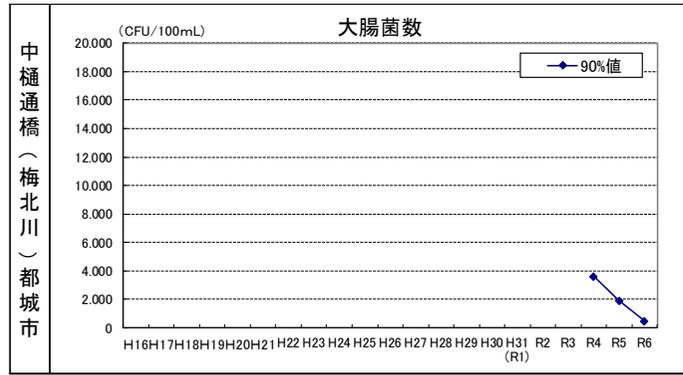
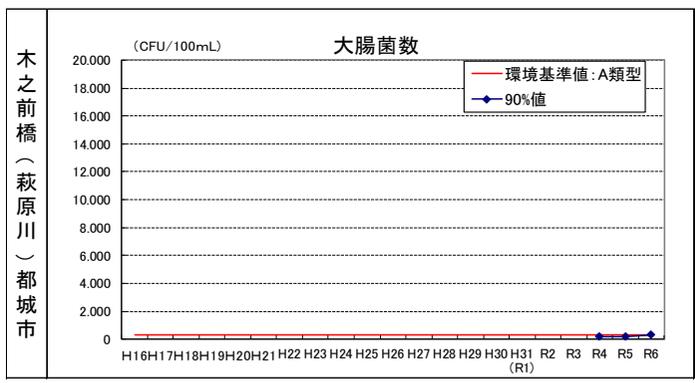
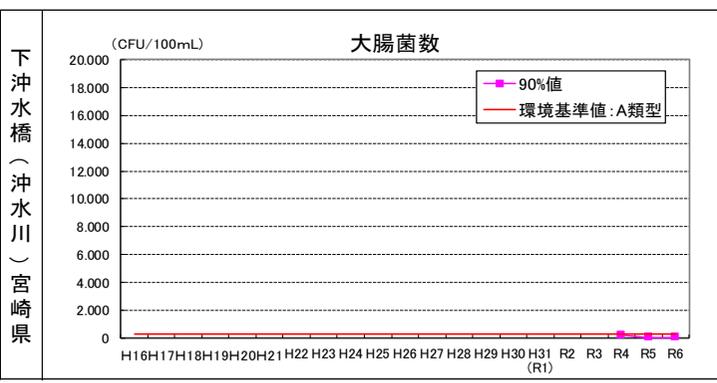
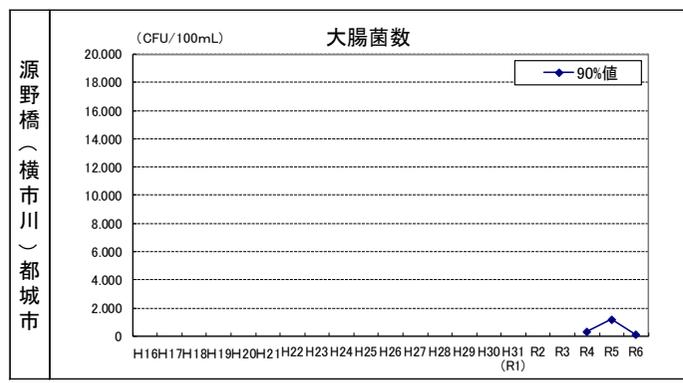
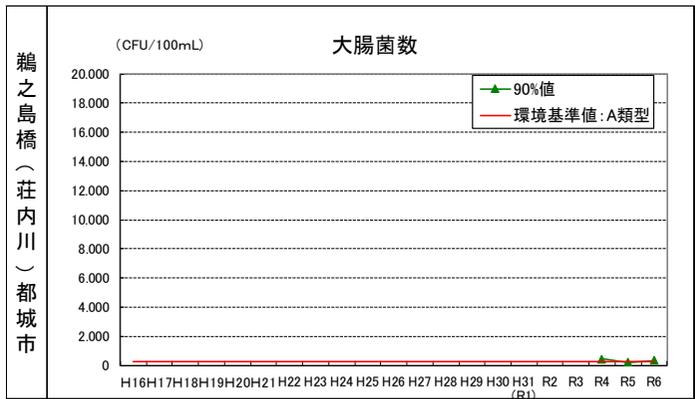
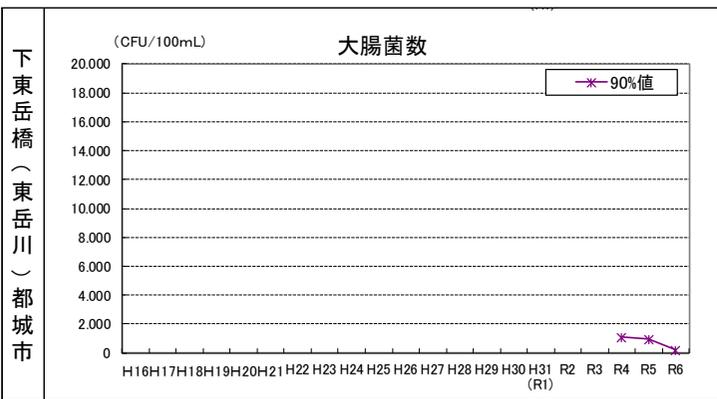
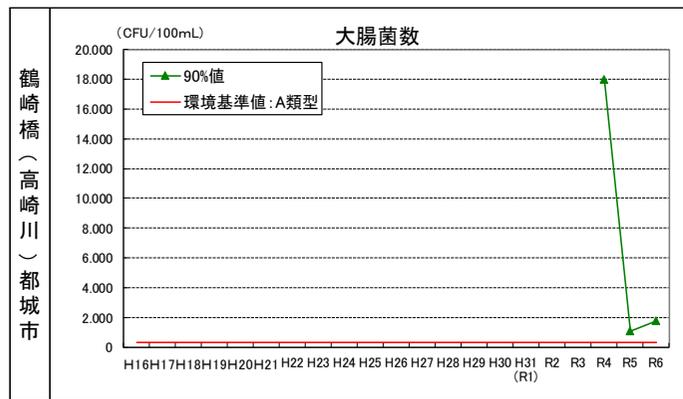
・大腸菌数は、志比田橋、岳下橋、今迫橋では、目指すべき目標値(環境値基準値)を超過している。



# 1. モニタリング結果

## 大腸菌数結果(支川)

・大腸菌数は、概ね横ばいか減少傾向であるが、高崎川(鶴崎橋)では増加している。

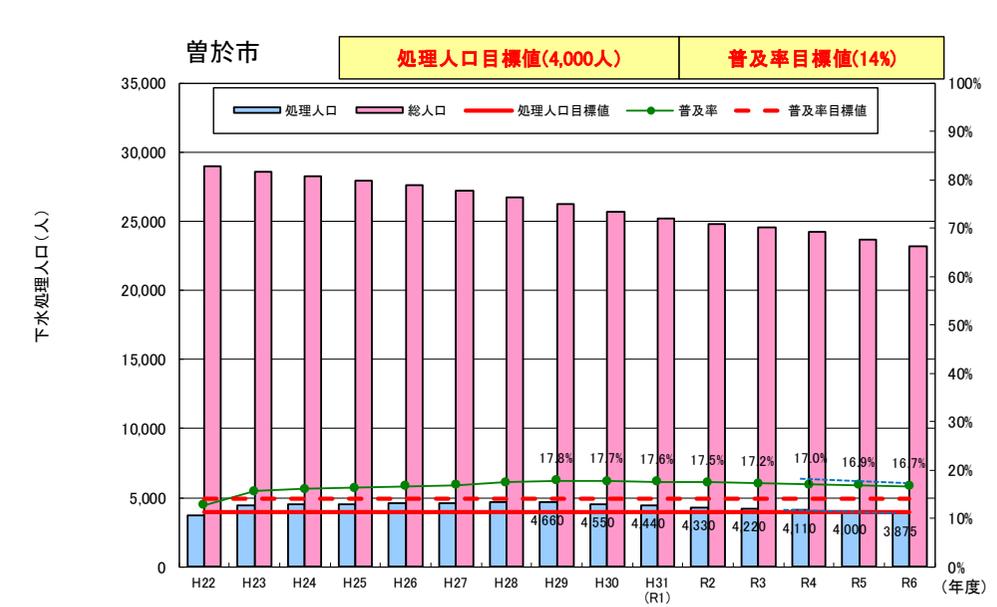
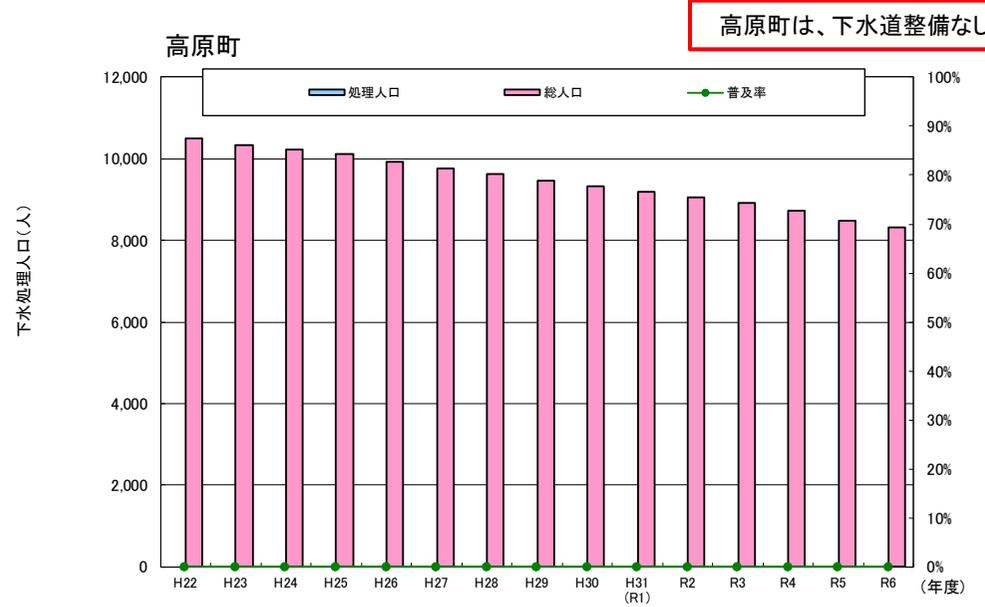
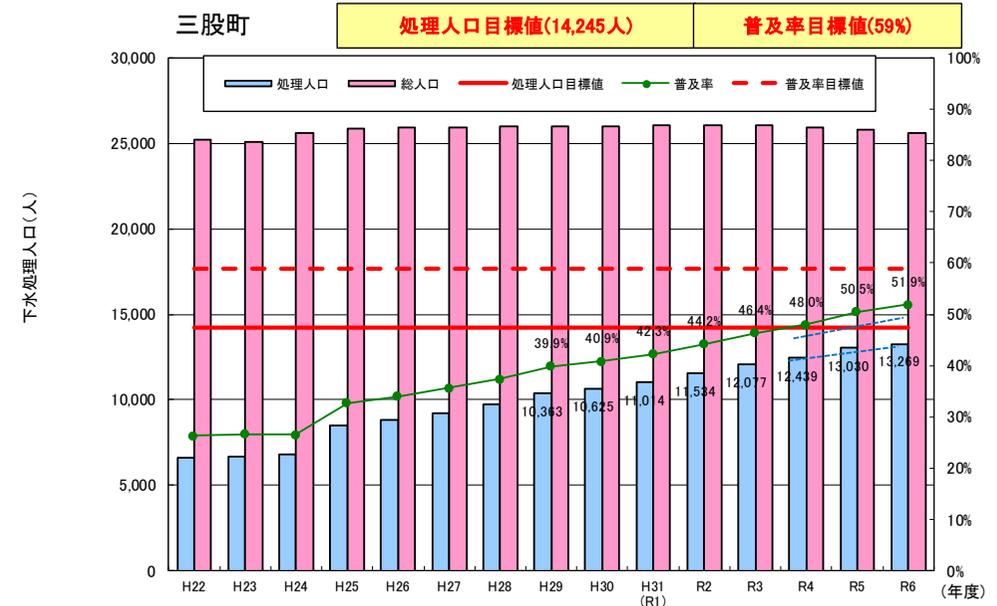
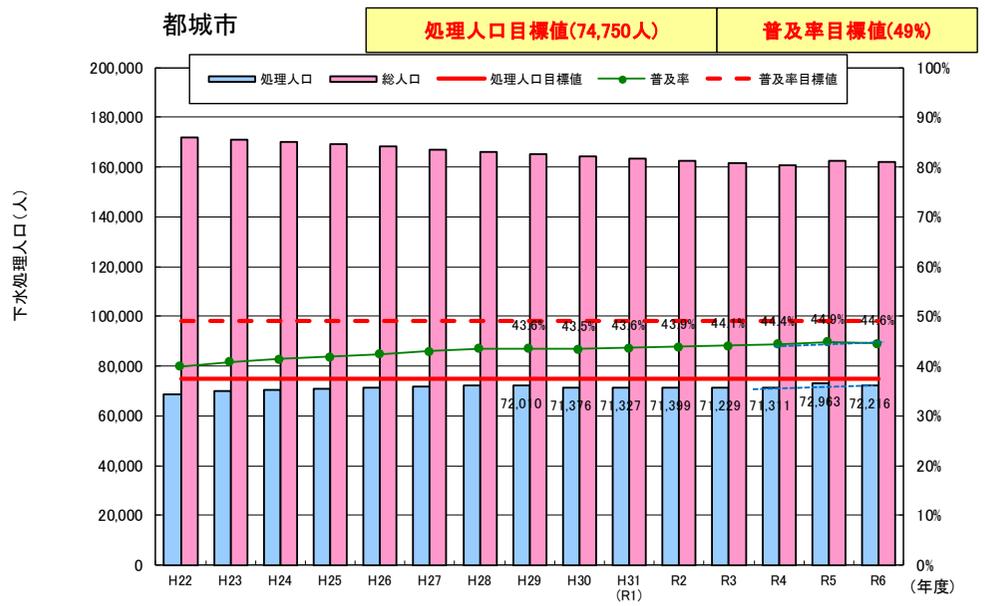


# 1. モニタリング結果

## (2)ハード施策結果 ①下水処理人口・下水道普及率

行動計画書p15、19

・下水処理人口、普及率は、曾於市では目標値を達成しているが、都城市、三股町では未達である。

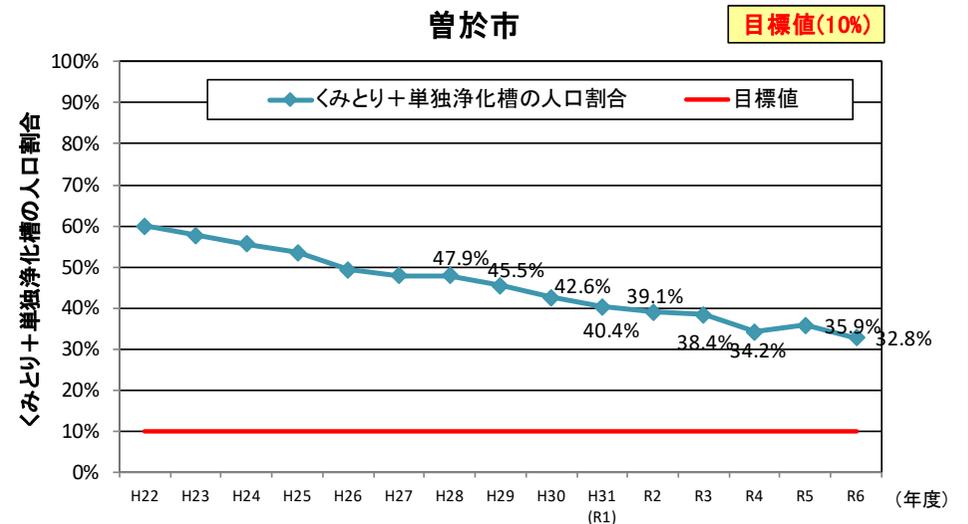
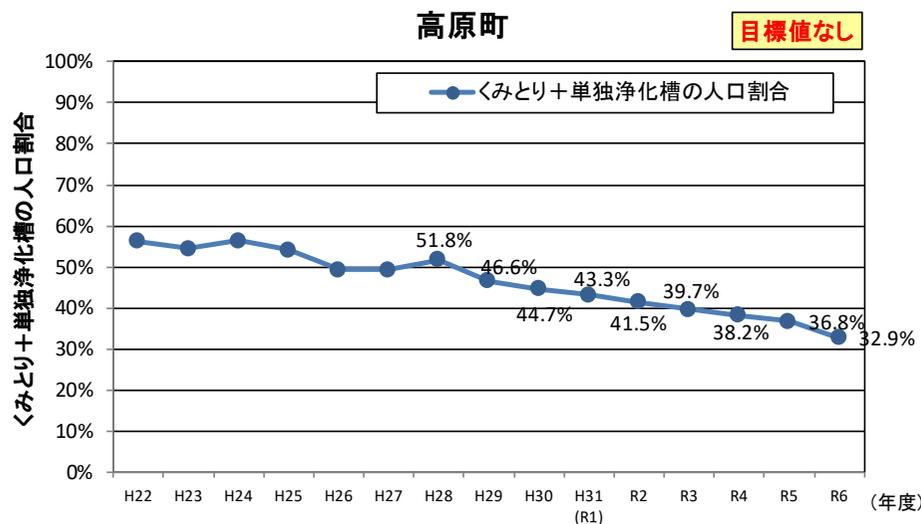
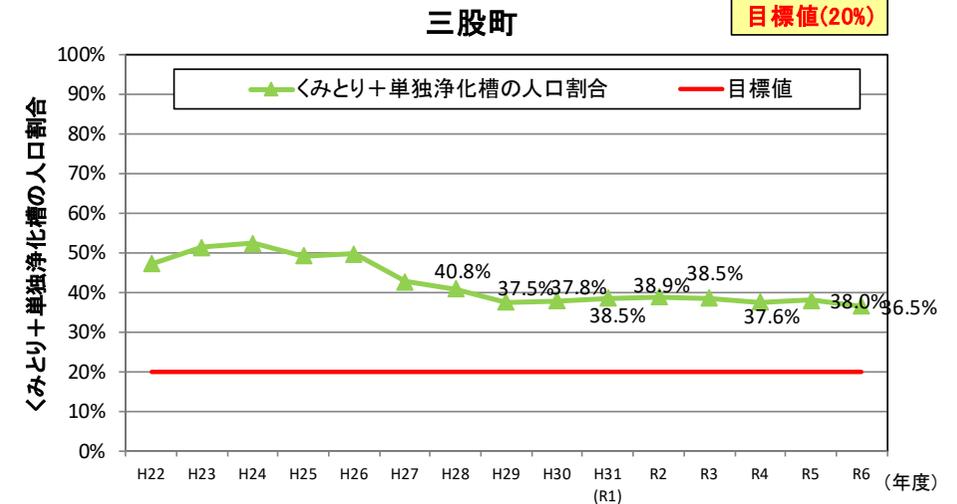
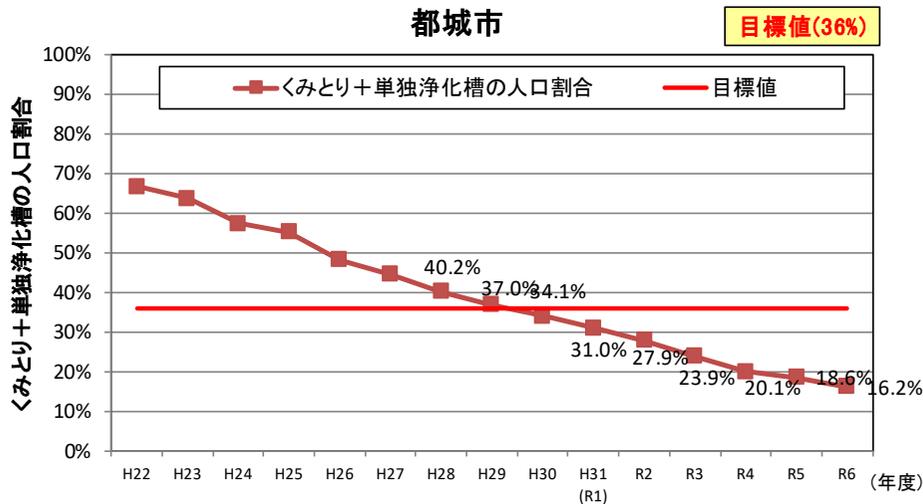


# 1. モニタリング結果

## (2)ハード施策結果 ②単独処理浄化槽人口とくみとり人口の割合

・単独処理浄化槽とくみとりの処理人口割合は、都城市では目標値を達成しているが、他市町は未達である。

行動計画書p15、20

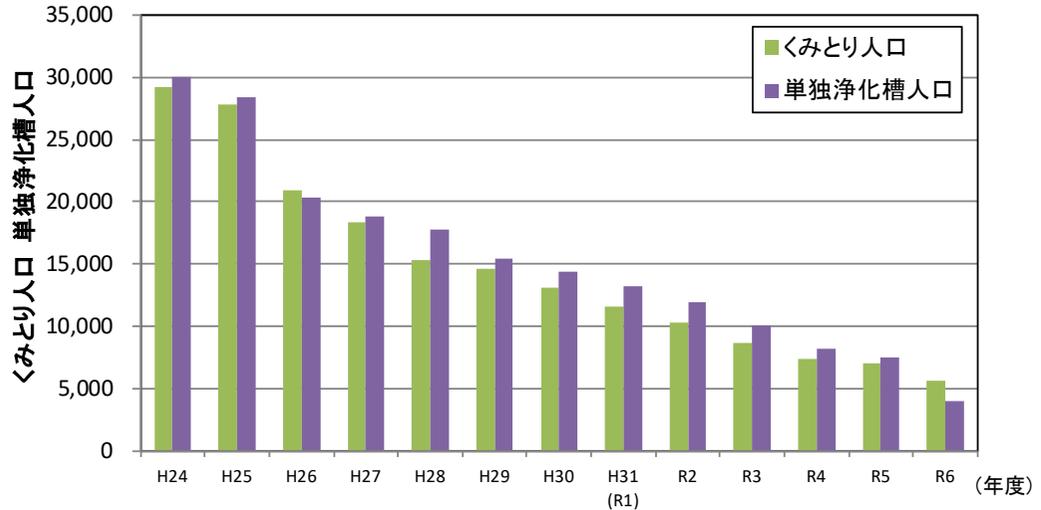


※単独処理浄化槽人口とくみとり人口割合 (%) = (単独処理浄化槽人口 + くみとり人口) / (合併処理浄化槽人口 + 単独処理浄化槽人口 + くみとり人口) × 100

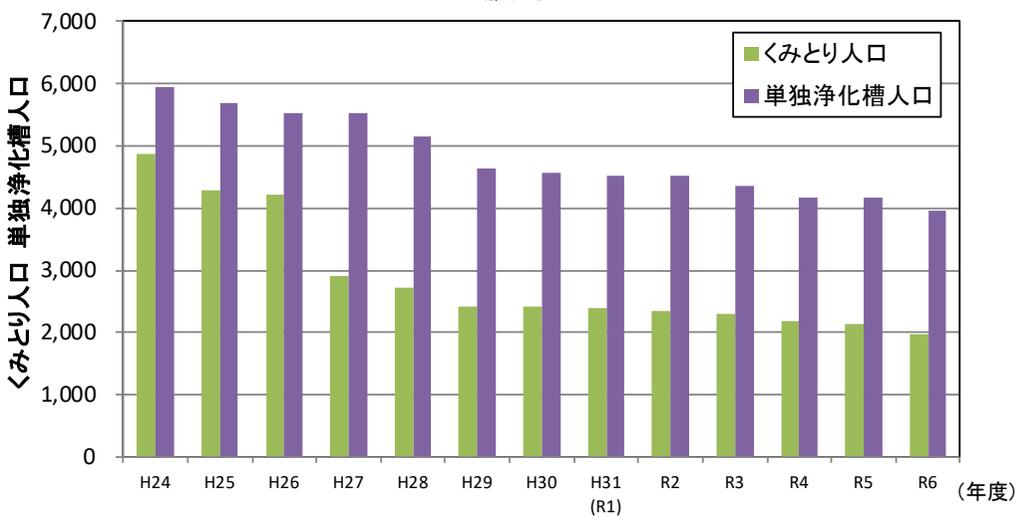
# 1. モニタリング結果

## ■ 単独浄化槽人口とくみとり人口

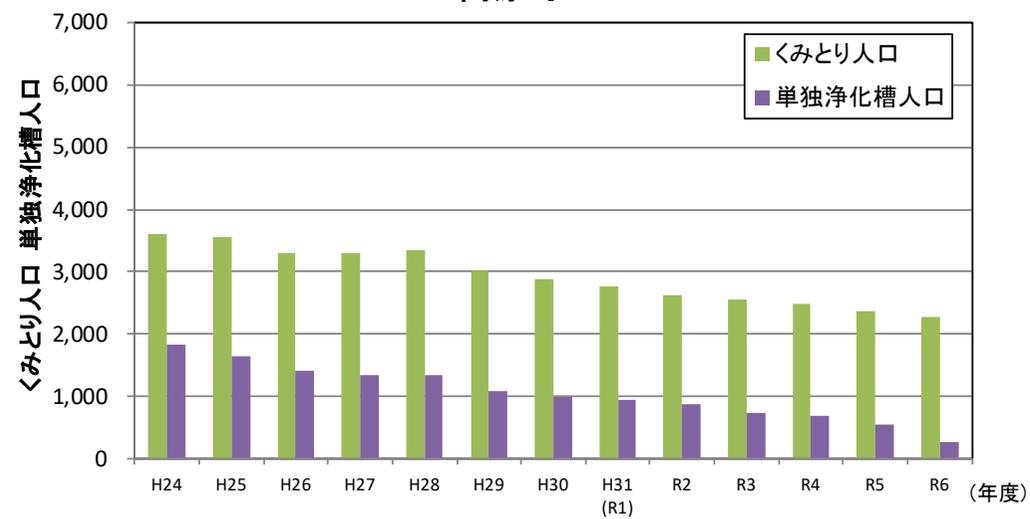
都城市



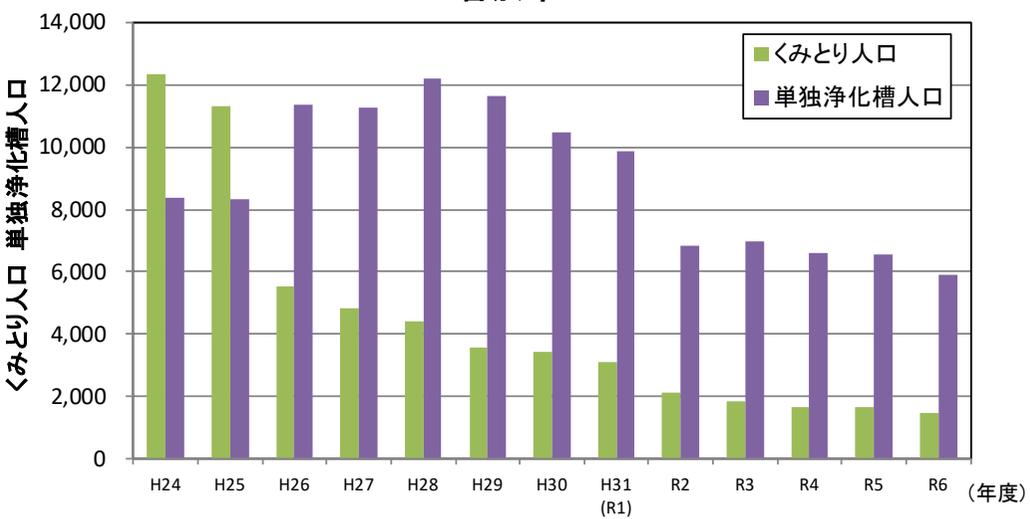
三股町



高原町



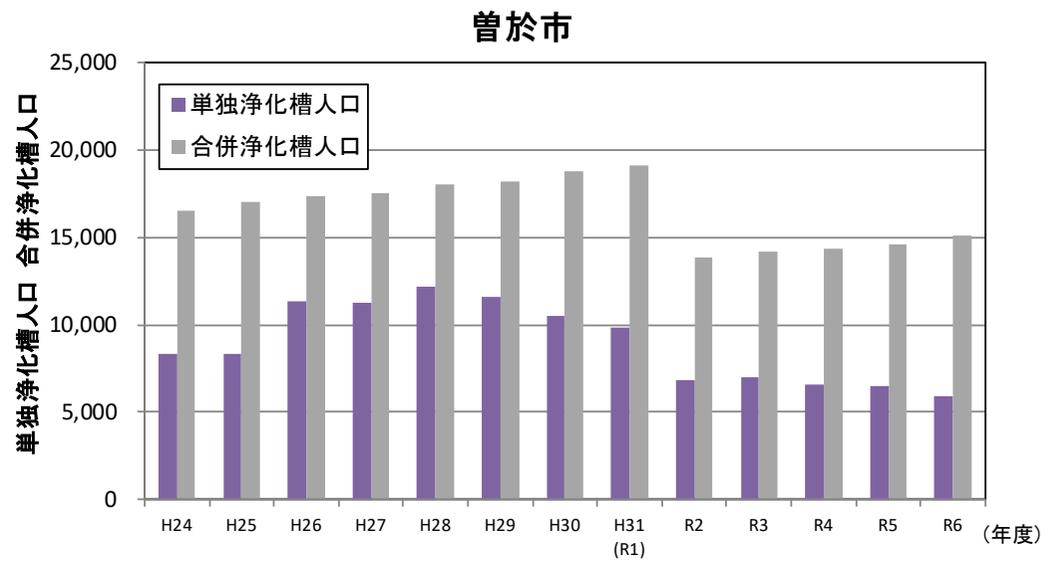
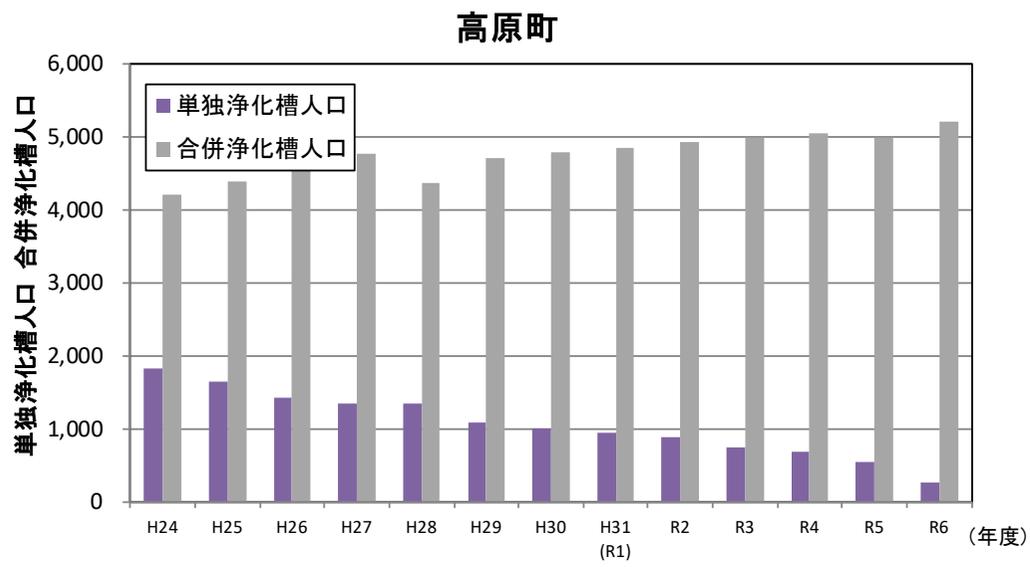
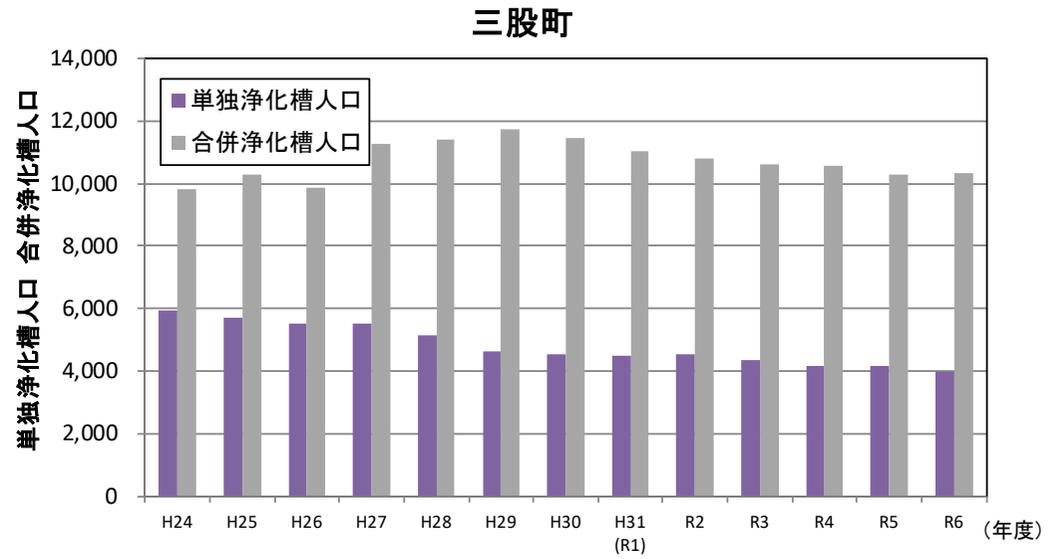
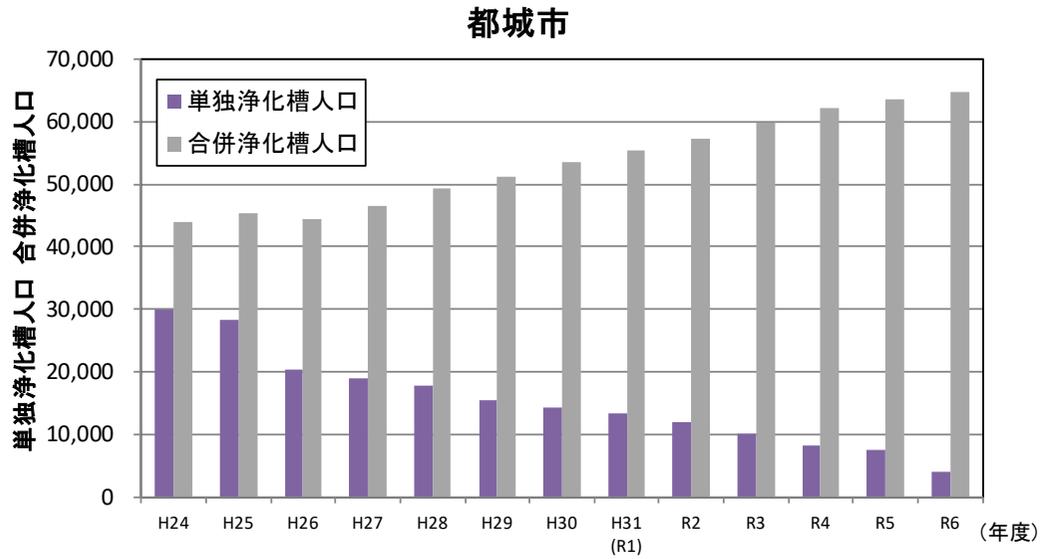
曾於市



【単独処理浄化槽】トイレの水だけをそれぞれの家庭できれいにする設備。台所、洗面所、風呂場からの汚れた水はそのまま排水路や川に流している。

# 1. モニタリング結果

## ■ 単独浄化槽人口と合併浄化槽人口



【合併処理浄化槽】合併処理浄化槽は、台所やお風呂からでる生活雑排水と、し尿を併せて処理することができ、その性能はBOD(注釈1)除去率が90%以上、処理後の放流水のBOD値が1リットル当たり20ミリグラム(日間平均値)以下と、下水道処理場なみの機能を持つ。

# 1. モニタリング結果

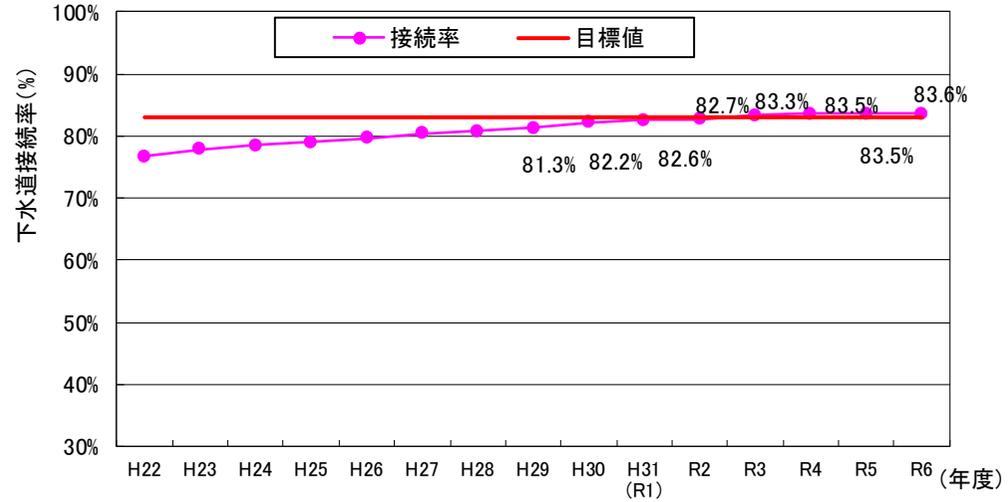
## (2)ハード施策結果 ③下水道接続率

行動計画書p15、21

・下水道接続率は、都城市で目標値を達成しているが、他市町は未達である。

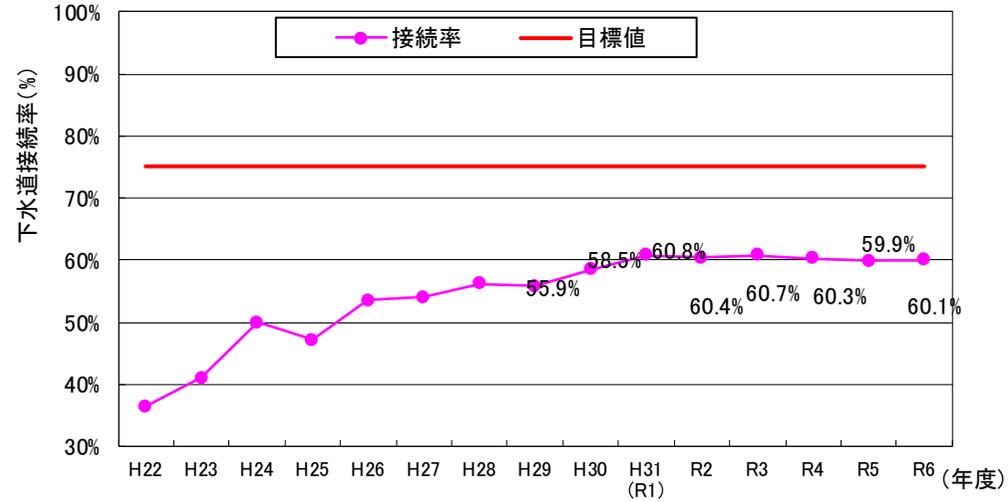
### 都城市

目標値(83%)



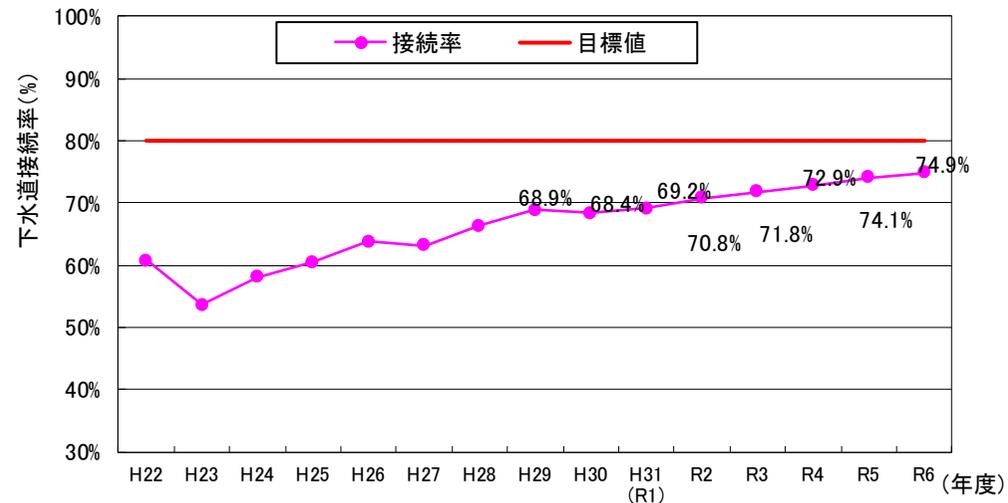
### 三股町

目標値(75%)



### 曾於市

目標値(80%)



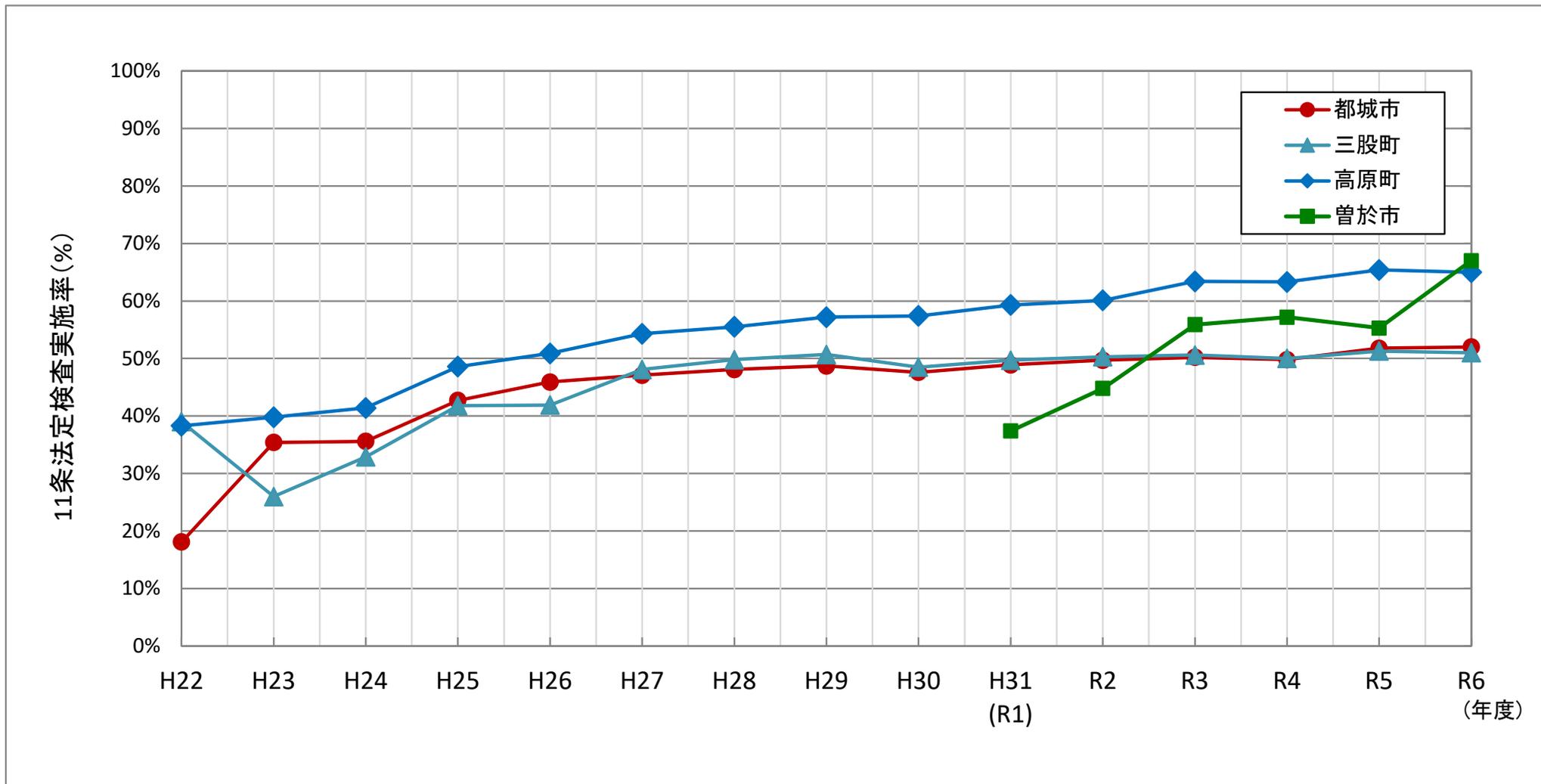
# 1. モニタリング結果

## (2)ハード施策結果 ④浄化槽の法定検査実施率

行動計画書p15、22

・浄化槽(単独+合併)の法定検査実施率はR3年度をピークに横ばいである。

目標設定なし



【法定検査】新しく浄化槽を設置した時は使用開始後3か月から5か月以内に、浄化槽の処理機能が正常かどうかを検査をしなければならない。その後も保守点検や清掃が適切に行われているか、浄化槽の性能が発揮されているかを年に1回、定期的に検査しなければならない。

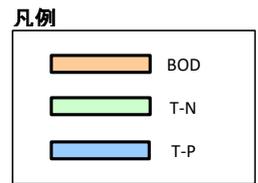
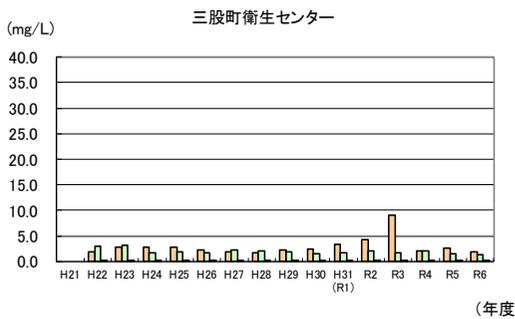
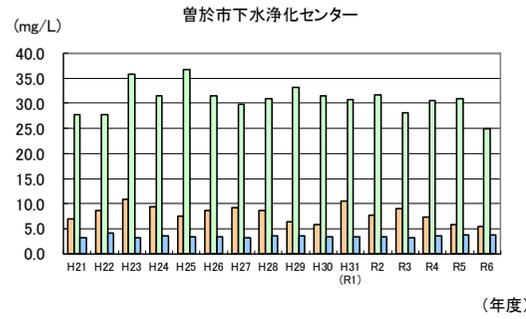
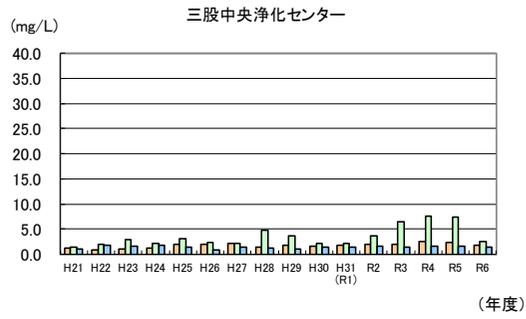
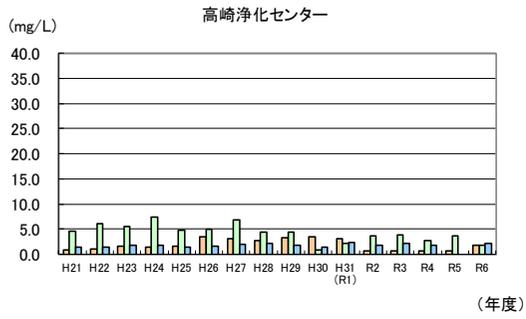
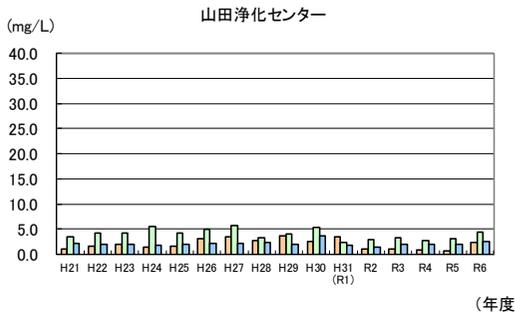
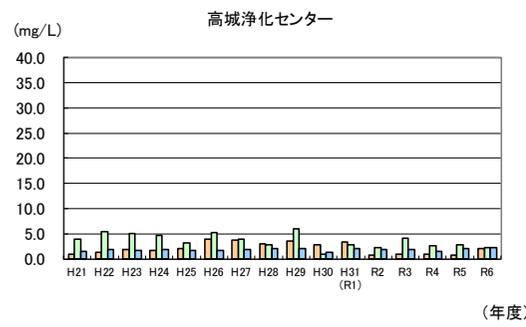
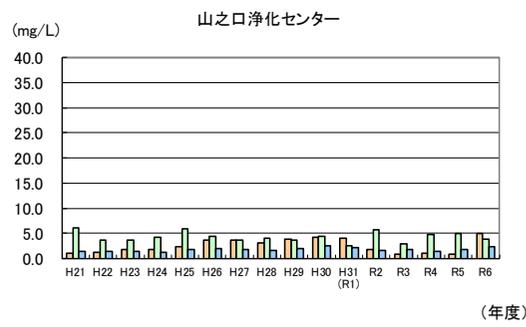
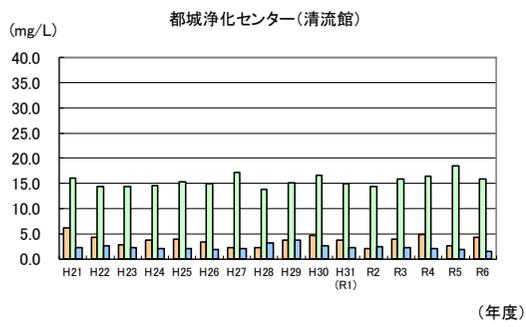
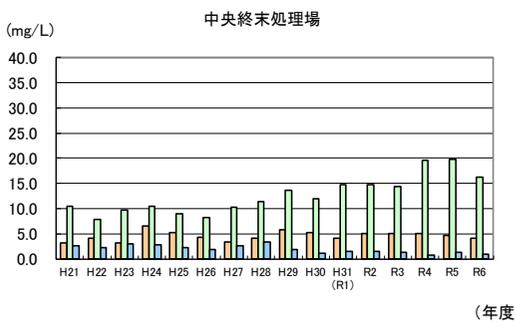
# 1. モニタリング結果

## (2)ハード施策結果 ⑤下水処理場、し尿処理場の処理水質

行動計画書p15、23

・各処理水質の実績値は、水質項目ごとに大幅な増加は認められない。

目標は現状の水質を維持



放流水排水基準	都城市	三股町	曾於市
BOD	15mg/L	15mg/L	設定なし
T-N	20mg/L	設定なし	設定なし
T-P	8mg/L	設定なし	設定なし

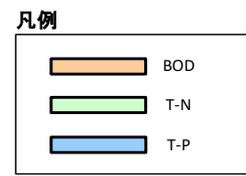
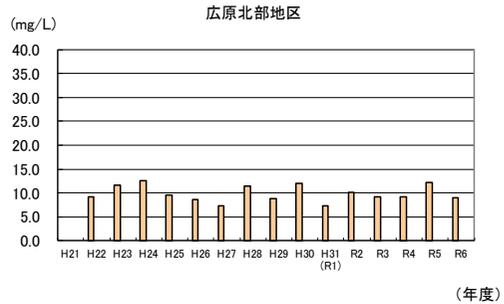
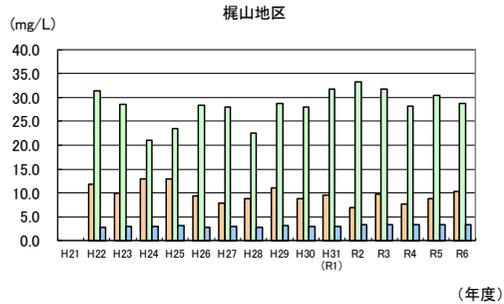
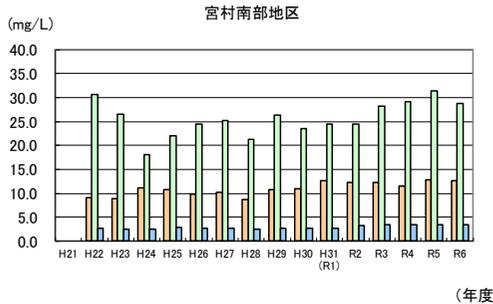
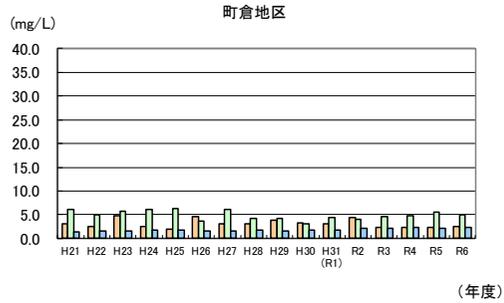
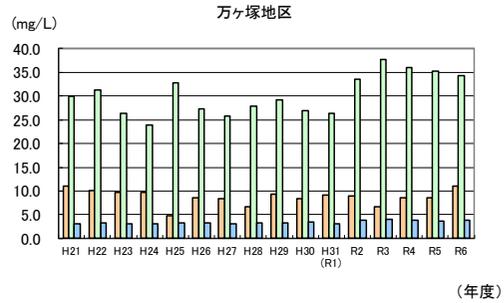
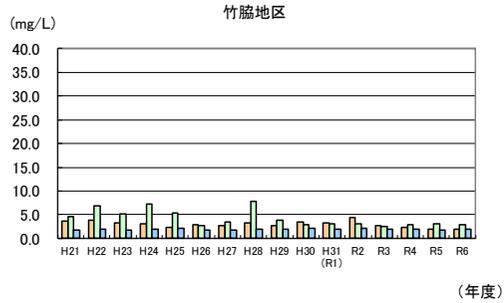
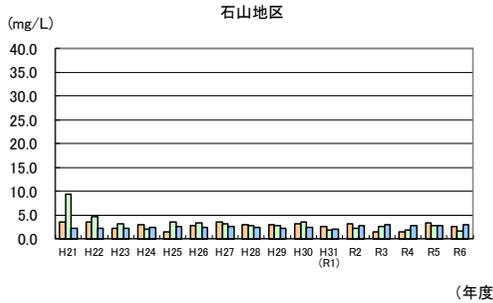
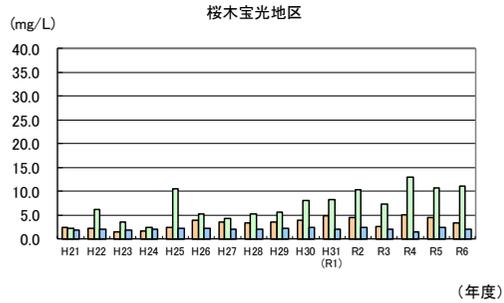
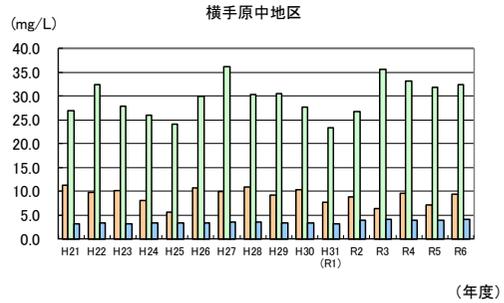
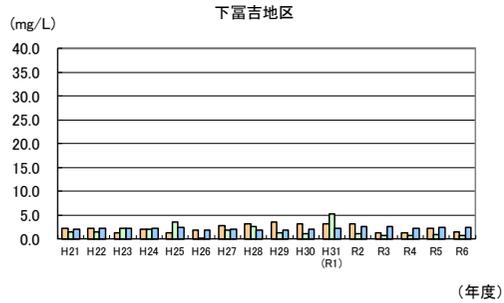
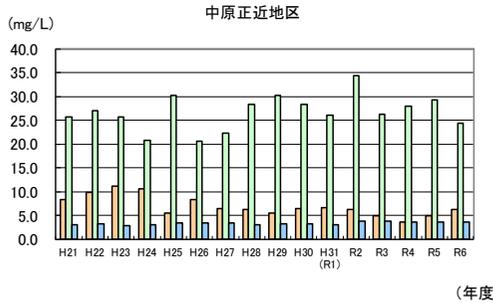
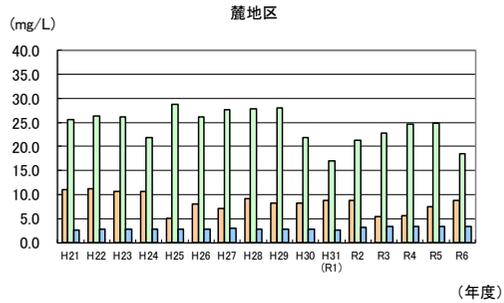
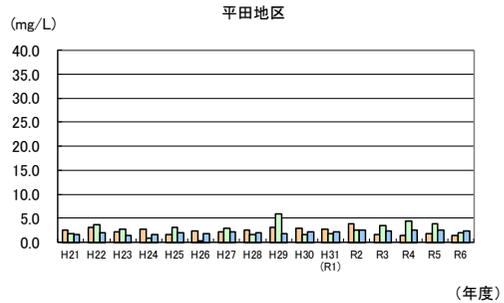
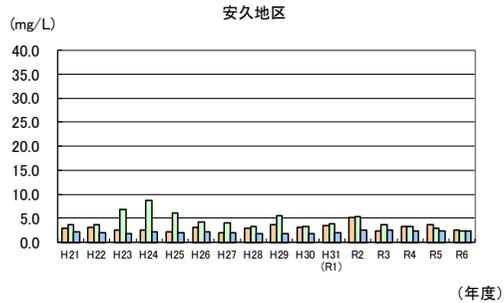
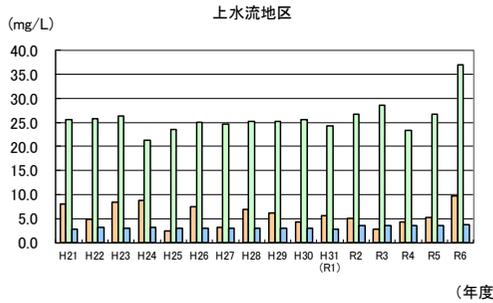
# 1. モニタリング結果

## (2)ハード施策結果 ⑥農業集落排水処理場の処理水質

行動計画書p15、24

目標は現状の水質を維持

・各処理水質の実績値は、水質項目ごとに大幅な増加は認められない。

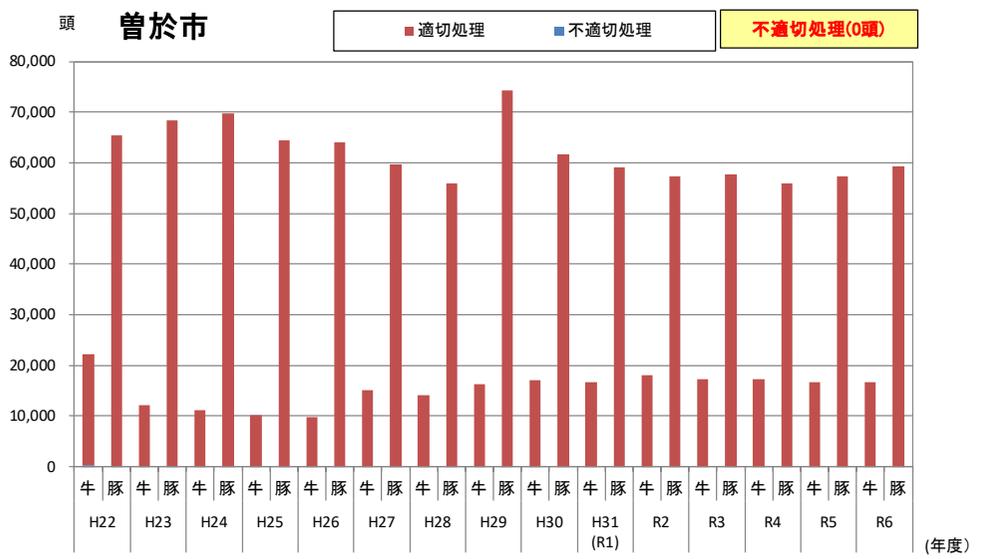
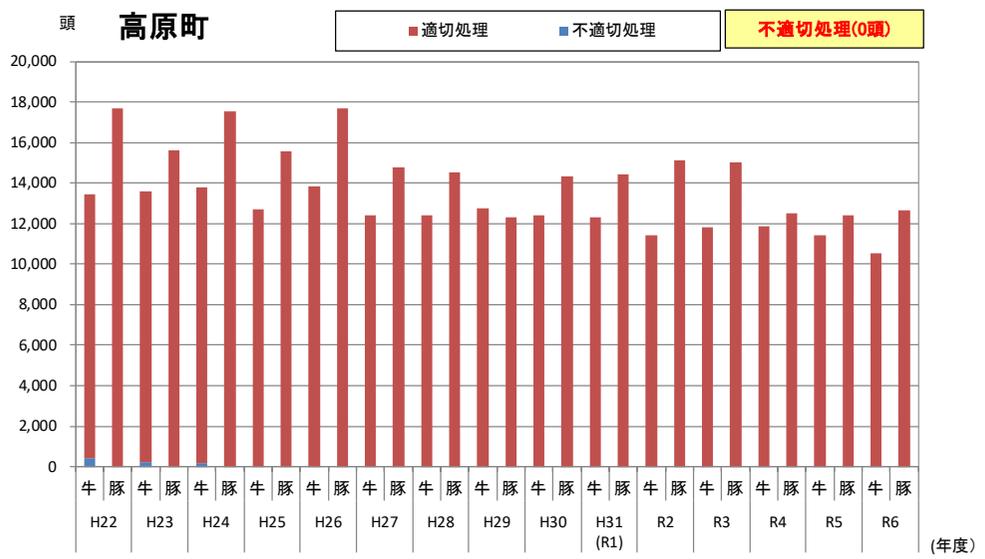
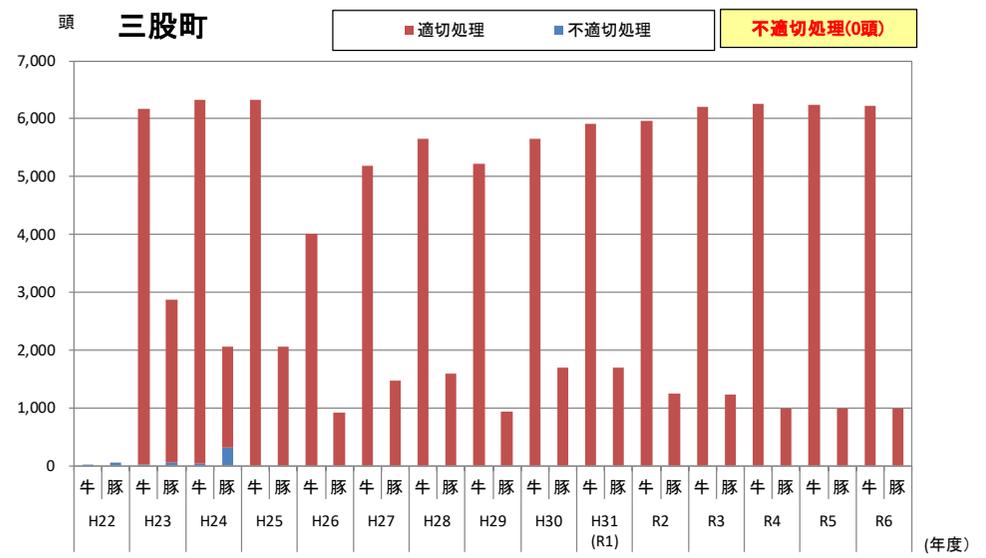
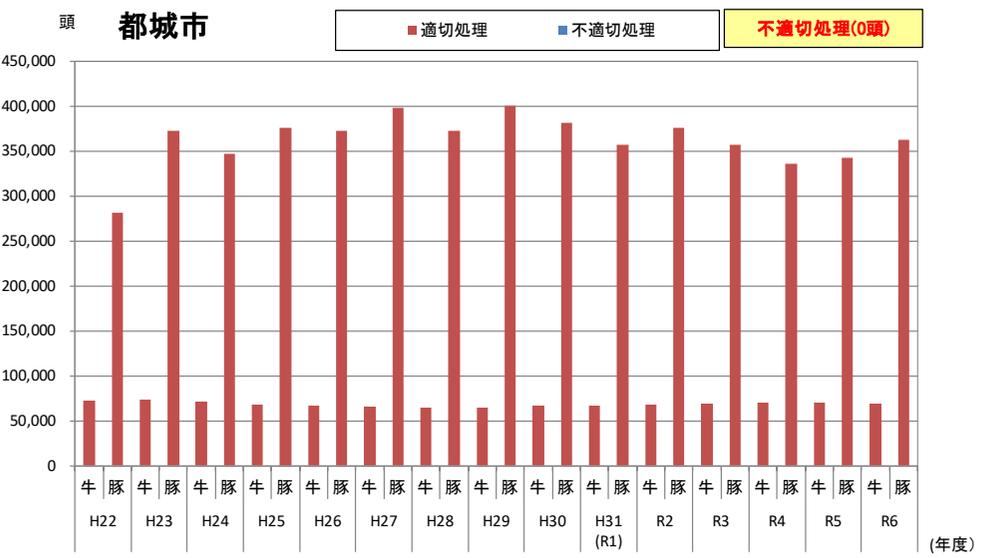


# 1. モニタリング結果

## (2)ハード施策結果 ⑦家畜別の処理形態別頭数

行動計画書p15、25

・家畜排せつ物対策について、家畜別の処理は適切に処理されており大きな変化は認められない。

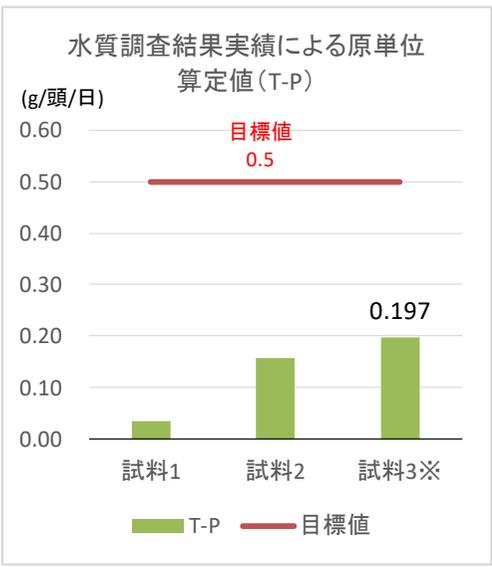
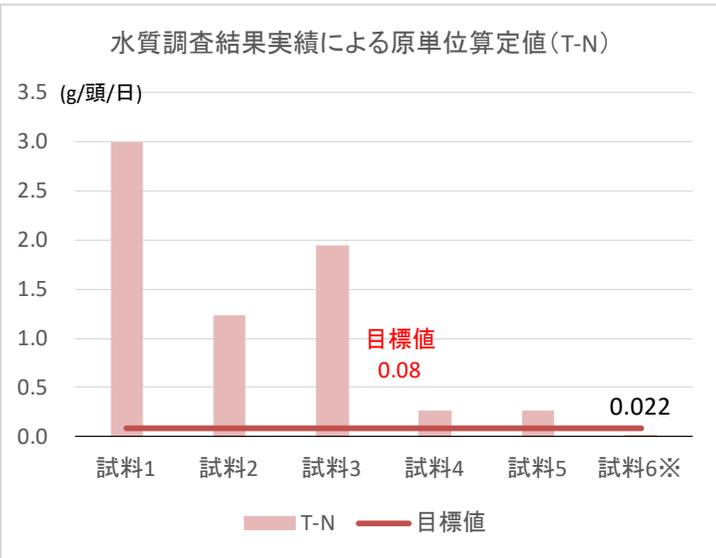
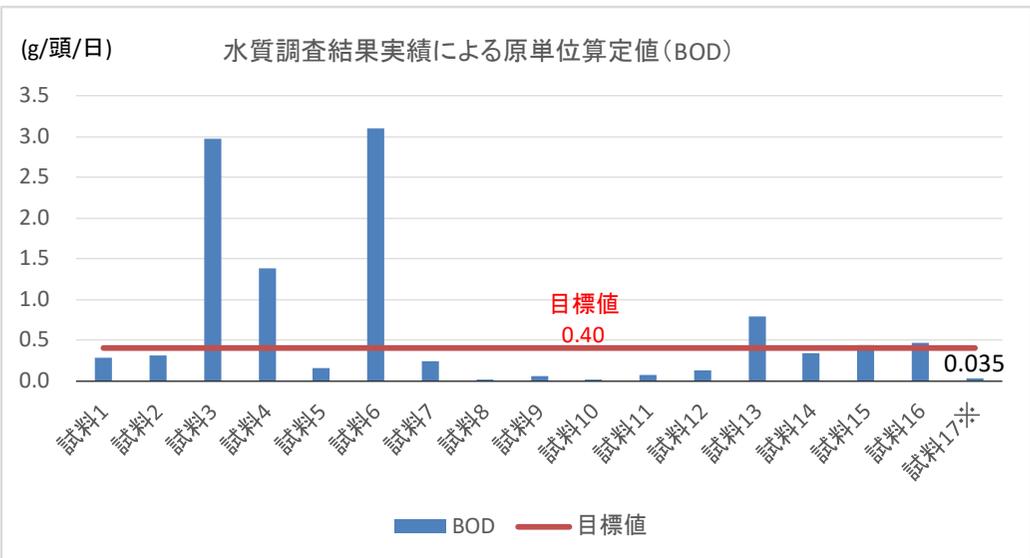


# 1. モニタリング結果

## (2)ハード施策結果 ⑧各施設の処理水質

行動計画書p15、26

・処理水質の実績値について、水質項目ごとに大きな変化はなく、家畜1頭あたりの排出負荷量は以下のとおりである。



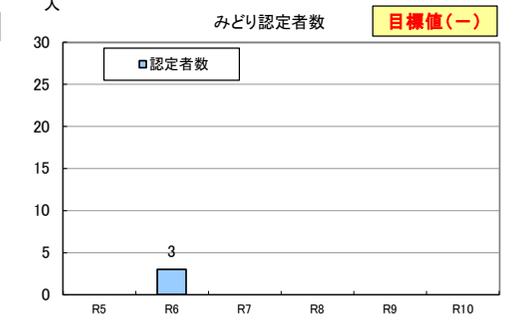
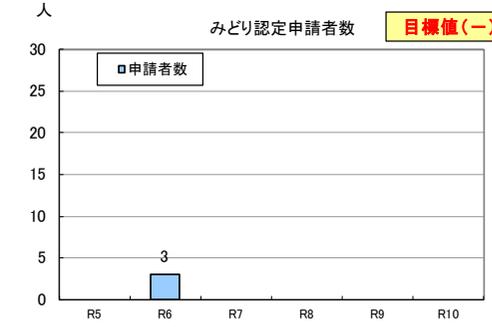
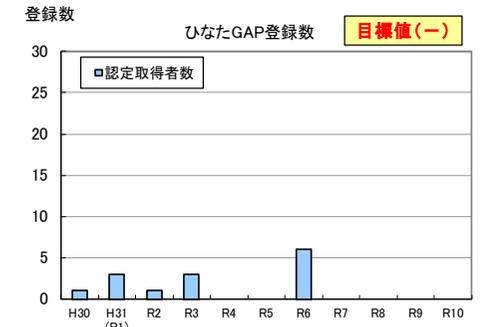
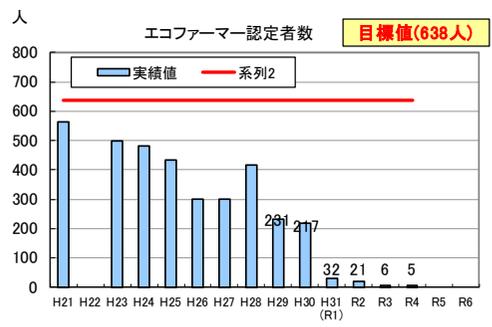
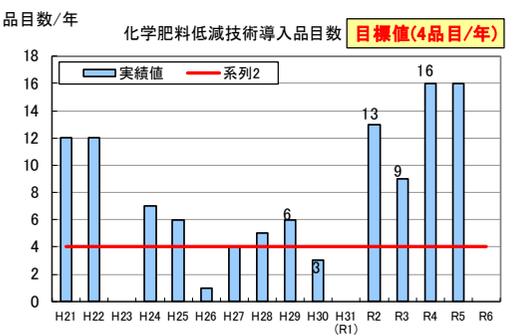
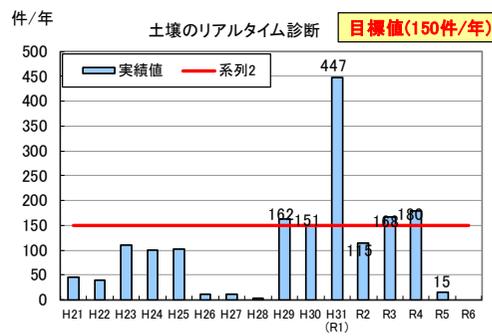
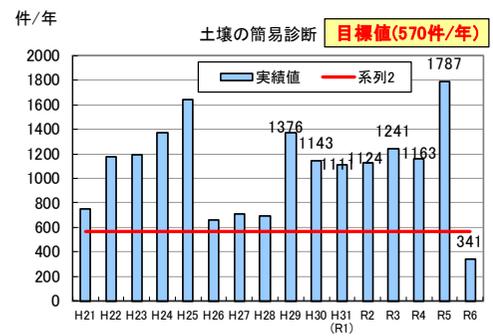
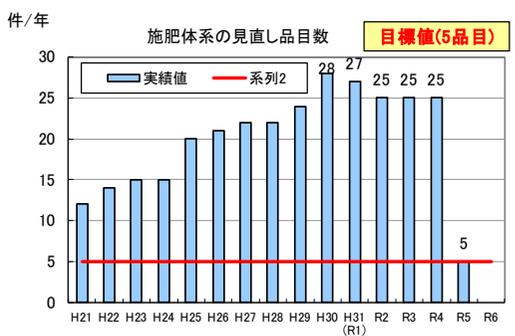
※H30年度

# 1. モニタリング結果

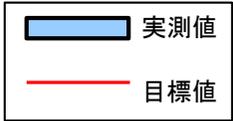
## (2)ハード施策結果 ⑨環境保全型農業の推進

行動計画書p15, 27

・各種認証制度の認証件数について、施肥体系の見直し品目数は、横ばいとなっている。また、エコファーマー認定者数は、R4年に制度廃止のため減少しているが、ひなたGAPの登録数は増加している。



令和5年より法人の登録のみ認可

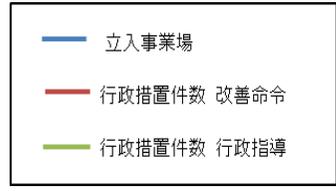
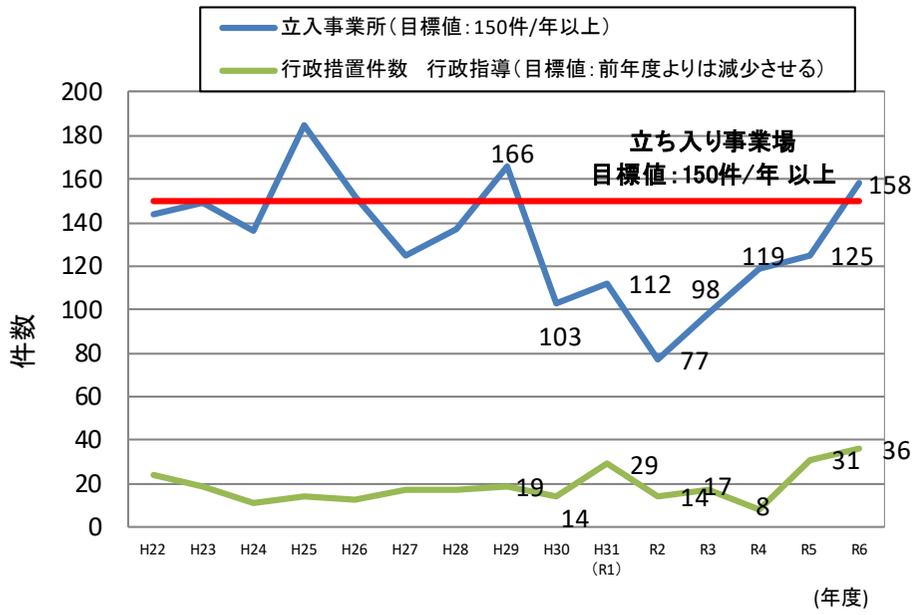
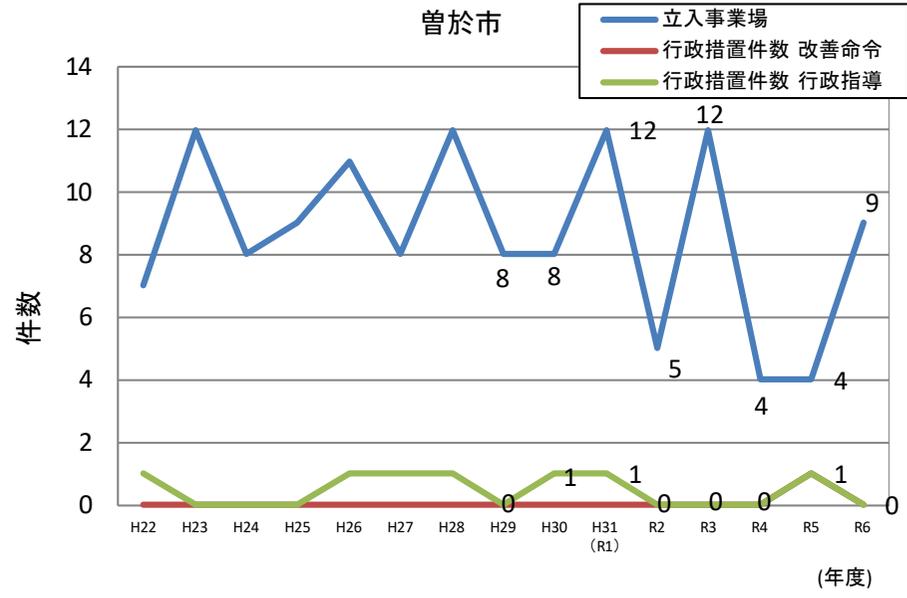
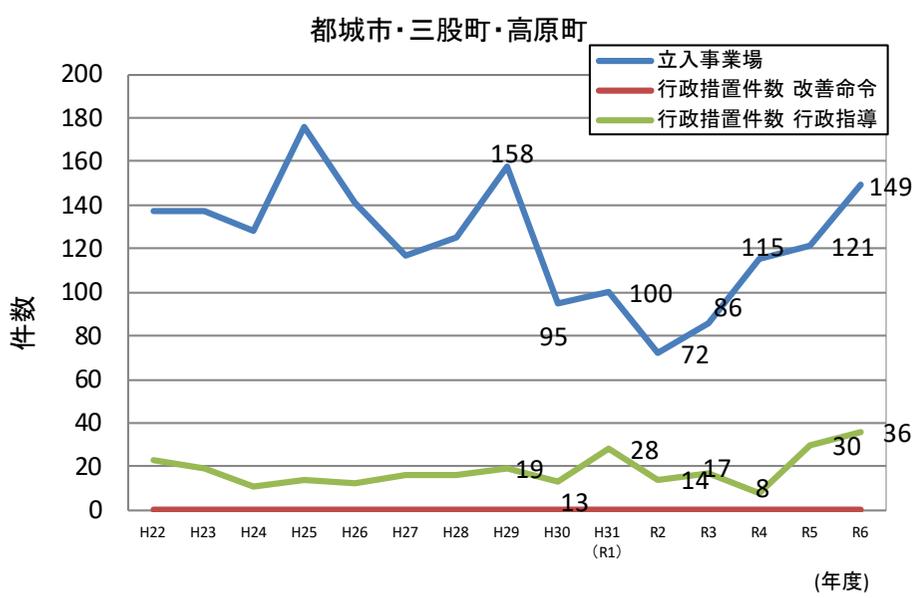


# 1. モニタリング結果

## (2)ハード施策結果 ⑩排水基準の順守

行動計画書p15、28

・立入事業場の件数、行政指導の件数は増加し、目標値を達成している。



立入調査目標値:対象流域内の事業場合計で150件以上とする。  
行政指導件数目標値:前年度よりは減少させる。

# 1. モニタリング結果

## (3) ソフト施策結果

行動計画書p16、30

### 1) 国土交通省

実施対象機関	施策メニュー	施策内容	具体的な取組み内容
国土交通省	水辺空間の整備・河川環境の維持	河川整備、河川浄化	・「都城かわまちづくり」・「本庄川かわまちづくり」の整備
		河川清掃活動	・「大淀川クリーンアップ2024」への参加 ・河川協力団体主催のゴミ拾い活動への参加 ・河川巡視時にゴミの回収を実施
	家庭内での対策	【家庭内活動】 各家庭での負荷削減対策	—
	水源涵養機能保全策	植林活動推進、 森林の適正管理	—
	施策進捗のための啓発活動	生活排水対策、家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場対策等	・不法投棄防止看板作成(3箇所)
	環境学習	親水施設等を利用した活動、大淀川環境大学、学習会の開催等	・小学生との水生生物調査 ・河川協力団体主催の大淀川流域治水シンポジウム、大淀川環境大学の参加及び職員による講演。
	関係機関の連携による啓発活動推進	行動計画のフォローアップ、環境学習会開催、イベント実施、情報発信等	・河川愛護月間の垂れ幕設置 ・河川協力団体主催の外来植物駆除活動、希少植物保護活動への参加
	モニタリング	水質分析によるモニタリング等	・大淀川水系14地点で水質調査を実施
簡易調査、感覚的指標項目		・水質事故対応(11件)	

# 1. モニタリング結果

## (3)ソフト施策結果

行動計画書p16、30

### 2)宮崎県

実施対象機関	施策メニュー	施策内容	具体的な取り組み内容
宮崎県	水辺空間の整備・河川環境の維持	河川整備、河川浄化	-
		河川清掃活動	-
	家庭内での対策	【家庭内活動】 各家庭での負荷削減対策	・環境にやさしい製品の利用促進 ・各種啓発イベント等において、家庭でできる生活排水対策推進に関するエコ用品等を配布
	水源涵養機能保全策	植林活動推進、 森林の適正管理	-
	施策進捗のための啓発活動	生活排水対策、家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場対策等	・水質汚濁防止法に基づく特定事業場への巡回指導(立入件数:149件、改善指導:36件)
	環境学習	親水施設等を利用した活動、大淀川環境大学、学習会の開催等	・小中学生等を対象とした五感を使った水辺環境調査や水辺の学習の開催協力や資材配布【大淀川水系の県内延べ実施件数:23件(子ども会等含む。)]
	関係機関の連携による啓発活動推進	行動計画のフォローアップ、環境学習会開催、イベント実施、情報発信等	・子どもたちによる成果発表会の実施 ・小中学生が作成した水辺の学習成果パネル展示会の実施 ・ふるさとの水辺のHP更新
	モニタリング	水質分析によるモニタリング等	水質分析によるモニタリング等
簡易調査、感覚的指標項目			・五感を使った水辺環境指標(県とNPO法人大淀川流域ネットワークが協働で考案した指標)

# 1. モニタリング結果

## (3) ソフト施策結果

行動計画書p16、30

### 3) 鹿児島県

実施対象機関	施策メニュー	施策内容	具体的な取り組み内容
鹿児島県	水辺空間の整備・河川環境の維持	河川整備、河川浄化	-
		河川清掃活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川愛護月間の実施</li> <li>・自治会、ボランティア、NPO等が行う河川の清掃・美化活動の支援(活動経費の補助等)</li> <li>・河川愛護団体等の表彰</li> </ul>
	家庭内での対策	【家庭内活動】 各家庭での負荷削減対策	-
	水源涵養機能保全策	植林活動推進、 森林の適正管理	-
	施策進捗のための啓発活動	生活排水対策、家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場対策等	県ホームページを活用し、生活排水対策に関することや浄化槽の維持管理に関する情報を周知。
	環境学習	親水施設等を利用した活動、大淀川環境大学、学習会の開催等	-
	関係機関の連携による啓発活動推進	行動計画のフォローアップ、環境学習会開催、イベント実施、情報発信等	-
	モニタリング	水質分析によるモニタリング等	
簡易調査、感覚的指標項目			水質事故対応(0件)

# 1. モニタリング結果

## (3) ソフト施策結果

行動計画書p16、30

### 4) 都城市

実施対象機関	施策メニュー	施策内容	具体的な取り組み内容
都城市	水辺空間の整備・河川環境の維持	河川整備、河川浄化	・環境監視員による河川パトロールの実施
		河川清掃活動	・NPO法人都城大淀川サミット主催イベント(オオキンケイギク駆除活動、大淀川上流域クリーン作戦、大淀川こどもサミット、大淀川サミット大会)等への参加支援 ・各自治公民館、団体等での河川草刈及び清掃活動
	家庭内での対策	【家庭内活動】各家庭での負荷削減対策	・環境関連イベント、市民講座において、河川浄化啓発用品(吸わせるテンブル等)を配布
	水源涵養機能保全策	植林活動推進、森林の適正管理	・環境イベント等で事業所等と合同で苗木を配布(年間約800本)
	施策進捗のための啓発活動	生活排水対策、家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場対策等	・不法投棄防止看板作成(200枚)し市内各地に設置 ・広報都城を活用し、「地下水を守るとりくみ」「合併浄化槽の補助制度」「環境監視員について」を掲載。 ・ケーブルテレビ、ラジオ、広報都城を活用し、「不法投棄・屋外焼却の禁止」を広報。 ・くみ取りや単独処理浄化槽からの転換の際に工事費を助成(260件)
	環境学習	親水施設等を利用した活動、大淀川環境大学、学習会の開催等	・小学生への環境学習(五感を使った水辺環境指標による水辺調査)10校で実施 ・NPO法人都城大淀川サミット主催イベント(大淀川環境大学)での参加支援 ・ハロー市役所元気講座「守ろうみんなの大淀川」を児童クラブ1か所で実施。
	関係機関の連携による啓発活動推進	行動計画のフォローアップ、環境学習会開催、イベント実施、情報発信等	・広報都城を活用し、「地下水を守るとりくみ」「合併浄化槽の補助制度」を掲載。 ・「都城市環境まつり」で環境関連・水保全関連ブースを出展。
	モニタリング	水質分析によるモニタリング等	・河川水質調査 ・独自に水質調査を実施(河川54地点、御池表面水4地点、御池水中5地点) ・環境保全協定に基づき、事業所排水水質検査(対象事業所数:10、年1回)実施
簡易調査、感覚的指標項目		・環境監視員による河川パトロールの実施 ・五感を使った水辺環境指標による水辺調査	

# 1. モニタリング結果

## (3) ソフト施策結果

行動計画書p16、30

### 5) 曾於市

実施対象機関	施策メニュー	施策内容	具体的な取組み内容
曾於市	水辺空間の整備・河川環境の維持	河川整備、河川浄化	河川浄化等推進員17名を設置し毎月主要河川のパトロールを実施
		河川清掃活動	建設業組合や自治会等による河川愛護活動を4箇所実施
	家庭内での対策	【家庭内活動】 各家庭での負荷削減対策	生ごみ処理機器購入補助金交付要綱により、購入者に対して補助を実施し、生ごみの排出量を削減
	水源涵養機能保全策	植林活動推進、 森林の適正管理	年間450本植林
	施策進捗のための啓発活動	生活排水対策、家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場対策等	不法投棄防止看板を90枚作製 随時コミュニティFMや広報誌での広報を実施
	環境学習	親水施設等を利用した活動、大淀川環境大学、学習会の開催等	市内各小・中学校で宿泊学習、清掃活動、水生生物調査、自然観察、自然体験学習等を実施
	関係機関の連携による啓発活動推進	行動計画のフォローアップ、環境学習会開催、イベント実施、情報発信等	随時コミュニティFMや広報誌での広報を実施
	モニタリング	水質分析によるモニタリング等	
簡易調査、感覚的指標項目			河川浄化等推進員17名を動員し、毎月主要河川のパトロールを実施

# 1. モニタリング結果

## (3) ソフト施策結果

行動計画書p16、30

### 6) 三股町

実施対象機関	施策メニュー	施策内容	具体的な取組み内容
三股町	水辺空間の整備・河川環境の維持	河川整備、河川浄化	・河川浄化等推進員による河川パトロール
		河川清掃活動	・住民参加の「クリーンアップみまた」による清掃活動
	家庭内での対策	【家庭内活動】 各家庭での負荷削減対策	・希望者に対し講習を受けた上でコンポスト等を無償貸し出しを行っている。
	水源涵養機能保全策	植林活動推進、 森林の適正管理	-
	施策進捗のための啓発活動	生活排水対策、家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場対策等	・単独浄化槽等から合併浄化槽へ転換する際の補助金について町内回覧にて啓発
	環境学習	親水施設等を利用した活動、大淀川環境大学、学習会の開催等	・小学生を対象に五感を使った水辺調査を実施
	関係機関の連携による啓発活動推進	行動計画のフォローアップ、環境学習会開催、イベント実施、情報発信等	・11月に実施された町ふるさとまつりにて啓発グッズの配布
	モニタリング		水質分析によるモニタリング等
簡易調査、感覚的指標項目			・河川浄化等推進員による河川パトロール

# 1. モニタリング結果

## (3)ソフト施策結果

行動計画書p16、30

### 7)高原町

実施対象機関	施策メニュー	施策内容	具体的な取組み内容
高原町	水辺空間の整備・河川環境の維持	河川整備、河川浄化	・河川浄化等推進員による河川パトロール
		河川清掃活動	－
	家庭内での対策	【家庭内活動】 各家庭での負荷削減対策	－
	水源涵養機能保全策	植林活動推進、 森林の適正管理	特定非営利活動法人「どんぐり1000年の森をつくる会」の活動に賛同し、議員・職員へ『どんぐり株主』の紹介・募集及び植樹会の案内を行った。
	施策進捗のための啓発活動	生活排水対策、家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場対策等	・不法投棄防止看板作成(随時10枚程度) ・広報誌やホームページを活用し啓発記事を掲載 ・単独処理浄化槽からの転換の際に撤去費を助成(継続事業)
	環境学習	親水施設等を利用した活動、大淀川環境大学、学習会の開催等	－
	関係機関の連携による啓発活動推進	行動計画のフォローアップ、環境学習会開催、イベント実施、情報発信等	・日本発祥地まつり及びまつり高原時に環境啓発活動を実施し、アンケートを行い、町民の環境への意識付けを行った。
	モニタリング	水質分析によるモニタリング等	・御池水質調査(年12回)・河川水質調査(年6か所×4回) ・井戸水水質検査(年2回×10か所)
簡易調査、感覚的指標項目		・御池赤潮観測(週3回目視)	

# 1. モニタリング結果

## (3) ソフト施策結果

行動計画書p16、30

### 8) 宮崎市

実施対象機関	施策メニュー	施策内容	具体的な取り組み内容
宮崎市	水辺空間の整備・河川環境の維持	河川整備、河川浄化	・水質事故対応(3件)
		河川清掃活動	・有志参加による河川敷の清掃活動の実施
	家庭内での対策	【家庭内活動】 各家庭での負荷削減対策	・市内の公的施設等60箇所(R7.3.31時点)に廃油回収ボックスを設置。 ・資源物集団回収90団体で廃食用油を回収。
	水源涵養機能保全策	植林活動推進、 森林の適正管理	・植林、下刈、間伐に対する国及び県の補助に上乗せ補助をしている。 ・ボランティア団体やみどりの少年団に対し活動資金の補助を行っている。
	施策進捗のための啓発活動	生活排水対策、家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場対策等	・法定検査や、公設合併処理浄化槽に関する啓発記事を市広報紙に掲載。 ・法定検査の未受検者に対する訪問指導及び文書指導(単独浄化槽利用者に対する合併処理浄化槽への転換のチラシ配布)。 ・法定検査の結果、不適正者への是正文書の通知。
	環境学習	親水施設等を利用した活動、大淀川環境大学、学習会の開催等	・小中学校への環境学習(五感を使った水辺環境指標による水辺調査): 4校で実施 ・大淀川環境保全クラブ: 小学生が対象の環境保全学習
	関係機関の連携による啓発活動推進	行動計画のフォローアップ、環境学習会開催、イベント実施、情報発信等	・広報紙による啓発活動 ・環境啓発イベントへの参加
	モニタリング	水質分析によるモニタリング等	・公共用水域の常時監視 ・事業所排水水質検査(対象事業場: 16件 年1回実施)
簡易調査、感覚的指標項目		・河川浄化推進協議会による河川パトロールの簡易検査等実施	

# 1. モニタリング結果

## (3)ソフト施策結果

行動計画書p16、30

### 9)小林市

実施対象機関	施策メニュー	施策内容	具体的な取り組み内容
小林市	水辺空間の整備・河川環境の維持	河川整備、河川浄化	・小林市河川浄化等推進員による毎月の河川パトロール及び活動報告 ・水質事故対応(1件)
		河川清掃活動	・不法投棄ごみの回収(通年)
	家庭内での対策	【家庭内活動】 各家庭での負荷削減対策	・廃食用油の回収(各リサイクル集積場 月1回) ・廃食油リサイクル粉せっけん製造機の貸し出し
	水源涵養機能保全策	植林活動推進、 森林の適正管理	・小林市水資源保全条例に基づく井戸設置にかかる認可及び許可 ・湧水量調査(小林地区12箇所、野尻地区1箇所 年4回)及び湧水水質調査(2箇所)
	施策進捗のための啓発活動	生活排水対策、家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場対策等	・合併浄化槽設置整備事業費補助
	環境学習	親水施設等を利用した活動、大淀川環境大学、学習会の開催等	・小学生への環境学習(五感を使った水辺環境指標による水辺調査):1校及び1団体で実施
	関係機関の連携による啓発活動推進	行動計画のフォローアップ、環境学習会開催、イベント実施、情報発信等	・第16回都城市環境まつりでの河川浄化啓発イベントへの参加
	モニタリング	水質分析によるモニタリング等	・河川水質調査(小林地区10箇所 年2回、須木地区3箇所 年2回、野尻地区11箇所 年2回) ・ゴルフ場周辺及び産廃処理場周辺の水質検査 ・公害防止協定に基づく事業所からの水質検査の報告
		簡易調査、感覚的指標項目	・小林市河川浄化等推進員による毎月の河川パトロール及び活動報告

# 1. モニタリング結果

## (3)ソフト施策結果

行動計画書p16、30

### 10)国富町

実施対象機関	施策メニュー	施策内容	具体的な取組み内容
国富町	水辺空間の整備・河川環境の維持	河川整備、河川浄化	・河川浄化等推進員による河川パトロール
		河川清掃活動	住民一体の清掃活動の実施(クリーン国富)
	家庭内での対策	【家庭内活動】 各家庭での負荷削減対策	-
	水源涵養機能保全策	植林活動推進、 森林の適正管理	-
	施策進捗のための啓発活動	生活排水対策、家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場対策等	・不法投棄防止看板作成、広報誌やホームページを活用し啓発記事を掲載 ・単独処理浄化槽からの転換の際に撤去費を助成、浄化槽整備事業交付金の算定見直し
	環境学習	親水施設等を利用した活動、大淀川環境大学、学習会の開催等	・小学生を対象に五感を使った水辺調査を実施
	関係機関の連携による啓発活動推進	行動計画のフォローアップ、環境学習会開催、イベント実施、情報発信等	・広報紙による啓発活動
	モニタリング	水質分析によるモニタリング等	
簡易調査、感覚的指標項目			・河川浄化等推進員による河川パトロール

# 1. モニタリング結果

## (2)ソフト施策結果

行動計画書p16、30

### 11)綾町

実施対象機関	施策メニュー	施策内容	具体的な取組み内容
綾町	水辺空間の整備・河川環境の維持	河川整備、河川浄化	・河川浄化等推進員による河川パトロール
		河川清掃活動	・住民一体の清掃活動実施
	家庭内での対策	【家庭内活動】 各家庭での負荷削減対策	-
	水源涵養機能保全策	植林活動推進、 森林の適正管理	-
	施策進捗のための啓発活動	生活排水対策、家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場対策等	・不法投棄防止看板作成(5枚)し町内各地に設置 ・合併浄化槽設置整備事業費補助(町設置型)
	環境学習	親水施設等を利用した活動、大淀川環境大学、学習会の開催等	-
	関係機関の連携による啓発活動推進	行動計画のフォローアップ、環境学習会開催、イベント実施、情報発信等	・中央保健所主催 6月が、環境の日月間としてほんものセンター綾で環境啓発し、チラシ・グッズなどを配布
モニタリング		水質分析によるモニタリング等	・河川水質検査(町内3カ所 年1回) ・排水路水質検査(町内6カ所 年1回)
		簡易調査、感覚的指標項目	・河川浄化等推進員による河川パトロール

# 1. モニタリング結果

## (2)ソフト施策結果

行動計画書p16、30

### 12)NPO団体等

実施対象機関	施策メニュー	施策内容	具体的な取り組み内容
NPO団体等	水辺空間の整備・河川環境の維持	河川整備、河川浄化	—
		河川清掃活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オオキンケイギク駆除活動 6月4日(日) 萩原川【都城大淀川サミット】</li> <li>・大淀川流域一斉クリーン作戦 10月26日(土) 大淀川水系3ヶ所【都城大淀川サミット】</li> <li>・大淀川なの花ゴミ拾い大会 3月9日(日) 高城町大淀川堤防【都城大淀川サミット】</li> <li>・微生物等による水質浄化、えひめAI 7月2日～7/27大淀川支流【都城大淀川サミット】</li> </ul>
	家庭内での対策	【家庭内活動】各家庭での負荷削減対策	・そうあい水を作ってお店で販売している。部員、地域の人たち、農業者など多くの方々に利用頂いている。【手仕事舎そうあい】
	水源涵養機能保全策	植林活動推進、森林の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植林活動 3月16日都城市高崎町縄瀬館山【どんぐり1000年の森】</li> <li>・植林活動 3月16日都城市高崎町縄瀬山林【都城大淀川サミット】</li> </ul>
	施策進捗のための啓発活動	生活排水対策、家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場対策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPによる活動報告【各団体】</li> <li>大淀川サミットHPのリニューアル</li> </ul>
	環境学習	親水施設等を利用した活動、大淀川環境大学、学習会の開催等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第14回大淀川子どもサミット大会(8月18日(日) 沖水川)【都城大淀川サミット】</li> <li>・河川浄化活動報告:那珂川水利組合様研修会(10月25日(日) 大淀川支流)【都城大淀川サミット】</li> <li>・大淀川環境大学(2月16日(日) 南九州大学 都城キャンパス)【都城大淀川サミット】</li> </ul>
	関係機関の連携による啓発活動推進	行動計画のフォローアップ、環境学習会開催、イベント実施、情報発信等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌「盆地・大淀かわだより」発刊</li> <li>・令和6年度HP開設(都城大淀川サミット)</li> <li>・どんぐり29号植樹会HP報告 3月19日【どんぐり1000年の森】</li> </ul>
	モニタリング	水質分析によるモニタリング等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質調査</li> <li>COD、PH、アンモニウム態窒素、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素、りん酸態窒素、水温 大淀川水系8ヶ所 6月3日(日)【都城大淀川サミット】</li> </ul>
	簡易調査、感覚的指標項目	—	

# 1. モニタリング結果

## (3) 企業の取組

・霧島酒造、ヤマエ食品工業等の企業の取組みは以下のとおり。

メニュー	具体的な取組内容
河川環境	・法律(水質汚濁防止法)に基づいて排水基準以下で河川へ適切に放流している。【霧島酒造、ヤマエ食品工業】
水資源	・森林保全活動等「企業の森づくり事業」 新たな企業の森「霧島くつろぎの森(2号地)0.97ヘクタール」への取組み【霧島酒造】
情報拠点	・HPによる環境保全活動の報告【霧島酒造、ヤマエ食品工業】
環境保全活動 普及啓発活動	・オオキンケイギクの駆除活動【住友ゴム工業株式会社 宮崎工場】 ・第14回大淀川子どもサミットへの協力企業 【吉原建設株式会社】【都北産業株式会社】【株式会社 松元建設】 ・省エネルギー機器の導入、省エネルギーの取組についてHPで紹介。【ヤマエ食品工業】
モニタリング	・排水の水質モニタリング(BOD等)【霧島酒造、ヤマエ食品工業】



オオキンケイギクの駆除活動【住友ゴム工業株式会社 宮崎工場】

# 1. モニタリング結果

## (3) 企業の取組

・霧島酒造、ヤマエ食品工業等の企業の取組みは以下のとおり。

### ■ 森林保全活動の拡大【霧島酒造】

宮崎県都城市周辺の森林保全活動をさらに活性化  
企業の森『霧島くつろぎの森』を拡大

～2024年10月25日に宮崎県、都城市、都城森林組合とともに調印式を実施～

霧島酒造株式会社(代表取締役社長:江夏順行、本社:宮崎県都城市)は、本社を置く都城市周辺の森林保全活動をさらに活性化させるべく、都城市内の市有地を新たに借用し、2024年10月25日(金)以後10年にわたって植林・育林活動に取り組んでまいります。それに伴い、同日10時、宮崎県庁内で、宮崎県知事の河野俊嗣氏、都城市長の池田宜永氏、都城森林組合長の志々目道夫氏、霧島酒造株式会社社長の江夏順行の4名が出席する「企業の森づくり」協定調印式を行います。



【新たな霧島くつろぎの森(2号地)】



【霧島くつろぎの森(1号地)】

### ■ 自然資本の維持・向上へ【霧島酒造】

森林資源の保全と、カーボンニュートラルの実現を目指して  
霧島酒造・都城森林組合・農林中央金庫の3社で  
「都城地域の森林育成へのJ-クレジット活用に関する連携協定」を締結

Jクレジット制度とは、森林管理等によるCO<sub>2</sub>の排出削減量・吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。

### ■ HPによる広報【ヤマエ食品工業】

ヤマエ食品は「大淀川清流ルネッサンスII地域協議会」へ  
企業側から参加しております。

国土交通省 宮崎河川国道事務所

下記バナーから大淀川清流ルネッサンスII協議会のHPに移動できます！



### ■ その他の企業の協力

第14回大淀川こどもサミット  
協力企業  
(令和6年8月18日開催)

- ・吉原建設株式会社
- ・都北産業株式会社
- ・株式会社 松元建設
- ・住友ゴム工業株式会社 宮崎工場

## 4. 令和6年度フォローアップ結果報告

# 4. フォローアップ結果報告

## (1) 目標水質

### ■ 目標水質

水質項目	BOD (75%値) (mg/L)	全窒素 (75%値) (mg/L)	全リン (75%値) (mg/L)	糞便性大腸菌群数 (平均値) (個/100mL)	大腸菌数 (90%値) (CFU/100mL)
樋渡橋	0.9 (2)	2.6 (3)	0.08 (0.3)	1000 (-)	- (300)
乙房橋	1.4 (3)	3.0 (3)	0.15 (0.3)	1000 (-)	- (1000)
志比田橋	2.0 (3)	3.6 (4)	0.25 (0.4)	1000 (-)	- (1000)
岳下橋	1.3 (2)	3.1 (3)	0.13 (0.3)	1000 (-)	- (300)

※数値は目指すべき目標値、カッコ内の数値は本行動計画で達成すべき目標値

※糞便性大腸菌群数については、大腸菌数の基準値が発表されれば、その環境基準値を設定

### ■ モニタリング項目

モニタリング項目	水質項目	報告対象地点	報告対象項目
①水質	BOD、T-N、 T-P、大腸菌数※	本川 樋渡橋、王子橋、乙房橋、志比田橋、岳下橋、 今迫橋、新割田橋	各項目の観測値の経年変化
		支川 有水橋下(有水川)、鶴崎橋(高崎橋)、下東岳川(東岳川)、 鶉の鳥島橋(庄内川)、源野橋(横市川)、下沖水橋(沖水川)、 宮丸橋(年見川)、木之前橋(萩原川)、中樋通橋(梅北川)	
②流況	期別流量、 雨量	流量: 樋渡橋、乙房橋、岳下橋 (雨量: 樋渡橋、樺山、岳下橋)	年降水量、期別流量(豊平低湯)の経年変化 低水流量と水質(負荷量)の経年変化
③負荷量	BOD、T-N、T-P	樋渡橋、乙房橋、岳下橋	-

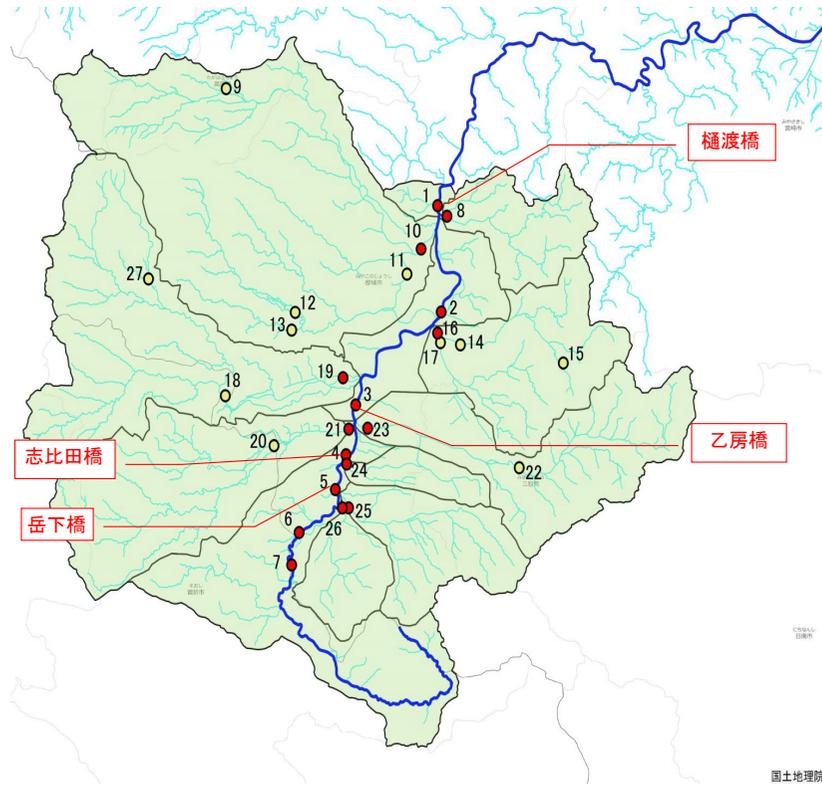
赤字: 評価地点

# 4. フォローアップ結果報告

## (2) 調査地点

### ■ 調査地点

- ① 水質調査項目について  
BOD、T-N（全窒素）、T-P（全リン）、糞便性大腸菌群数（計4項目）
- ② 河川水質のモニタリング調査地点について  
水質調査地点（27地点）
- ③ モニタリング報告地点  
現行動計画に定められた水質調査地点のうち、16地点について毎年開催している大淀川水系水質汚濁防止対策連絡協議会に報告。  
（本川は評価対象地点と汚濁源の分布が想定される上流区間の7地点、支川は本川合流前の9地点）



● : 調査地点（モニタリング報告地点）  
● : 調査地点  
**赤字: 評価地点**

モニタリング調査地点一覧表

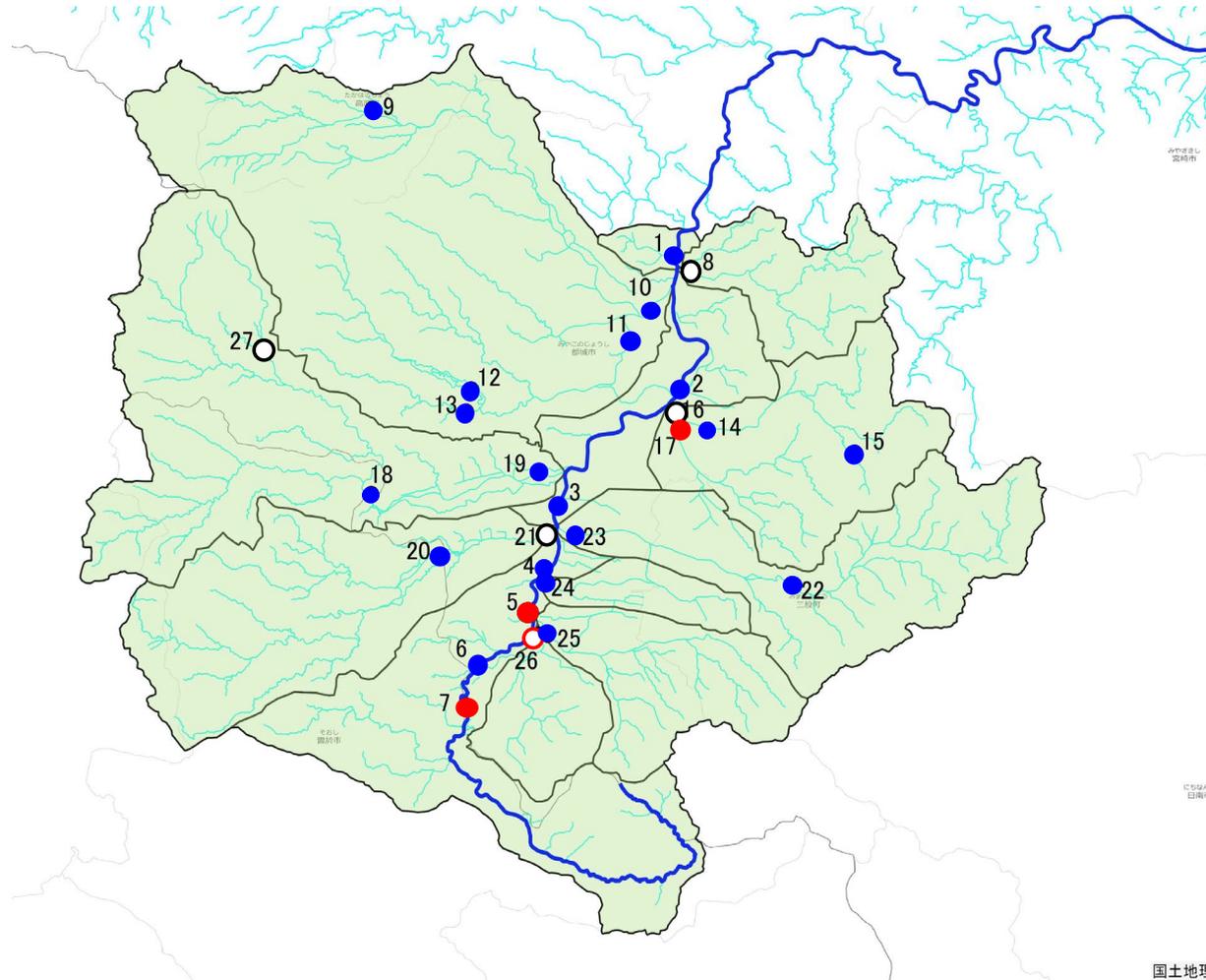
No.	河川名	調査地点名	調査機関	環境基準指定類型	環境基準点の有無	評価地点	モニタリング報告地点(16地点)
1	本川	樋渡橋	国土交通省	A	環境基準点	○	○
2	本川	王子橋	都城市	B	補助地点		○
3	本川	乙房橋	国土交通省	B	補助地点	○	○
4	本川	志比田橋	国土交通省	B	環境基準点	○	○
5	本川	岳下橋	国土交通省	A	補助地点	○	○
6	本川	今迫橋	宮崎県	A	環境基準点		○
7	本川	新割田橋	曾於市、鹿児島県	A	環境基準点		○
8	有水川	有水川下流	都城市				○
9	高崎川	花堂橋	宮崎県	AA	環境基準点		
10	高崎川	鶴崎橋	都城市	A	環境基準点		○
11	高崎川	桶傘礼橋(丸谷川)	宮崎県	A	環境基準点		
12	高崎川	大古川橋(丸谷川)	宮崎県	AA	環境基準点		
13	高崎川	中霧島橋(渡司川)	宮崎県	AA	環境基準点		
14	東岳川	東岳橋	宮崎県	A	環境基準点		
15	東岳川	野々宇都橋	宮崎県	AA	環境基準点		
16	東岳川	下東岳橋	都城市				○
17	東岳川	桜木橋(花之木川)	宮崎県	A	環境基準点		
18	庄内川	下堤橋	都城市	AA	環境基準点		
19	庄内川	鶉之島橋	都城市	A	環境基準点		○
20	横市川	宝来橋	曾於市、鹿児島県	A	環境基準点		
21	横市川	源野橋	都城市		その他の地点		○
22	沖水川	梶山橋	宮崎県	AA	環境基準点		
23	沖水川	下沖水橋	宮崎県	A	環境基準点		○
24	年見川	宮丸橋	国土交通省	A	環境基準点		○
25	萩原川	木之前橋	都城市	A	環境基準点		○
26	梅北川	中樋通橋	都城市		その他の地点		○
27	溝之口川(庄内川)	中谷橋	鹿児島県	A	環境基準点		

# 4. フォローアップ結果報告

## (3) 水質調査結果 R6 BOD

- ・R6におけるBODの結果を流域図に示す。各調査地点における環境基準値を満足しているかを図示した。
- ・モニタリング報告地点では 評価地点であるNo.5【岳下橋】No.7【新割田橋】、No.17【桜木橋】で環境基準値を超過した。

### ■ R6BODマップ



●環境基準値を満足している ●環境基準値を満足していない  
○環境基準値設定なし、データなしまたは、2mg/L以下 ○環境基準値設定なし、BOD 1.2mg/Lの値を検出

No.	河川名	調査地点名	調査機関	環境基準指定類型	環境基準点の有無	評価地点	モニタリング報告地点(16地点)
1	本川	樋渡橋	国土交通省	A	環境基準点	○	○
2	本川	王子橋	都城市	B	補助地点		○
3	本川	乙房橋	国土交通省	B	補助地点	○	○
4	本川	志比田橋	国土交通省	B	環境基準点	○	○
5	本川	岳下橋	国土交通省	A	補助地点	○	○
6	本川	今迫橋	宮崎県	A	環境基準点		○
7	本川	新割田橋	曾於市、鹿児島県	A	環境基準点		○
8	有水川	有水川下流	都城市				○
9	高崎川	花堂橋	宮崎県	AA	環境基準点		
10	高崎川	鶴崎橋	都城市	A	環境基準点		○
11	高崎川	楠牟礼橋(丸谷川)	宮崎県	A	環境基準点		
12	高崎川	大古川橋(丸谷川)	宮崎県	AA	環境基準点		
13	高崎川	中霧島橋(渡司川)	宮崎県	AA	環境基準点		
14	東岳川	東岳橋	宮崎県	A	環境基準点		
15	東岳川	野々宇都橋	宮崎県	AA	環境基準点		
16	東岳川	下東岳橋	都城市				○
17	東岳川	桜木橋(花之木川)	宮崎県	A	環境基準点		
18	庄内川	下堤橋	都城市	AA	環境基準点		
19	庄内川	鶴之島橋	都城市	A	環境基準点		○
20	横市川	宝来橋	曾於市、鹿児島県	A	環境基準点		
21	横市川	源野橋	都城市		その他の地点		○
22	沖水川	梶山橋	宮崎県	AA	環境基準点		
23	沖水川	下沖水橋	宮崎県	A	環境基準点		○
24	年見川	宮丸橋	国土交通省	A	環境基準点		○
25	萩原川	木之前橋	都城市	A	環境基準点		○
26	梅北川	中樋通橋	都城市		その他の地点		○
27	溝之内川(庄内川)	中谷橋	鹿児島県	A	環境基準点		

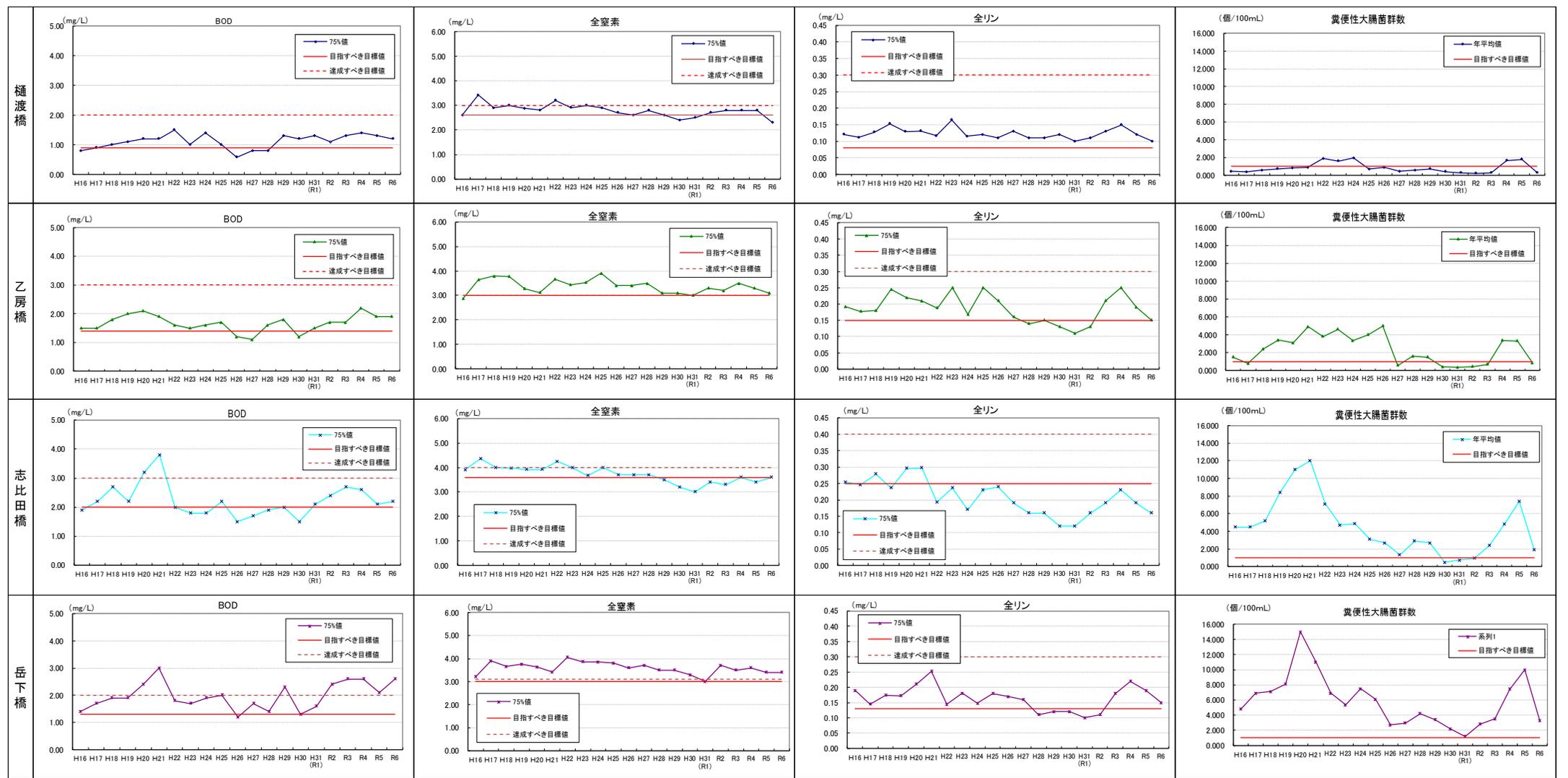
# 2. モニタリング結果報告

## (4) 水質調査結果

行動計画書 p31~35

参考資料 p25~45

・達成すべき目標値は、BODでは樋渡橋、乙房橋、志比田橋で満足しているが、岳下橋では超過している。全窒素では、乙房橋、岳下橋では超過しているが、全リンは評価地点4地点全てで満足している。  
 ・糞便性大腸菌は、R6年度は減少してるが引き続き監視が必要。



# 2. モニタリング結果報告

## (4) 水質調査結果 考察

・達成すべき目標値は、BODでは樋渡橋、乙房橋、志比田橋で満足しているが、岳下橋では超過している。全窒素では、乙房橋、岳下橋では超過しているが、全リンは評価地点4地点全てで満足している。

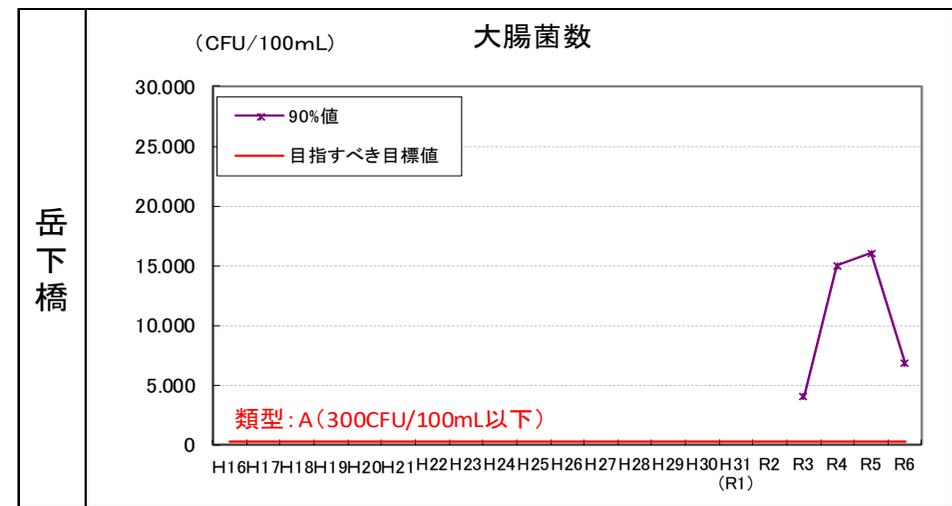
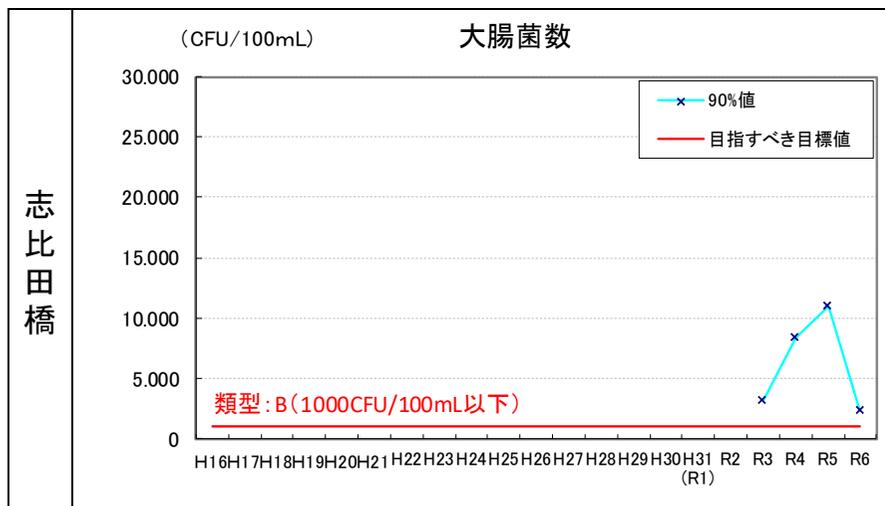
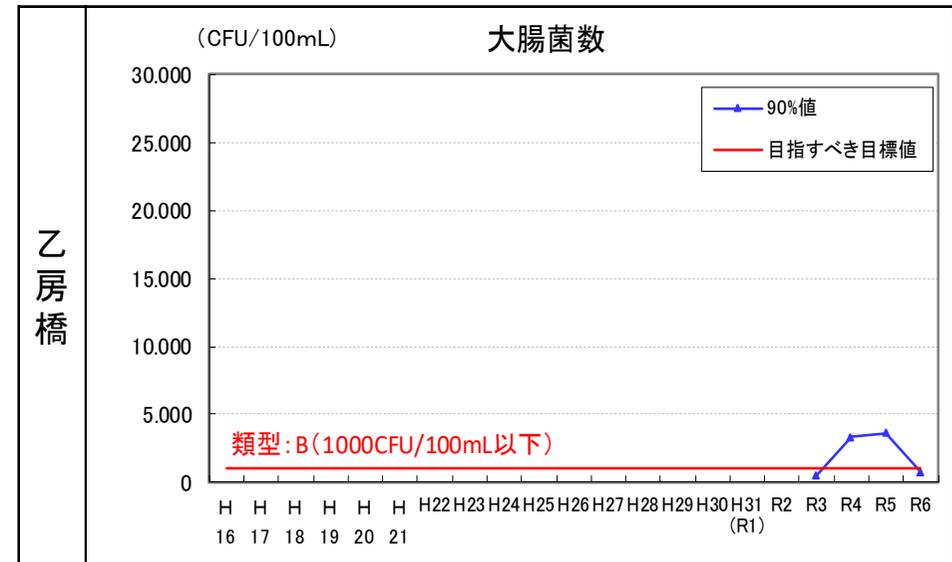
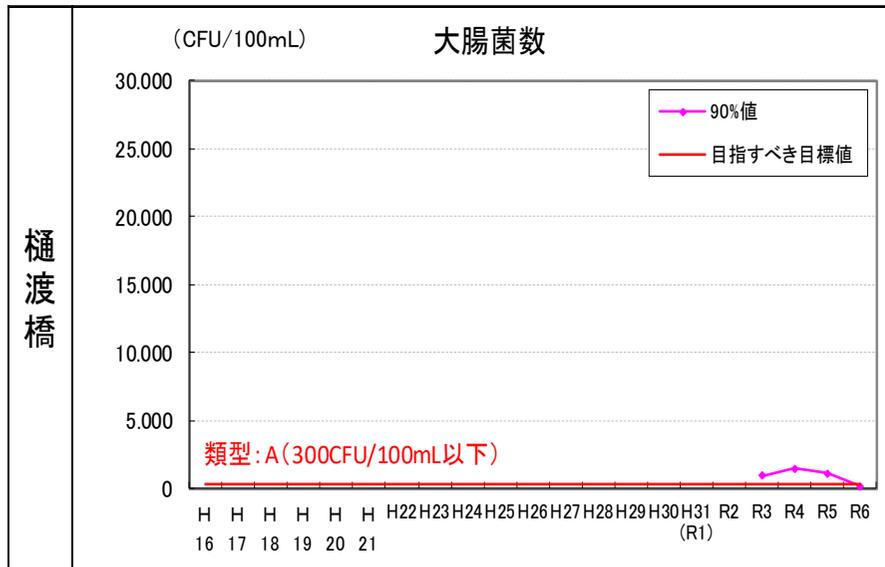
・糞便性大腸菌は、R6年度は減少してるが、引き続き監視が必要。

		BOD	全窒素	全リン	糞便性大腸菌群数
本川	結果	R2年度から各地点で増加傾向であったが、R5年度から減少または横ばいである。R6年度は、岳下橋のみが増加した。	R2年度以降、各地点とも緩やかな増加傾向であったが、新割田、王子橋を除いてR6年度は概ね横ばいか減少傾向である。	R2年度以降、各地点で増加傾向であったが、新割田、王子橋を除いてR6年度は減少している。	R2年度以降、各地点で増加傾向であったが、R6年度は減少した。
	要因	降水量・流量は例年並みであった。R5年度のBOD負荷量は、概ね減少しているが、岳下橋では増加している。	降水量・流量は例年並みであった。R5年度全窒素の負荷量は概ね減少しているが、岳下橋では増加している。	降水量・流量は例年並みであった。全リンの負荷量は、全ての地点で概ね減少している。	降水量・流量は例年並みであった。しかし、糞便性大腸菌群数の負荷量は減少している。
支川	結果	ほとんどの支川は減少傾向にある。一部の支川(年見川)では増加している。本川と比較して変動幅が大きい。	ほとんどの支川は横ばいか減少傾向にある。本川と比較して変動幅が大きい。一部の支川(高崎川、横市川)では増加がみられる。	ほとんどの支川は横ばいか減少傾向にある。本川と比較して変動幅が大きい。一部の支川(有水川、荘内川、東岳川)では増加がみられる。	全ての支川において、横ばいか減少している。本川と比較して変動幅が大きい。
	要因	降水量・流量は例年並みであるが、支川は流量変化が大きいことから水質変化が大きい。BODは概ね減少している。	降水量・流量は例年並みであるが、支川は流量変化が大きいことから水質変化が大きい。一部の支川を除き、概ね減少している。	降水量・流量は例年並みであるが、支川は流量変化が大きいことから水質変化が大きい。一部の支川を除き、概ね減少している。	降水量・流量は例年並みであるが、支川は流量変化が大きいことから水質変化が大きい。一部の支川を除き、概ね減少している。

# 2. モニタリング結果

## 大腸菌数結果(本川)

- ・大腸菌数は、樋渡橋、乙房橋では目指すべき目標値(環境値基準値)を満足している。
- ・大腸菌数は、志比田橋、岳下橋ではR6年度は満足していないが、R6年度は減少している。



# 2. モニタリング結果報告

## (1)ハード施策結果 生活排水対策

行動計画書p15

参考資料p3~8

- ハード施策のうち、生活排水対策について、下水処理人口は曾於市では総人口の減少等により減少しているものの、その他の項目は横ばいか改善傾向にある。都城市では下水道接続率が目標値を上回っている。

施策メニュー	モニタリング項目	報告対象項目	目標(案)				
			自治体名	都城市	三股町	高原町	曾於市
①生活系排水対策	下水道・農業集落排水処理施設・合併浄化槽の整備状況	・下水処理人口	R4	↑ 71,311人	↑ 12,439人	※2	↓ 4,110人
			R5	↑ 72,963人	↑ 13,269人		↓ 4,000人
			R6	↓ 72,216人	↑ 13,030人		↓ 3,875人
			目標値	74,750人	14,245人		4,000人
		・下水道普及率	R4	→ 44%	↑ 48%	※2	→ 17%
			R5	↑ 45%	↑ 51%		→ 17%
			R6	→ 45%	↑ 52%		→ 17%
			目標値	49%	59%		14%
		・単独処理浄化槽人口とくみとり人口の割合※1	R4	↓ 20%	↓ 38%	↓ 38%	↓ 34%
			R5	↓ 19%	→ 38%	↓ 34%	↑ 36%
			R6	↓ 16%	↓ 36%	↓ 33%	↓ 33%
			目標値	36%	20%	※3	10%
	下水道接続率	・下水道接続率	R4	↑ 84%	↓ 60%	※2	↑ 73%
			R5	→ 84%	→ 60%		↑ 74%
			R6	→ 84%	→ 60%		↑ 75%
目標値			83%	75%	80%		
施設の維持管理	・合併浄化槽の法定検査実施率	R4	→ 50%	→ 50%	→ 63%	↑ 57%	
		R5	↑ 52%	↑ 51%	↑ 65%	↓ 55%	
		R6	集計中				
		目標値	※4	※4	※4	※4	
	・下水処理場、し尿処理場、農業集落排水処理場の処理水質	現状の水質を維持できるように管理を継続					

※1単独処理浄化槽人口とくみとり人口割合(%)=(単独処理浄化槽人口+くみとり人口)/(合併処理浄化槽人口+単独処理浄化槽人口+くみとり人口)×100  
 ※2下水道が整備されていないため該当なし  
 ※3自治体としての目標値が設定されていない(第3回作業部会後の意見照会より)  
 ※4浄化槽の法定検査実施は住民が行い、検査費用は個人負担であり、住民の高齢化も進んでおり、自治体としての目標設定は困難(第3回作業部会)  
 ↑前年より増加、↓前年より減少

# 2. モニタリング報告

## (1)ハード施策結果 その他の負荷削減対策

行動計画書p15

参考資料 p9~12

ハード施策のうち、その他の負荷削減策は、概ね目標値を達成している。排水規制対象事業場に対する立入調査に伴う行政指導件数で前年より変化が大きく、事業場排水の基準値超過等が要因として考えられた。

施策メニュー		モニタリング項目	報告対象項目	目標(案)				
				自治体名	都城市	三股町	高原町	曾於市
②その他の負荷削減策	家畜排せつ物対策	家畜排せつ物の処理形態別頭数	家畜排せつ物の処理形態別頭数	R5	不適切処理頭数0頭			
				R6	不適切処理頭数0頭			
				目標値	不適切処理頭数0頭			
			家畜排せつ物処理施設の維持管理状況	・各施設の処理水質、処理水量	排出負荷量原単位(g/頭/日)相当以下			
	施肥対策	環境保全型農業の普及状況	・施肥体系の見直し品目数	R5	↓ 累計5品目			
				R6				
				目標値	5品目			
			・土壌の簡易診断	R5	↑ 1,787件/年			
				R6	↓ 341件/年			
				目標値	570件/年			
		・リアルタイム診断件数	R5	↓ 15件/年				
			R6					
			目標値	150件/年				
		・化学肥料低減技術導入品目数	R5	→ 16品目/年				
			R6					
			目標値	4品目/年				
	事業場排水対策	排水規制対象事業場に対する立入調査結果	・立入調査結果(水質、排水量)	R5	↑ 125件			
				R6	↑ 158件			
				目標値	150件/年 以上			
		・行政指導件数	R5	↑ 31件				
R6			↑ 36件					
目標値			前年度よりは減少させる					

R4年7月エコファーマー制度は廃止されたことから認定者は、0人。新たに「みどり認定」制度の登録へ移行している。

↑ 前年より増加、↓ 前年より減少

# 2. モニタリング報告

## 【参考：環境保全型農業の普及状況 エコファーマー認定者数等】

- エコファーマー(R4年法改正による廃止)、有機JAS認証、GAPといった環境にやさしい農業の認定機関等は以下のとおりである。

認証制度	エコファーマー	有機JAS認証	JGAP	ASIAGAP	G.GAP	ひなたGAP
認証マーク						
費用	土壌診断費用自己負担	1~20万	G.GAPより安価		40万円+分析費用	認定費用無料
承認方法	①土づくり ②化学肥料低減 ③化学農薬低減 上記3つの技術を一体的に取り組むことが定められている他、収量、資材の使用量や回数について、現状と5年後の目標数値を記入した計画書を作成する	認定機関による調査	認定機関による調査		認定機関による調査	ひなたGAP基準書の必須項目に適合すること
認定期間	5年間	1年毎に申請	2年間		1年間	2年間
メリット	10アール当たり3000~8000円 (予算枠により変動有) 交付金有	日本全国一律の規格	国際認証を目指す方針	国際認定	国際認定	都道府県版GAP認定
	認証マーク使用可	認証マーク使用可	認証マーク使用可		認証取得表示使用禁止	認証マーク使用可
	国内流通に有利	「有機」「オーガニック」の表示使用可 国内流通に有利	国内流通に有利	アジア圏の高度経済成長化に伴い輸出に有利	諸外国への輸出に有利	国内流通に有利
登録数推移	H30	認定者数_217	宮崎県累計_102	認定農場数合計 日本_4213	日本認証数累計_651	宮崎県新規登録者_9
	H31 (R1)	認定者数_32	宮崎県累計_102	認定農場数合計 日本_4735	日本認証数累計_684	宮崎県新規登録者_21
	R2 都城市	認定者数_21	宮崎県累計_109	認定農場数合計 日本_6746	日本認証数累計_692	宮崎県新規登録者_17
	R3 曾於市	認定者数_6	宮崎県累計_131	認定農場数合計 日本_7447 (宮崎県総数_68)	日本認証数累計_794	宮崎県新規登録者_13
	R4 高原町	認定者数_5	宮崎県累計_150	認定農場数合計 日本_7187 (宮崎県総数_82)	日本認証数累計_802	宮崎県新規登録者_5
	R5 三股町	認定者数_2	宮崎県累計_166	認定農場数合計 日本_7025 (宮崎県総数_88)	日本認証数累計_794	宮崎県新規登録者_0
	R6	認定者数_0	宮崎県累計_164	認定農場数合計 日本_7021 (宮崎県総数_72)	日本認証数累計_750	宮崎県新規登録者_1

R4年7月制度廃止

※1: 令和5年より法人の登録のみ認可

※1

# 2. モニタリング報告

## エコファーマー認定制度から、新たな認定制度へ

制度	期間	状況
エコファーマー認定	令和4年7月1日廃止	
ひなたGAP	平成30年から登録開始	食品安全・環境保全・労働安全等を目的に2018年より認証開始
みどり認定	令和4年7月1日施行 (宮崎県令和5年度から登録受付開始)	「みどりの食料システム法」(正式名称「環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律」)に基づく認定制度

### 環境負荷低減農産物

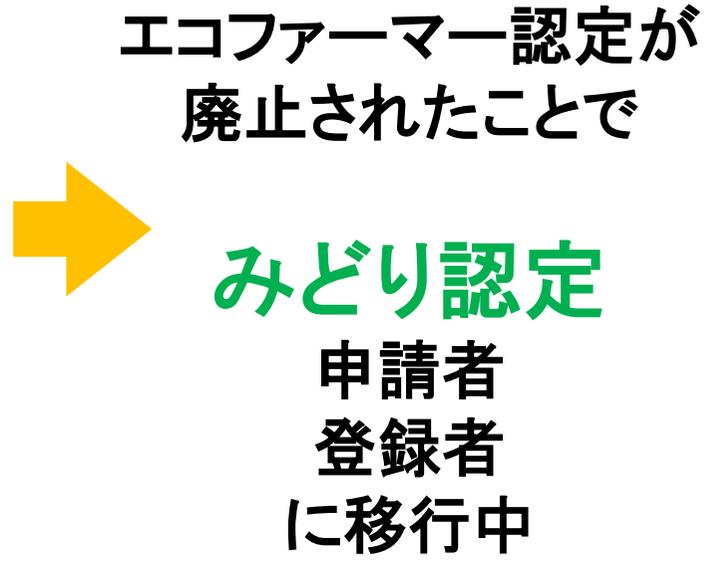


エコファーマーの新たな代替対象

(宮崎県)  
※R5より法人のみの登録受付

ひとりでも、グループでも、環境にやさしい農業に取り組んで

(国) **みどり認定**  
を受けましょう!!



# 2. モニタリング結果報告

## (2)ソフト施策結果

行動計画書p16

参考資料 p13~24

- ソフト施策のうち、水辺空間の整備・河川環境の維持、家庭内での対策、水資源涵養機能保全策、情報拠点の整備について、各行政機関や住民団体等で実施されており、目標水準を満足している。
- 平成31年2月行動計画書に追記した生態系サービス向上を意識して各機関取組を強化していく。

施策メニュー	モニタリング項目	報告対象項目	目標水準	結果
①水辺空間の整備・河川環境の維持	河川整備	・水辺環境整備の実施	適宜	○ 都城かわまちづくりの整備等
	河川浄化	・水質浄化活動	適宜	○ 河川浄化等推進員(約17名)による河川パトロール等 水質事故対応 4件(各市町の報告件数を集計)
	河川清掃活動	・住民による河川清掃の実施箇所数	1河川 1箇所	○ 大淀川クリーン作戦、都城大淀川サミット大会 各自治公民館、団体等での河川草刈及び清掃活動等建設業組合や自治会等による河川愛護活動(曾於市:4箇所) 住民参加の「クリーンアップみまた」による清掃活動 住民一体の清掃活動の実施(クリーン国富) 不法投棄ごみの回収(通年)
②家庭内での対策	【家庭内活動】 各家庭での負荷削減対策	・廃油の回収活動 ・家庭内における水質保全活動	—	○ ・環境にやさしい製品の利用促進[宮崎県] ・各種啓発イベント等において、家庭でできる生活排水対策推進に関する河川浄化啓発用品を配布[宮崎県、都城市] ・生ゴミ処理機器費用の補助[曾於市] ・コンポスト等の無償貸出[三股町] ・市内公的施設等に廃油回収ボックスを設置[宮崎市60箇所] ・廃食用油の回収[宮崎市90団体、小林市 月1回] ・廃食油リサイクル粉せっけん製造機の貸し出し[小林市]

# 2. モニタリング結果報告

## (2) ソフト施策結果

行動計画書 p16

参考資料 p13~24

- ソフト施策のうち、施策進捗のための啓発活動、環境学習等、関係機関の連携による啓発活動推進、モニタリングについて、各行政機関、住民団体等で実施されており、目標水準を満足している。
- 従来の水質調査とあわせた水生生物調査、魚類調査、五感を使った水辺環境調査等、自然環境について学ぶ機会にもなり「生態系サービス」普及啓発の一部を担っている。

施策メニュー	モニタリング項目	報告対象項目	目標水準	結果
③水資源涵養機能保全策	植林活動推進、森林の適正管理	・植樹本数	—	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>環境イベント等で苗木を配布 [都城市：年間800本]</li> <li>年間450本植林[曾於市]</li> <li>植林、下刈、間伐に対する助成[宮崎市]</li> <li>ボランティア団体やみどりの少年団の活動資金補助[宮崎市]</li> <li>井戸設置にかかる認可、許可[小林市]</li> <li>湧水量調査[小林市：小林地区12箇所、野尻地区1箇所 年4回]及び湧水水質調査[小林市：2箇所]</li> </ul>
④施策進捗のための啓発活動	【行政指導と付帯する啓発活動】 生活排水対策、家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場対策等	・生活排水対策、家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場対策に関する巡回指導及び啓発活動件数	—	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>事業場への巡回指導 [宮崎県：立入件数149件、改善指導36件]</li> <li>不法投棄防止看板作成市内各地に設置 [都城市200枚、曾於市90枚、高原町10枚、国富町、綾町5ヶ所]</li> <li>HP、広報誌、マスメディア等の活用し、取組や啓発など周知広報[鹿児島県、都城市、曾於市、高原町、国富町、宮崎市]</li> <li>くみ取りや単独処理浄化槽からの転換の際に撤去費等を助成[都城市260件、三股町、高原町、小林市、国富町]</li> </ul>

# 2. モニタリング結果報告

## (2)ソフト施策結果

行動計画書p16

参考資料 p13~24

- 水質調査によるモニタリング等の項目では、各機関や協力団体による独自の水質調査を実施し、監視を強化している。

施策メニュー	モニタリング項目	報告対象項目	目標水準	結果
⑤環境学習等	【環境学習会の開催】 親水施設等を利用した活動、大淀川環境大学、学習会の開催等	・五感を活用した環境学習などの開催の件数及び内容(参加人数など)	五感を使った水環境調査: — (H29年実績:17回)	○ 五感を使った水辺環境調査(宮崎県22件、都城市17校、宮崎市4校、小林市2校及び1団体) 環境大学の開催 自然環境学習会(高原町70名) 大淀川環境保全クラブ:小学生が対象の環境保全学習
⑥関係機関の連携による啓発活動推進	【住民団体を主とする啓発活動】 行動計画のフォローアップ、環境学習会開催、イベント実施等の情報発信	・広報活動の実施件数	—	○ 子どもたちの成果発表会の実施(宮崎県) 小中学生が作成した水辺の学習成果パネル展示会の実施(宮崎県) ふるさとの水辺のHP更新(宮崎県) 三股町ふるさとまつり会場での啓発グッズの配布(三股町) 随時コミュニティFMや広報誌での広報を実施(曾於市) 保育園児による稚魚の放流(小林市) 環境の日月間にチラシ・グッズ等を配布(綾町)

# 2. モニタリング結果報告

## (2)ソフト施策結果

行動計画書p16

参考資料 p13~24

- 水質調査によるモニタリング等の項目では、各機関や協力団体による独自の水質調査を実施し、監視を強化している。

施策メニュー	モニタリング項目	報告対象項目	目標水準	結果
⑦モニタリング	水質分析によるモニタリング等	・水質調査の実施	27地点	○ 国土交通省水質調査14地点 独自に水質調査を実施:都城市 (77地点) 水質調査:曾於市 (22地点×4回+1地点) 独自に水質調査:三股町 (16地点 年2回※場所により年4回) 水質調査:小林市 (10地点 年2回)(3地点 年2回)(11地点 年4回) 水質調査:綾町(3ヶ所 年1回) 事業所排水水質検査: 宮崎県(30事業場×年83回) 鹿児島県(4事業場) 都城市(3事業場×年1回) 曾於市(14事業所×2回) 宮崎市(15事業場×年1回) 綾町(6カ所 年1回) 大淀川清流ルネッサンスⅡ協議会にて河川水質検査(市内2河川を年4回) 御池水質調査(年12回) 河川水質調査:高原町(6地点 年4回) 井戸水水質検査:高原町(10地点 年2回) ゴルフ場周辺及び産廃処理場周辺の水質検査(小林市)
	簡易調査、感覚的指標項目	・調査の実施	1河川2箇所	○ 住民団体等と「身近な水環境の全国一斉調査」を実施 五感を使った水辺環境指標(宮崎県と住民団体が協働で考案) 市内水道組合の水質検査の実施を促進(曾於市) 御池赤潮観測(週3回目視)

## 5. 令和6年度フォローアップ結果総括

## 5. フォローアップ結果総括

### ■ハード施策

- 生活排水対策のうち、下水道関連の目標は未達成である。今後の、下水道計画、社会情勢を踏まえると下水道関連の整備よりも、合併浄化処理槽等への転換が現実的であるため、**生活排水対策の項目・目標の設定について見直しを検討する。**
- その他の負荷削減策について**エコファーマー認定制度**は法改正により廃止となったため、**他の認証制度(みどり認定)**が望ましい。また、家畜排せつ物対策のうち、**家畜1頭あたりの排出負荷量**は、ある程度の知見が得られたこと、近年、新たなデータが取得されていないため**廃止**する。
- **ソフト施策**について、大淀川クリーン作戦等の河川清掃等の各モニタリング項目は全て取り組んでおり今後も**継続**していく。
- 水質について、近年、BODは、水質評価の地点のうち、岳下橋地点では超過している。しかし、他の地点では満足している。一方、大腸菌数は、水質評価4地点で**増加**している。**引き続き、水質モニタリングを継続し、普及啓発を行う必要がある。**
- 今後も引き続き、生活排水対策等のハード整備や水環境改善普及啓発等のソフト対策、かわまちづくり等の水辺環境整備を進めていく必要がある。